

## 第4 県内の特定事故の発生状況

### 1 死亡事故

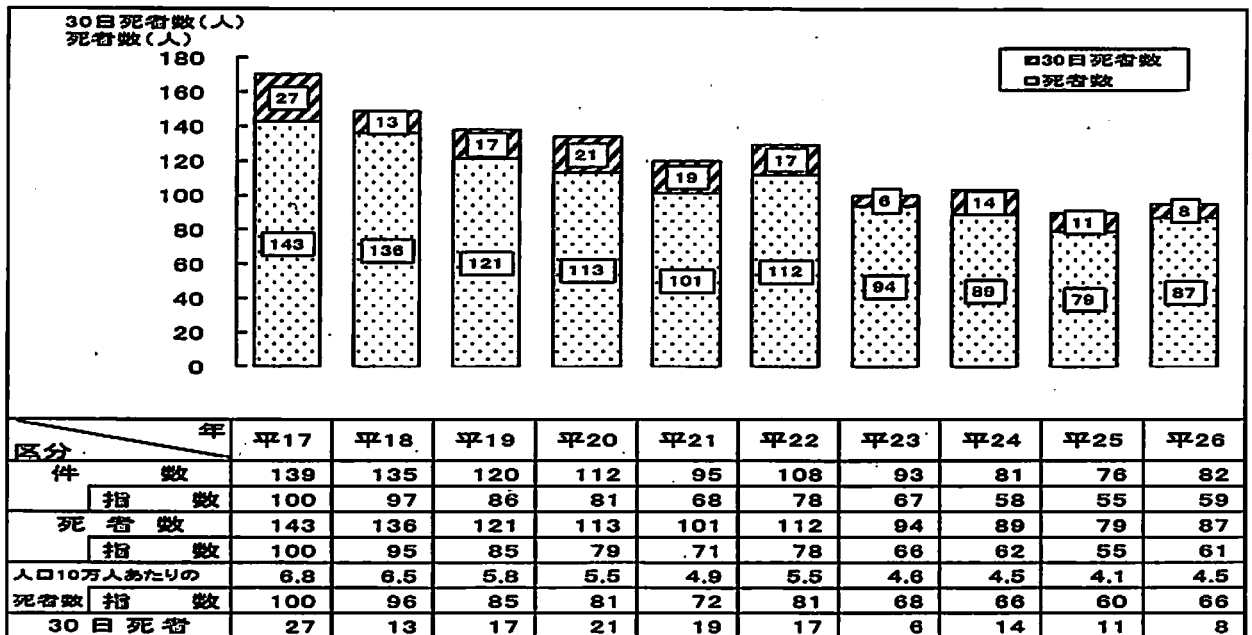
#### (1) 概況

平成26年の死亡事故は、前年に比べ発生件数、死者数とも減少した。

発生件数 82件 (前年比 +6件 7.9%増)

死者数 87人 (前年比 +8人 10.1%増)

過去10年間の推移をみると、死者、傷者とも凹凸はあるものの減少傾向にあり、平成26年では平成17年の6割程度に減少した。 (単位：件・人)

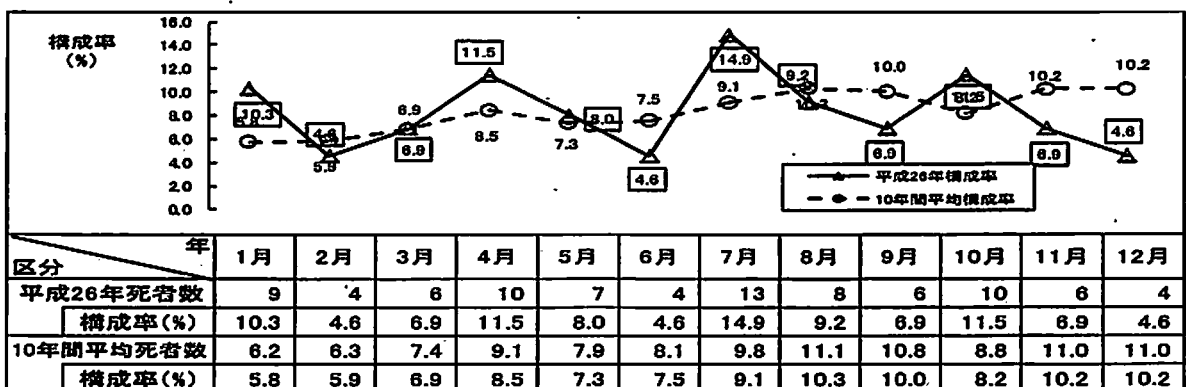


#### (2) 死亡事故の特徴

##### ア 月別

死者は、7月が最多の13人、次いで4月、10月の10人、少なかったのは2月、6月、12月の4人となっている。

月間死者数の構成率が過去10年間の各月平均を上回ったのは、1月、4月、5月、7月、10月で、それ以外の月は下回った。 (単位：人・%)



イ 時間別・曜日別

時間別では、18時～19時の10人が最も多く、次いで16時～17時の8人となっている。

曜日別では木曜日が最多の15人、次いで火曜日の14人となっている。また、月曜日が最小の8人となっている。

(単位：人)

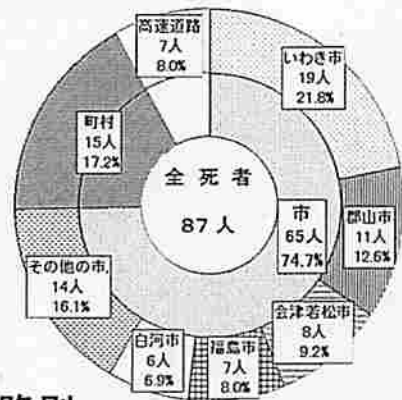
時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	合
曜日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	計
日	0	0	1	0	1	0	0	2	1	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	12
月	0	1	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	8
火	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	2	1	2	2	1	1	0	0	0	0	14
水	2	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	1	1	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	12
木	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3	2	0	0	0	2	1	1	0	4	0	0	0	0	0	15
金	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	1	0	2	1	1	0	13
土	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	2	1	3	1	0	0	0	0	13
合計	3	3	2	4	1	0	4	8	3	4	4	0	5	3	5	5	8	5	10	2	4	2	2	0	87

ウ 市町村別

死者数の最も多い市町村はいわき市の19人で、次いで郡山市の11人、会津若松市の9人、福島市の7人、となっており、4市を合わせると45人で全死者の51.7%を占めている。

また、その他の市を含める市部全体の死者数は65人となり、全死者の74.7%を占めている。

市町村別

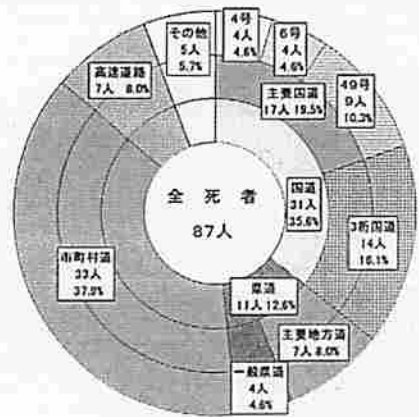


エ 道路別、道路線形別、形状別

(7) 道路別

市町村道での死者が33人と多く、全死者の37.9パーセントを占めている。次いで、国道の31人(35.6%)が続き、うち主要国道で17人と国道の54.8%を占めている。

道路別



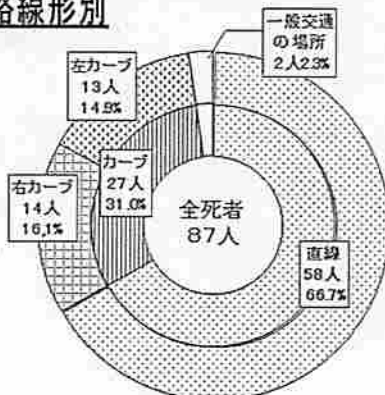
(1) 道路線形別

直線道路での死者は58人で全死者の66.7パーセントを占め、カーブでの死者は27人で、右カーブ14人、左カーブ13人となっている。

(7) 道路形状別

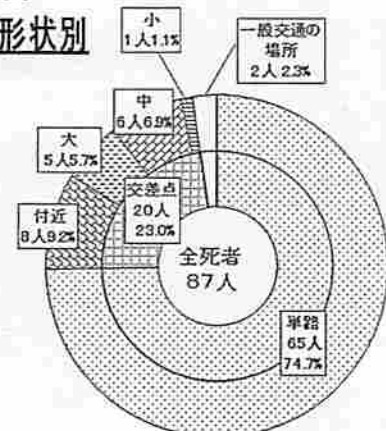
単路での死者は65人で全死者の74.7パーセントを占め、交差点での死者は20人で23.0パーセントを占めている。

道路線形別



道路形状別

(注)  
 大交差点 道路幅員13m以上  
 中交差点 道路幅員5.5m以上13m未満  
 小交差点 道路幅員5.5m未満



オ 第1当事者別 (82件)

(7) 車種別

普通乗用車の事故が26件で全死亡事故の31.7パーセントを占め最も多く、次いで軽乗用車20件、軽貨物車10件の順となっている。

(イ) 年齢別

70歳代による事故が19件で最も多く、次いで50歳代が13件と多くなっている。

また、高齢者による事故が33件で昨年比11件増加している。

(単位：件)

年齢	当事者	乗用車				貨物車				特殊車	二輪車		自転車	歩行者	その他	合計
		大型	中型	普通	軽	大型	中型	普通	軽		自動二輪	原付				
16歳未満				1												0
16～19歳				1	2											1
	20～24歳			3				1								4
20歳代	25～29歳			3				1			1					5
	30～34歳			1	2					1						7
30歳代	35～39歳			1	2	1				1						5
	40～44歳				1	2								1		4
40歳代	45～49歳			4	3											7
	50～54歳			4	2		1									7
50歳代	55～59歳				2	1	1		2							6
	60～64歳			1					1				1			3
60歳代	65～69歳			1	2				2		1					6
	70～74歳			3	1		1	1	2			1				9
70歳代	75～79歳			2	3			1			2	1	1			10
	80歳以上			2	1				3	1		1				8
その他(当事者不明)																0
合計		0	0	26	20	6	3	4	10	1	4	2	4	2	0	82
内数	子ども															0
	幼児															0
	小学生															0
	中学生															0
	高校生			8	7		1	2	7	1	4	1	4	1		33
	高齢者			21	11	6	3	4	10	1	4	1	4	1		66
男女別	男性			5	9						1			1		16
	女性			3	3	2		2	1							11

(ウ) 年齢別・死亡事故発生率

免許人口1万人に対する死亡事故率は、全体の0.6に対して高齢者が1.2と高い。

(単位：件・人)

区分	年齢	男性			女性			合計		
		免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率	免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率	免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率
青年	10歳代	9,298	1	1.1	7,426		0.0	16,724	1	0.6
	20～24歳	42,734	3	0.7	38,551	1	0.3	81,285	4	0.5
	計	52,032	4	0.8	45,977	1	0.2	98,009	5	0.5
	25～29歳	47,899	5	1.0	43,332	1	0.2	91,231	6	0.7
	30歳代	113,437	8	0.7	103,977	4	0.4	217,414	12	0.6
	40歳代	121,351	6	0.5	114,976	5	0.4	236,327	11	0.5
	50歳代	128,677	12	0.9	119,525	1	0.1	248,202	13	0.5
	60～64歳	75,768	3	0.4	63,109		0.0	138,877	3	0.2
	高齢者	181,634	29	1.6	96,321	3	0.3	277,955	32	1.2
	合計	720,798	67	0.9	587,217	15	0.3	1,308,015	82	0.6

(注1) 自転車・歩行者の第1当事者は含まない。(注2) 免許人口は平成26年12月末現在

(I) 車種別、免許経過年数別

自転車が第1当事者となる死亡事故が4件、歩行者が第1当事者となる死亡事故が2件発生した。他の死亡事故76件について車種に該当する免許を取得してからの経過年数をみると、10年以上経過した者による事故が64件と全体の84.2パーセントを占めている。

(単位：件)

経過年数	乗用車				貨物車				特殊車	二輪車				合計
	大型	中型	普通	軽	大型	中型	普通	軽		小型二輪	軽二輪	二種原付	原付	
1年未満			1	2									3	
1～2年													0	
2～3年							1						1	
3～4年								1					1	
4～5年													0	
10年未満			2	2			1		1		1		7	
10年以上			23	16	6	3	2	9	1	1	1	2	64	
免許外・無免許													0	
合計	0	0	26	20	6	3	4	10	1	2	0	2	76	

(II) 違反別

悪質違反による事故が25件となっており、全死亡事故件数の30.5パーセントを占めている。違反別でみると前方不注意が27件、次いでハンドル操作不適が15件となっている。

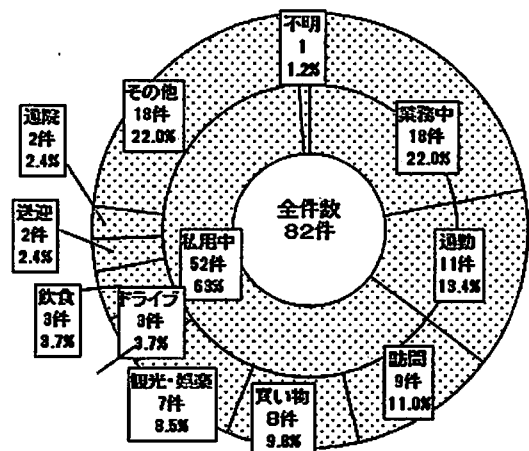
(単位：件)

違反別			件数	違反別			件数	違反別			件数	
車両の違反	悪質違反	信号無視	1	車両の違反	徐行違反	徐行違反	1	歩行者の違反	横断	信号無視	1	
		最高速度	6			過労等運転	1			横断歩道外横断		
		通区・追越	14			安全	ハンドル操作不適			15	斜め横断	
		歩行者妨害	2			運転	ブレーキ操作不適			3	走行車両直前直断	
		一時不停止	2			義務	前方不注意			27	横断禁止場所	
		酒酔い運転				違反	動静不注意			2	計	0
	計	25	反			安全不確認	2		飛び出し			
	横断等禁止		反			安全速度	3		その他	1		
	車間距離不保持		反			予測不適			計	2		
	進路変更禁止		反			その他			不明			
	右折違反		反			計	52		合計	82		
	左折違反		反			ドア開放等			内数(飲酒運転)	8		
優先通行妨害等		反	その他									
交差点安全進行義務	2	反	計	80								

(III) 通行目的別

私用中に発生した事故が43件と全事故の63.4パーセントを占めており、その中でも訪問目的の9件が最も多く、次いで買い物の8件の順となっている。

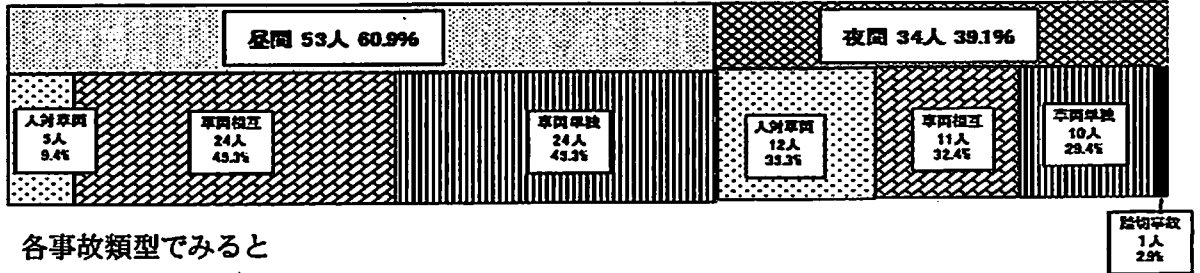
昨年と比較すると、通勤中の事故の割合が5.0ポイント低く、観光・娯楽の割合が1.9ポイント高くなっている。



カ 事故類型別死者数

人対車両	17人 (全死者の 19.5パーセント)
車両相互	35人 (全死者の 40.2パーセント)
車両単独	34人 (全死者の 39.1パーセント)
列車	1人 (全死者の 1.1パーセント)

となっており、これを昼夜別でみると、昼間には車両相互、車両単独の死亡事故が多発し、夜間には人対車両の死亡事故の割合が高くなっている。

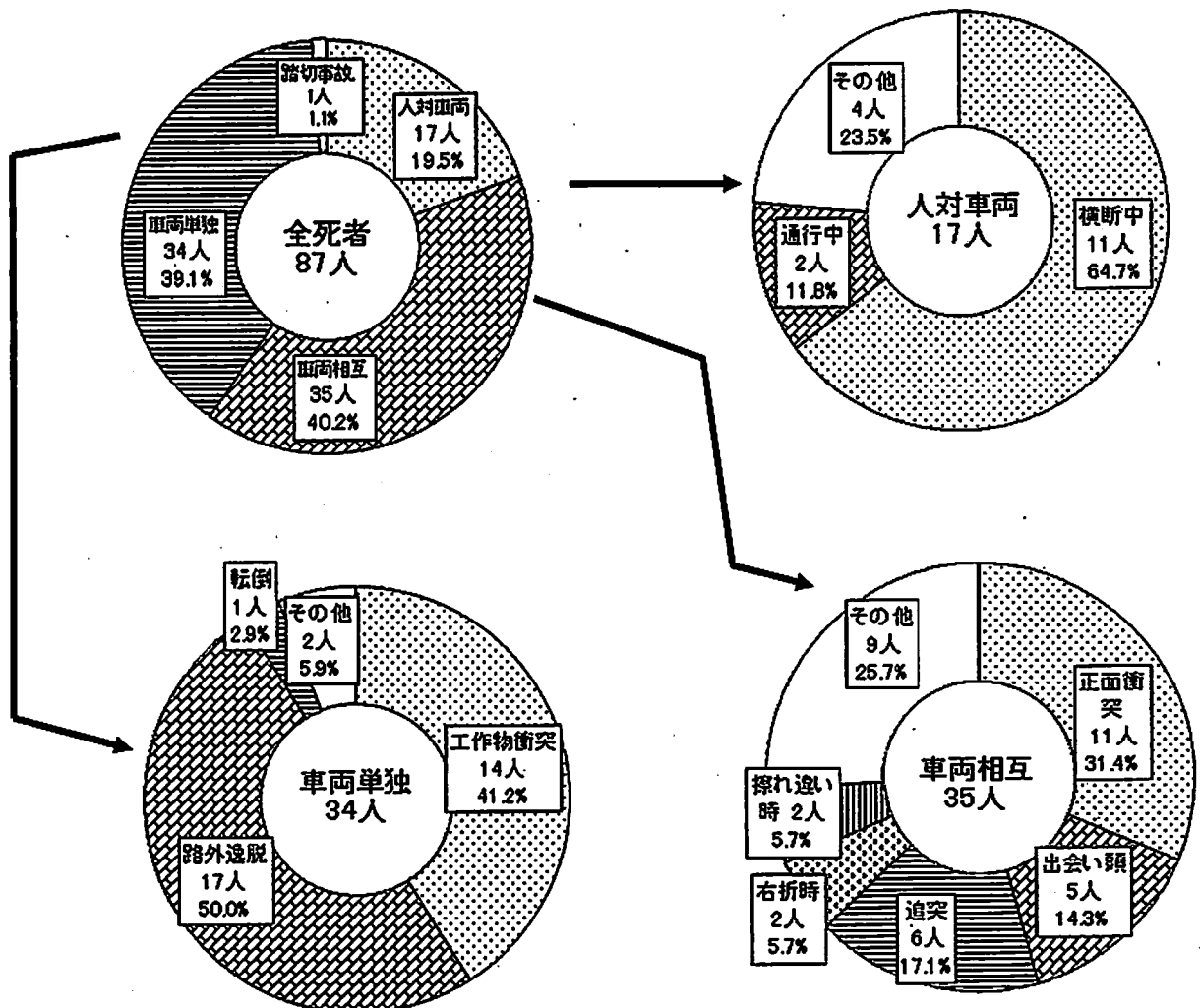


各事故類型でみると

人対車両…横断中が11人と最も多く64.7パーセントを占めている。

車両相互…正面衝突が11人と最も多く31.4パーセントを占めている。

車両単独…路外逸脱が17人と最も多く50.0パーセントを占めている。



(3) 死者の状態

ア 当事者別

自動車運転中の死者は 39 人で全死者の 20.7 パーセントを占め一番多い。次いで歩行中の 18 人 (20.7%) が続いている。

(単位：人・%)

区分	状態	自動車			自動二輪			原付 乗車中		自転車 乗車中			歩行中			その他	合計	
		運転中			同 乗	運転中		同 乗	1当	2当	1当	2当	3当	1当	2当			3当
		1当	2当	3当		1当	2当											
死者		33	6		16	4	2		2		4	2		2	16		87	
	構成率(%)	37.9	6.9	0.0	18.4	4.6	2.3	0.0	2.3	0.0	4.6	2.3	0.0	2.3	18.4	0.0	100.0	

イ 年齢別・状態別

高齢者の死者は 43 人 (全死者の 49.4%) で、うち歩行者の死者は 11 人と多く高齢死者の 25.6 パーセントを占めている。

歩行中の死者に占める高齢者の割合は 18 人中 11 人 (61.1%) と構成率が高くなっている。

(単位：人)

年齢	状態	自動車				自動二輪		原 付 中	自 乗 中	歩 行 中	そ の 他	合 計
		乗 用 車	貨 物 車	特 殊 車	同 乗	運 転	同 乗					
16歳未満												3
16～19歳										1		3
20歳代	20～24	1								3		4
	25～29	2					1					5
30歳代	30～34	1					1					2
	35～39	1	1				1					3
40歳代	40～44	3	2			2				1		8
	45～49	1				1	1					3
50歳代	50～54	2	1			1	1					5
	55～59	1	2							1		4
60歳代	60～64	1	1							1	1	4
	65～69	2	1		1	1				3		8
70歳代	70～74	3	3	1		2				1	3	13
	75～79	5				1			2	3	2	13
80歳以上			3	1		1				1	3	9
合計		23	14	2	16	6	0	2	6	18	0	87
内 数	子ども											0
	幼児											0
	小学生											0
	中学生				1							1
	高校生				2						1	3
	高齢者	10	7	2	5	1		2	5	11		43
性別	男性	18	14	2	5	6		1	4	9		59
	女性	5			11			1	2	9		28

ウ 職業別

無職が 37 人と最も多く全死者の 42.5 パーセントを占め、次いでサービス業の 10 人、飲食宿泊業の 8 人の順となっている。

(単位：人)

職業	状態	自動車				自動二輪		原 付 中	自 乗 中	歩 行 中	そ の 他	合 計
		乗 用 車	貨 物 車	特 殊 車	同 乗	運 転	同 乗					
職業運転者			2		1							3
公務員										1		1
農・林・漁業		1	2	2					1			6
建設業		1	1		1							3
製造業		2					1			1		4
卸・小売業					2					2		4
運輸業・郵便業			1									1
飲食業・宿泊業		4			2					2		8
サービス業		3	1		2	3				1		10
子ども					1							1
高校生					2					1		3
学生										1		1
主婦												0
無職		9	6		5	2		2	5	8		37
その他		3	1							1		5
合計		23	14	2	16	6	0	2	6	18	0	87

エ 状態別の違反

(7) 歩行者

歩行者の死者 18 人のうち、12 人(歩行者死者の 75.0%)には何らかの違反があり、その他の違反が 5 人と最も多く、違反のある歩行者死者の 41.7 パーセントを占めている。

(単位：人)

違反等 区分	信号無視	通行区分	横断					計	幼児歩	ひとり歩	めいいい	路上作業	飛び出し	その他	違反なし	合計
			横断歩道外	斜め横断	駐停車両面	直前直後	走行直後									
1 当	1						0							1	2	
2 当以下		1	1	2			3			2				4	16	

(1) 自転車

自転車乗用中の死者 6 人のうち 6 人全員に何らかの違反があり、ハンドル操作不適が 5 人、安全不確認が 1 人である。

(単位：人)

違反 区分	信号無視	右側通行	横断等禁止	右折違反等	優先通行妨害	交差点安全進行	一時不停止	灯火違反	酒酔い運転	徐行場所違反	ハンドル操作不適	前方不注意	安全不確認	その他	違反なし	合計
2 当以下											1		1			2

(7) 原付

原付乗車中の死者 2 人は、2 人全員に何らかの違反があった。  
死者 2 名ともハンドル操作不適である。

(単位：人)

違反 区分	信号無視	最高速度	通行区分	横断等禁止	右折違反	一時不停止	優先通行	交差点安全	徐行	酒酔い運転	ハンドル操作不適	ブレーキ操作不適	前方不注意	安全不確認	違反なし	合計
2 当以下																0

(1) 自動二輪

自動二輪車乗車中の死者 6 人のうち 4 人(66.7%)に何らかの違反があり、ハンドル操作不適が 2 人、最高速度、前方不注意が各 1 人である。

(単位：人)

違反 区分	信号無視	最高速度	通行区分	右折違反	一時不停止	優先通行	交差点安全	酒酔い運転	徐行	ハンドル操作不適	前方不注意	安全不確認	安全速度	その他	違反なし	合計
2 当以下															1	1
同乗															1	1

(4) 自動車

自動車乗車中の死者は、運転中死者 39 人、同乗中死者 16 人の合計 55 人である。

うち同乗中死者数を除く運転中死者 39 人の違反別では、通区・追越違反が 10 人で最も多く、運転中死者の 25.6 パーセントを占めている。

事故類型別では、車両単独による死者が、運転中死者 19 人、同乗中死者 4 人の合計 23 人で最も多く、自動車乗車中の死者全体の 41.8 パーセントを占めている。

うち同乗中死者数を除く、運転中死者 19 人の違反別では、ハンドル・ブレーキ操作不適が 7 人、前方不注視が 6 人で 68.4 パーセントを占めている。 (単位：人)

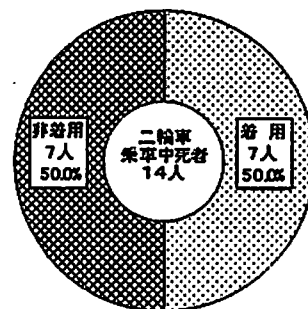
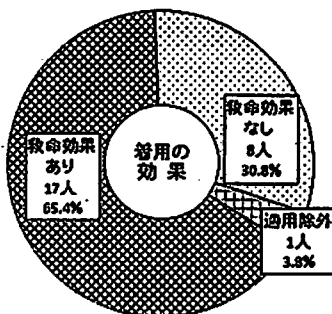
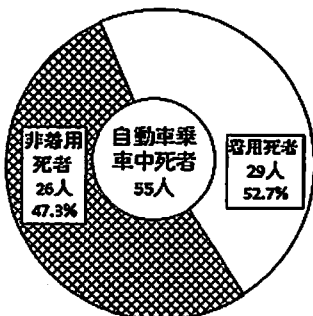
区分	違反	運 転 中														同 乗 中	合 計					
		信号無視	最高速度	通区・追越	一時不停止	酒酔い運転	優先通行妨害等	交差点安全進行	横断等禁止	過労等運転	安全運転義務				その他			違反なし				
											ハンドル・ブレーキ操作	前方不注視	動静不注視	安全不確認					安全速度	その他		
当事者	1 当	10	2		2							8	7		1	3			33	33		
	2 当																	5	8	6		
	3 当以下																		0	18	18	
事故類型	正面衝突			6								1							1	8	3	11
	追出												1						2	3	2	5
	出会い頭				2														1	3	1	4
	追越・追抜			1																1	1	1
	転回時																			0	0	0
	右折時																			1	1	2
その他		1	2																1	4	5	9
計		0	1	9	2	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	5	20	12	32
型別	車両単独		1	1								7	6		1	3				19	4	23
列	列																			0	0	0
合計		0	2	10	2	0	0	1	0	0	0	8	7	0	1	3	0	0	5	39	18	55

オ シートベルト・チャイルドシート着用状況

(7) シートベルト

自動車乗車中の死者 55 人中、シートベルトを着用していたのは 29 人で、着用率は 52.7 パーセントと低調である。

また、非着用死者 26 人中、17 人（非着用で死亡した者の 65.4%）はシートベルトを着用していれば救命効果があったと認められる。



(1) ヘルメット

二輪乗車中の死者は 14 人で、ヘルメットを着用していたのは 7 人で、着用率は 50.0 パーセントを占めた。



## 2 歩行者の事故

### (1) 概況

交通事故で死傷した歩行者は、

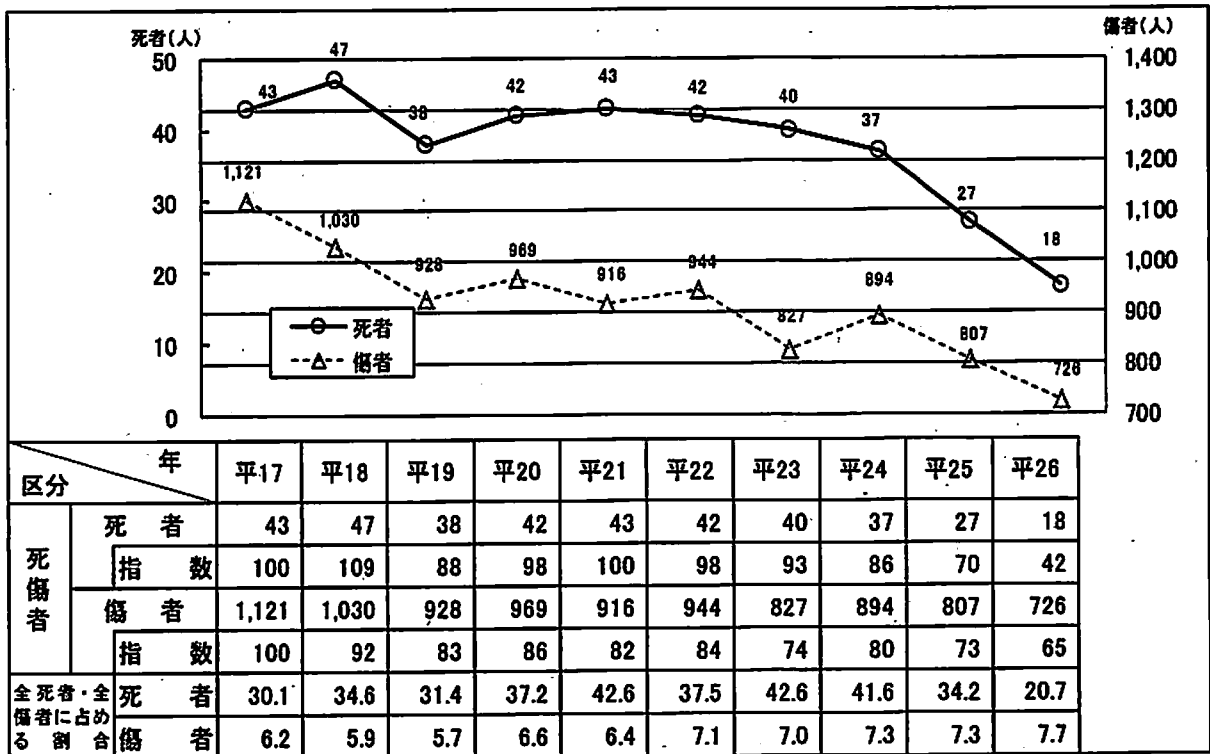
死者数 18人 (前年比 -9人 33.3%減)

傷者数 726人 (前年比 -81人 10.0%減)

で、死者数、傷者数とも減少した。

全死傷者に占める割合は、死者数は20.7パーセントで13.5ポイント減少し、傷者数は7.7パーセントで0.4ポイント増加した。

(単位：人・%)



### (2) 月別

死者は10月が5人で最も多く、次いで1月の4人の順となっており、下半期の死者は11人(61.1%)と過半数を超えている。

傷者数は12月が98人で最も多く、次いで1月の80人、10月の73人の順となっている。

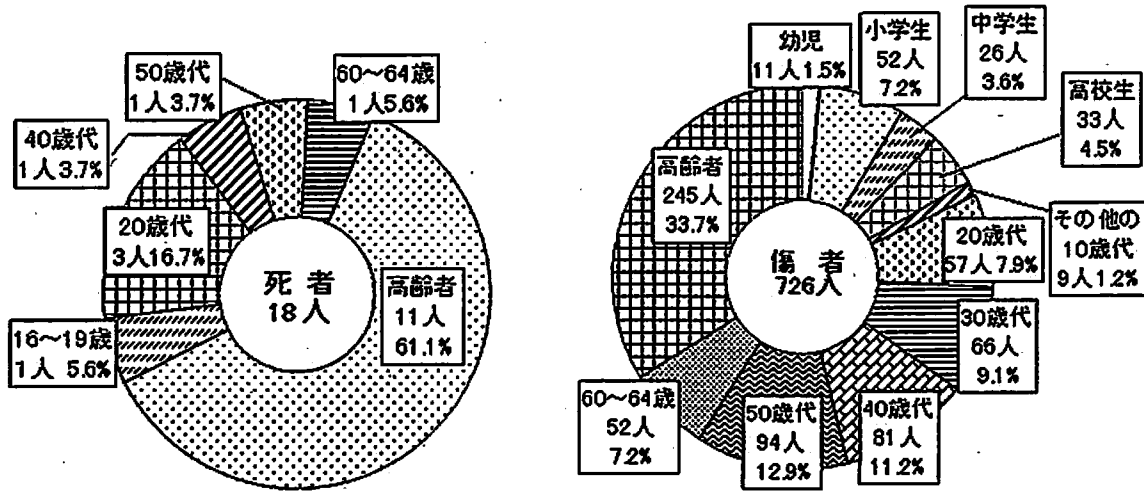
(単位：人・%)

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被害	死者	4	1			2		1			5	2	3	18
	傷者	80	61	59	68	57	33	46	54	44	73	53	98	726
全死者・全傷者に占める割合	死者	44.4	25.0	0.0	0.0	28.6	0.0	7.7	0.0	0.0	50.0	33.3	75.0	20.7
	傷者	9.6	8.7	7.4	7.7	8.2	4.7	5.4	6.4	6.6	8.8	7.5	10.5	7.7

(3) 年齢別

ア 死者は高齢者が11人で最も多く、歩行者死者の61.1パーセントを占めている。

傷者も高齢者が245人と最も多く、次いで50歳代が94人となっている。



イ 歩行者とその他の死傷者の比較

構成率で比較すると、歩行者の高齢死者は61.1パーセントであり、その他の高齢死者の46.4パーセントの1.3倍となっている。

傷者は高齢者の占める割合33.7パーセントであり、次に16歳未満が13.2パーセントと高い。

(単位：人・%)

(単位：人・%)

年齢	区分	死者		傷者		
		構成率 (%)		構成率 (%)		
歩行者の死者	16歳未満	0.0		96	13.2	
	16~19歳	1	5.6	35	4.8	
	20歳代	3	16.7	57	7.9	
	30歳代	0.0		66	9.1	
	40歳代	1	5.6	81	11.2	
	50歳代	1	5.6	94	12.9	
	60歳代	60~64	1	5.6	52	7.2
		65~69	3	16.7	42	5.8
	70歳代	70~74	3	16.7	55	7.6
		75~79	2	11.1	56	7.7
	80歳以上	3	16.7	92	12.7	
	合計	18	100.0	726	100.0	
歩行者の傷者	幼児	0.0		11	1.5	
	小学生	0.0		52	7.2	
	中学生	0.0		26	3.6	
	高校生	1	5.6	33	4.5	
	高齢者	11	61.1	245	33.7	

年齢	区分	死者		傷者		
		構成率 (%)		構成率 (%)		
その他の死者	16歳未満	1	1.4	370	4.2	
	16~19歳	4	5.8	425	4.9	
	20歳代	6	8.7	1,491	17.1	
	30歳代	5	7.2	1,747	20.0	
	40歳代	10	14.5	1,586	18.2	
	50歳代	8	11.6	1,332	15.3	
	60歳代	60~64	3	4.3	607	7.0
		65~69	5	7.2	448	5.1
	70歳代	70~74	10	14.5	335	3.8
		75~79	11	15.9	200	2.3
	80歳以上	6	8.7	183	2.1	
	合計	69	100.0	8,724	100.0	
その他の傷者	幼児	0	0.0	90	1.0	
	小学生	0	0.0	119	1.4	
	中学生	1	1.4	97	1.1	
	高校生	2	2.9	281	3.2	
	高齢者	32	46.4	1,166	13.4	

(4) 時間別・昼夜別

ア 時間別

死者は16～18時の4人が歩行者死者の22.2パーセントを占め最も多く、次いで0～2時、6～8時、18～20時、20～22時の3人となっている。

傷者は16～18時の135人が歩行者傷者の18.6パーセントを占め最も多く、次いで18～20時の127人、14～16時の88人となっている。 (単位：人・%)

区分 \ 時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
死者	3			3				1	4	3	3	1	18
構成率(%)	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	5.6	22.2	16.7	16.7	5.6	100.0
傷者	18	12	10	47	58	69	72	88	135	127	59	31	726
構成率(%)	2.5	1.7	1.4	6.5	8.0	9.5	9.9	12.1	18.6	17.5	8.1	4.3	100.0

イ 昼夜別

死者は夜間が13人と多く、歩行者死者の72.2パーセントを占めている。

傷者は昼間が397人と多く、歩行者傷者の54.7パーセントを占めている。 (単位：人・%)

区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		薄明	昼	薄暮		薄暮	夜	薄明		
死者		1	4		5	3	10		13	18
	構成率(%)	5.6	22.2	0.0	27.8	16.7	55.6	0.0	72.2	100.0
傷者		18	335	46	397	96	223	10	329	726
	構成率(%)	2.2	46.1	6.3	54.7	13.2	30.7	1.4	45.3	100.0

ウ 年齢別・昼夜別

死者は夜間の高齢者が8人と多く、歩行者死者の44.4パーセントを占めている。

傷者は夜間における子ども、高齢者以外の者が233人と多くなっている。 (単位：人・%)

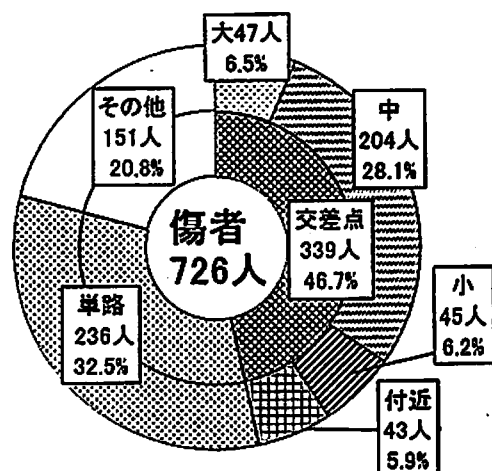
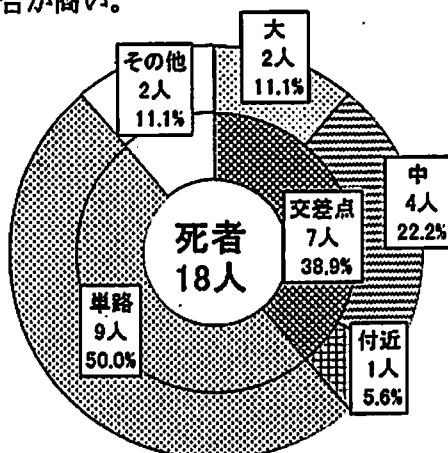
区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		子ども	高齢者	その他		子ども	高齢者	その他		
死者			3	2	5		8	5	13	18
	構成率(%)	0.0	16.7	11.1	27.8	0.0	44.4	27.8	72.2	100.0
傷者		74	164	159	397	15	81	233	329	726
	構成率(%)	10.2	22.6	21.9	54.7	2.1	11.2	32.1	45.3	100.0

(5) 場所別

ア 道路形状別

歩行中の死者は単路が9人と多く、50.0パーセントを占めている。交差点での死者は7人で、なかでも「中」交差点の占める割合が高い。

傷者は交差点が339人と多く、46.7パーセントを占めており、なかでも「中」交差点の占める割合が高い。



イ 道路形状別・信号機の有無・歩車道の区分別

信号機の有無で比較すると、信号機のない単路での死者は9人で、歩行者死者の50.0パーセントを占めている。

歩車道の区分別では、区分ありでの死者が多く、15人と歩行者死者の83.3%を占め、傷者についても483人で歩行者傷者の66.5パーセントを占めている。 (単位：人)

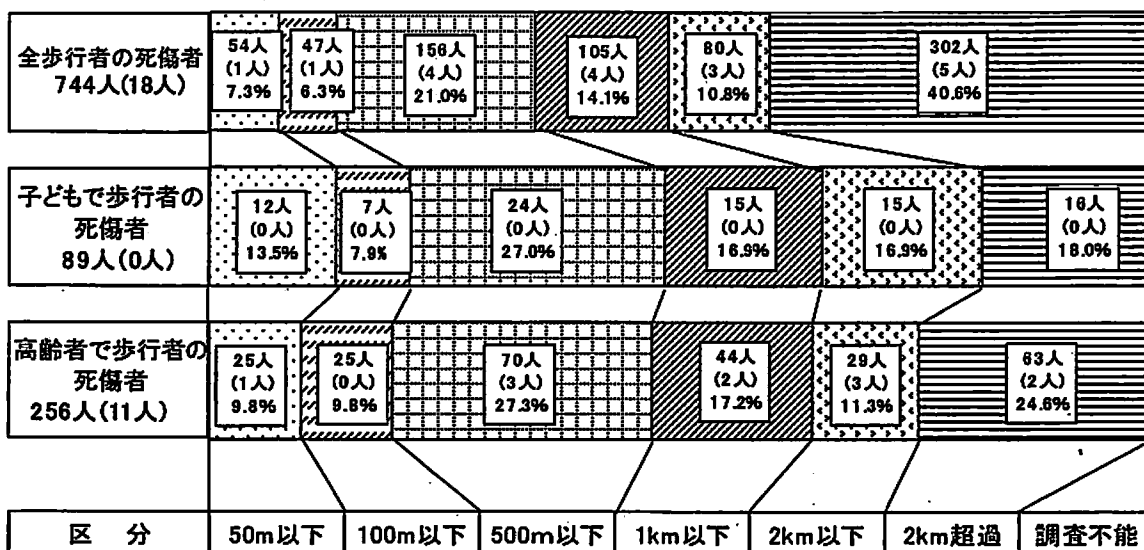
道路形状 信号機、歩車道区別の有無		交 差 点				計	単路	その他	合 計
		大	中	小	付近				
信号機	信号機あり	死者 2	2			4			4
	傷者 46	139	14	16	215	3		218	
信号機なし	死者		2		1	3	9	2	14
	傷者	1	65	31	27	124	233	151	508
合 計		死者 2	4	0	1	7	9	2	18
		傷者 47	204	45	43	339	236	151	726

歩車道	区分あり	防護柵等	死者				0	1		1
		傷者	2	6	1		9	3		12
		縁石等	死者	2	3		1	6	5	
	傷者	44	169	29	26	268	95	4	367	
	路側帯	死者				0	3		3	
傷者	1	20	4	7	32	70	2	104		
区分なし		死者		1		1		2	3	
傷者		9	11	10	30	68	145	243		
合 計		死者 2	4	0	1	7	9	2	18	
		傷者 47	204	45	43	339	236	151	726	

ウ 自宅からの距離

自宅から500メートル以内の死傷者が257人で、歩行者死傷者の34.5パーセントを占めている。

また、死者は6人で歩行者死者の33.3パーセントを占めている。



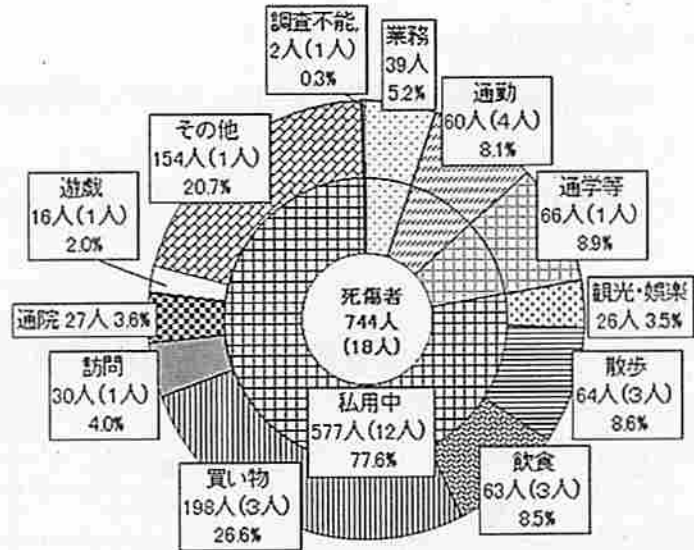
( )内は死者数で内数

(6) 通行目的別

歩行者の死傷者のうち私用中の事故が577人で77.6パーセントを占めている。

うち買い物目的が最も多く198人、26.6パーセントとなっている。

通学等については、前年に比べ、死者は同数で、傷者が17人減少している。



( )内は死者数で内数

(7) 状態別等

ア 状態別

死者、傷者とも道路横断中が多く、死者は11人で歩行者死者の61.1パーセント、傷者は413人で歩行者傷者の56.9パーセントを占めている。(単位：人・%)

状態 区分	人 対 車 両											人 対 車 両 以 外	合 計		
	対 面 通 行 中	背 面 通 行 中	横 断 中				計	路 上 遊 戯 中	路 上 作 業 中	路 上 停 止 中	歩 道 通 行 中			路 側 帯 通 行 中	そ の 他
			横 断 歩 道	横 断 歩 道 付 近	横 断 歩 道 橋 付 近	そ の 他									
死 者	1	1	4	1		6	11			4				1	18
構成率(%)	5.6	5.6	22.2	5.6	0.0	33.3	61.1	0	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	5.6	100.0
傷 者	43	94	222	21	1	169	413	1	13	17	8	6	115	16	726
構成率(%)	5.9	12.9	30.6	2.9	0.1	23.3	56.9	0.1	1.8	2.3	1.1	0.8	15.8	2.2	100.0

イ 横断場所・道路形状別

横断中の死者11人のうち、交差点での死者は7人で横断中死者の63.6パーセントを占めている。

また、交差点内の傷者271人のうち、211人(77.9%)が横断歩道を横断中に事故に遭っている。

(単位：人・%)






横断場所	道路形状	交 差 点				計		その他		合 計			
		交差点内		交差点付近		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
		死者	傷者	死者	傷者								
横断中	横断歩道	4	211		4	215		7	4	222	36.4	53.8	
	横断歩道付近		9	1	9	18		3	1	21	9.1	5.1	
	横断歩道橋付近		1			1			0	1	0.0	0.2	
	その他	2	50		20	70	4	99	6	169	54.5	40.9	
合 計		6	271	1	33	304	4	109	11	413	100	100	

ウ 横断開始場所

横断中の死傷者の横断開始場所は「その他」が最も多く、死者は 10 人 (90.9%)、傷者は 363 人 (87.9%) となっている。

「車両の陰から」の傷者は 22 人で、うち 12 人 (54.5%) は子どもの傷者となっている。

(単位：人・%)

横断場所 区分		車両の陰から			建物	物陰から	路地から	その他
		駐車車両	停止車両	進行車両				
								
子ども	死者							
	傷者	1	10	1	4		4	39
高齢者	死者						1	6
	傷者		3	2	3	2	5	140
その他	死者							4
	傷者		4	1	3		7	184
合計	死者	0	0	0	0	0	1	10
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	90.9
	傷者	1	17	4	10	2	16	363
	構成率(%)	0.2	4.1	1.0	2.4	0.5	3.9	87.9

(8) 違反別

ア 違反状況をみると、何らかの違反があった死者は 12 人で 66.7% を占め、傷者は 212 人で 29.2% となっている。

イ 死者の違反は、横断中が 3 人と多く違反あり死者の 25.0%、次いで酩酊・徘徊の 2 人 (16.7%) が続いている。

横断中では、斜め横断が 2 人で最も多く、横断中の違反あり死者の 66.7 パーセントを占めている。

傷者の違反も横断中が 84 人と多く、違反あり傷者の 39.6 パーセントを占めている。

(単位：人・%)

違反		死 者		傷 者	
		構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)
信号無視	1	5.6	13	1.8	
通行区分	1	5.6	32	4.4	
横断中	横断歩道外	1	5.6	48	6.6
	斜め横断	2	11.1	5	0.7
	駐停車車両直前・直後		0.0	10	1.4
	走行車両直前・直後		0.0	19	2.6
横断禁止場所		0.0	2	0.3	
計	3	16.7	84	11.6	
酩酊・徘徊	2	11.1	4	0.6	
路上遊戯		0.0		0.0	
路上作業		0.0	12	1.7	
飛び出し		0.0	41	5.6	
その他の違反	5	27.8	26	3.6	
違反なし	6	33.3	513	70.7	
調査不能		0.0	1	0.1	
合計	18	100.0	726	100.0	

### 3 自転車の事故

#### (1) 概況

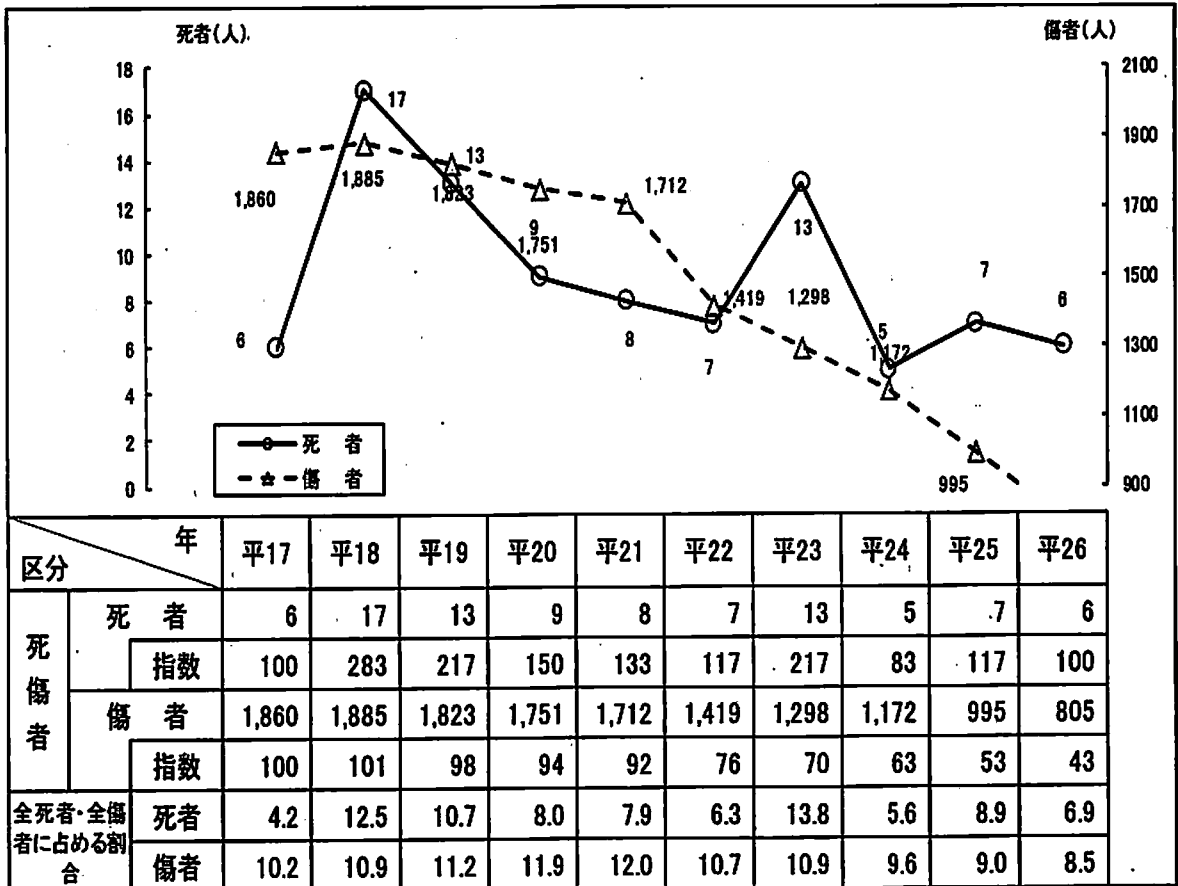
交通事故で死傷した人は

死者数 6人 (前年比 -1人 14.3%減)

傷者数 805人 (前年比 -190人 19.1%減)

で、死者数、傷者数とも減少した。

全死者数に占める割合は6.9パーセントで2.0ポイントの減少、全傷者数に占める割合は8.5パーセントで0.5ポイント減少した。 (単位：人・%)



#### (2) 月別

死者数は9月、10月で各2人、4月、11月で各1人となっている。傷者は、7月が98人と最も多く、次いで5月の83人の順となっている。

上半期、下半期で比較すると死者数、傷者数とも下半期が多く占め、死者は83.3パーセント、傷者は55.7パーセントとなっている。 (単位：人・%)

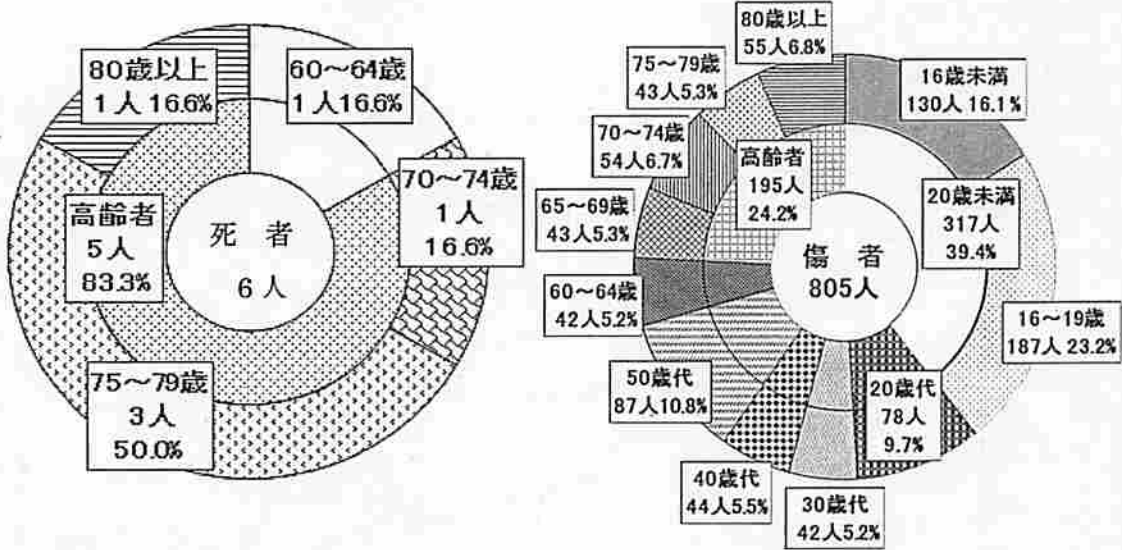
月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被害	死者				1					2	2	1		6
	傷者	63	35	35	66	83	75	98	69	72	80	64	65	805
全死傷者に占める割合	死者	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	20.0	16.7	0.0	6.9
	傷者	7.5	5.0	4.4	7.5	11.9	10.6	11.4	8.2	10.8	9.6	9.1	7.0	8.5

(3) 年齢別

ア 年齢別

死者は、高齢者が5人と多く、自転車死者の83.3パーセントを占める。

傷者は20歳未満が317人と多く、自転車傷者の39.4パーセントを占めている。



イ 自転車とその他の死傷者の比較

自転車の死傷者とその他の死傷者を比較すると、自転車の死傷者では、死者は高齢者、傷者は20歳未満の占める割合が高い。

(単位：人・%)

(単位：人・%)

年齢	区分	死者		傷者		
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	
自転車	16歳未満	0	0.0	130	16.1	
	16～19歳	0	0.0	187	23.2	
	20歳代	0	0.0	78	9.7	
	30歳代	0	0.0	42	5.2	
	40歳代	0	0.0	44	5.5	
	50歳代	0	0.0	87	10.8	
	60歳代	60～64	1	16.7	42	5.2
		65～69	0	0.0	43	5.3
		70～74	1	16.7	54	6.7
		75～79	3	50.0	43	5.3
80歳以上	80歳以上	1	16.7	55	6.8	
	合計	6	100.0	805	100.0	
死者	内訳	幼児	0	0.0	1	0.1
		小学生	0	0.0	28	3.5
		中学生	0	0.0	48	6.0
		高校生	0	0.0	210	26.1
		高齢者	5	83.3	195	24.2
		合計	6	100.0	805	100.0

年齢	区分	死者		傷者		
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	
その他	16歳未満	1	1.2	336	3.9	
	16～19歳	5	6.2	273	3.2	
	20歳代	9	11.1	1470	17.0	
	30歳代	5	6.2	1771	20.5	
	40歳代	11	13.6	1623	18.8	
	50歳代	9	11.1	1339	15.5	
	60歳代	60～64	3	3.7	617	7.1
		65～69	8	9.9	447	5.2
		70～74	12	14.8	336	3.9
	70歳代	75～79	10	12.3	213	2.5
80歳以上		8	9.9	220	2.5	
合計	合計	81	100.0	8,645	100.0	
傷者	内訳	幼児	0	0.0	100	1.2
		小学生	0	0.0	143	1.7
		中学生	1	1.2	75	0.9
		高校生	3	3.7	104	1.2
		高齢者	38	46.9	1216	14.1
		合計	81	100.0	8,645	100.0



(4) 時間別・昼夜別

ア 時間別

死者は 16～18 時が 3 人で自転車死者の 50.0 パーセントを占め最も多く、次いで 8～10 時、18～20 時、22～24 時の各 1 人の順となっている。

傷者は 16～18 時が 153 人で自転車傷者の 19.0 パーセントを占め最も多く、次いで 8～10 時の 139 人、6～8 時の 131 人の順となっている。 (単位:人・%)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
死者						1				3	1		1	6
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	50.0	16.7	0.0	16.7	100.0
傷者		3	3	3	131	139	103	70	74	153	88	28	10	805
	構成率(%)	0.4	0.4	0.4	16.3	17.3	12.8	8.7	9.2	19.0	10.9	3.5	1.2	100.0

イ 昼夜別

死者は夜間、昼間が 3 人ずつで、傷者は昼間が多い。

ウ 年齢別・昼夜別

死者は昼夜ともの高齢者が多く、それぞれ自転車死者の 50.0 パーセントと 33.3 パーセントを占めている。

傷者は、昼間のその他が 417 人と多く、自転車傷者の 51.8 パーセントを占めている。

(単位:人・%)

区分	昼夜	昼間				夜間			計	合計
		薄明	昼	薄暮	計	薄暮	夜	薄明		
死者			2	1	3	2	1		3	6
	構成率(%)	0.0	33.3	16.7	50.0	33.3	16.7	0.0	50.0	100.0
傷者		16	561	70	647	62	94	2	158	805
	構成率(%)	2.0	69.7	8.7	80.4	7.7	11.7	0.2	19.6	100.0

(単位:人・%)

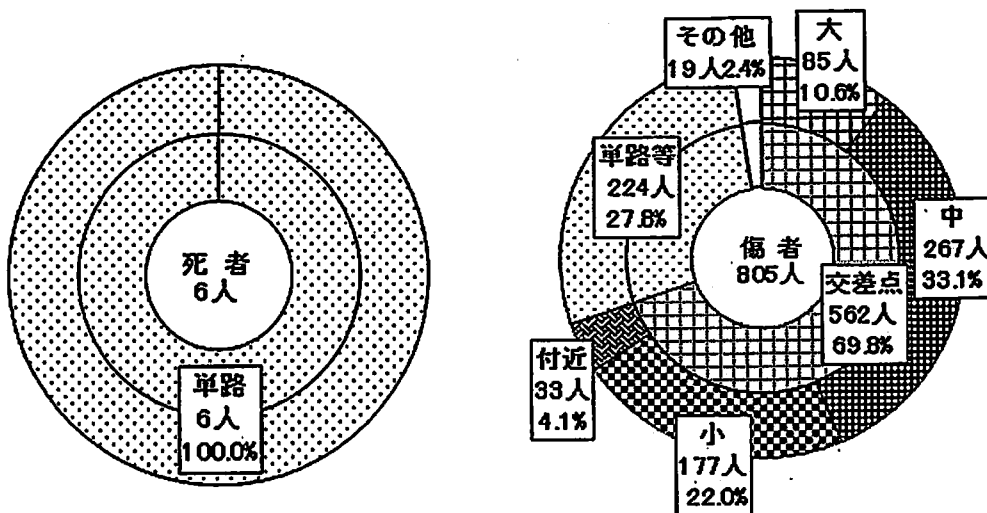
区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		子ども	高齢者	その他		子ども	高齢者	その他		
死者			3	0	3		2	1	3	6
	構成率(%)	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	33.3	16.7	50.0	100.0
傷者		62	168	417	647	15	27	116	158	805
	構成率(%)	7.7	20.9	51.8	80.4	1.9	3.4	14.4	19.6	100.0

(5) 場所別

ア 道路形状別

死者は、単路等のみで 6 人となっており、傷者は交差点が 562 人で自転車傷者の 69.8 パーセントを占めている。

交差点の大きさで見ると、傷者は「小」・「中」交差点での発生が多い。



イ 道路形状別・信号機の有無別

自転車死者はなく、単路でのみ6人となっている。

(単位：人)

信号機の有無		道路形状	交差点				計	単路	その他	合計
			大	中	小	付近				
信号機あり	死者					0			0	
	傷者	67	107	26	9	209	3	1	213	
信号機なし	死者					0	6		6	
	傷者	18	160	151	24	353	221	18	592	
合計		死者	0	0	0	0	6	0	6	
		傷者	85	267	177	33	562	224	19	805

(6) 道路形状別・事故類型別

自転車乗用中の死者は6人全て交差点以外で、傷者は交差点での発生が多く562人(69.8%)となっている。

事故類型別では、車両相互の出会い頭の事故が多く、死者は1人(16.7%)、傷者は562人(56.9%)

となっている。

(単位：人・%)

道路形状		交差点				計		その他		合計				
		交差点内		交差点付近		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	構成率(%)		
		死者	傷者	死者	傷者							死者	傷者	死者
人	対	車	両			0	0			0	0	0.0	0.0	
車	相	正面衝突				0	0			0	4	0.0	0.5	
		追突		2		1	0	3		13	0	16	0.0	2.0
		出会い頭		322		13	0	335	1	123	1	458	16.7	56.9
		追越・追抜		3		4	0	7		19	0	26	0.0	3.2
		転回・後退時		1		4	0	5		15	0	20	0.0	2.5
		進路変更時					0	0			0	0	0.0	0.0
		すれ違い時		1			0	1		6	0	7	0.0	0.9
		左折時		95		2	0	97		29	0	126	0.0	15.7
		右折時		103		3	0	106		13	0	119	0.0	14.8
		その他		2		6	0	8	1	16	1	24	16.7	3.0
計		0	529	0	33	0	562	2	238	2	800	33.3	99.4	
車	両	単	独			0	0	4	5	4	5	66.7	0.6	
列	車					0	0			0	0	0.0	0.0	
合計		0	529	0	33	0	562	6	243	6	805	100.0	100.0	

(7) 自宅からの距離

事故発生場所から自宅までの距離をみると、子どもは500m以内(101~500m)、高齢者は1km以内(501~1,000m)の死傷者が多い。

子ども、高齢者を除いた死傷者は2km超過(2,001m~)が多い。

(単位：人・%)

区分	距離	50m以内	100m以内	500m以内	1km以内	2km以内	2km超過	調査不能	合計
子ども		3	7	21	17	18	11		77
	構成率(%)	3.9	9.1	27.3	22.1	23.4	14.3	0.0	100.0
高齢者	①	6	10	① 37	① 59	① 38	① 50		⑤ 200
	構成率(%)	3.0	5.0	18.5	29.5	19.0	25.0	0.0	100.0
その他		3	13	61	① 106	102	249		① 534
	構成率(%)	0.6	2.4	11.4	19.9	19.1	46.6	0.0	100.0
合計	①	12	30	① 119	② 182	① 158	① 310	0	⑥ 811
	構成率(%)	1.5	3.7	14.7	22.4	19.5	38.2	0.0	100.0

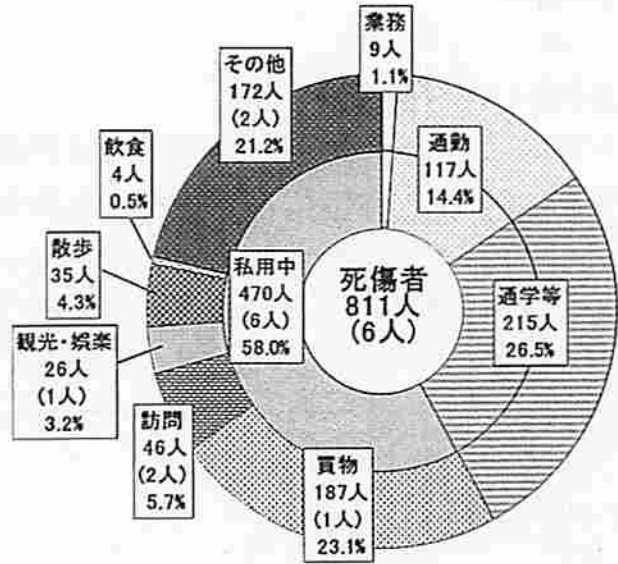
○は死者数で内数

(8) 通行目的別

通行目的は、私用中が470人で、58.0パーセントを占めている。

なかでも買い物物が187人で、23.1パーセントを占めている。

通学等、通勤における事故の発生も多く、それぞれ、215人(26.5%)、117人(14.4%)となっている。



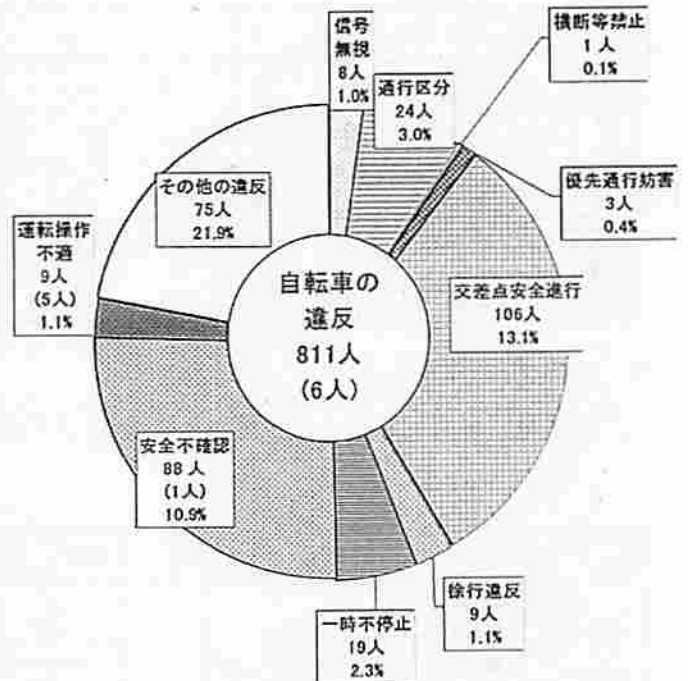
( )内は死者数で内数

(9) 違反別

死者のうち何らかの違反があったのは6人(100.0%)、同じく傷者では336人(41.7%)となっている。

(単位：人・%)

違反	死 者		傷 者	
	人数	構成率	人数	構成率
信号無視		0.0%	8	1.0%
通行区分		0.0%	24	3.0%
横断等禁止		0.0%	1	0.1%
右折違反		0.0%		0.0%
優先通行妨害		0.0%	3	0.4%
交差点安全進行		0.0%	106	13.2%
徐行違反		0.0%	9	1.1%
一時不停止		0.0%	19	2.4%
酒酔い運転		0.0%		0.0%
安全不確認	1	16.7%	87	10.8%
運転操作不適	5	83.3%	4	0.5%
その他の違反		0.0%	75	9.3%
違反なし		0.0%	469	58.3%
合 計	6	100.0%	805	100.0%



内 訳	夜間事故	3	50.0%	158	19.6%
	うち無灯火		0.0%	2	1.3%
	無灯火率	死者	0.0%	傷者	0.2%

#### 4 子どもの事故

##### (1) 概況

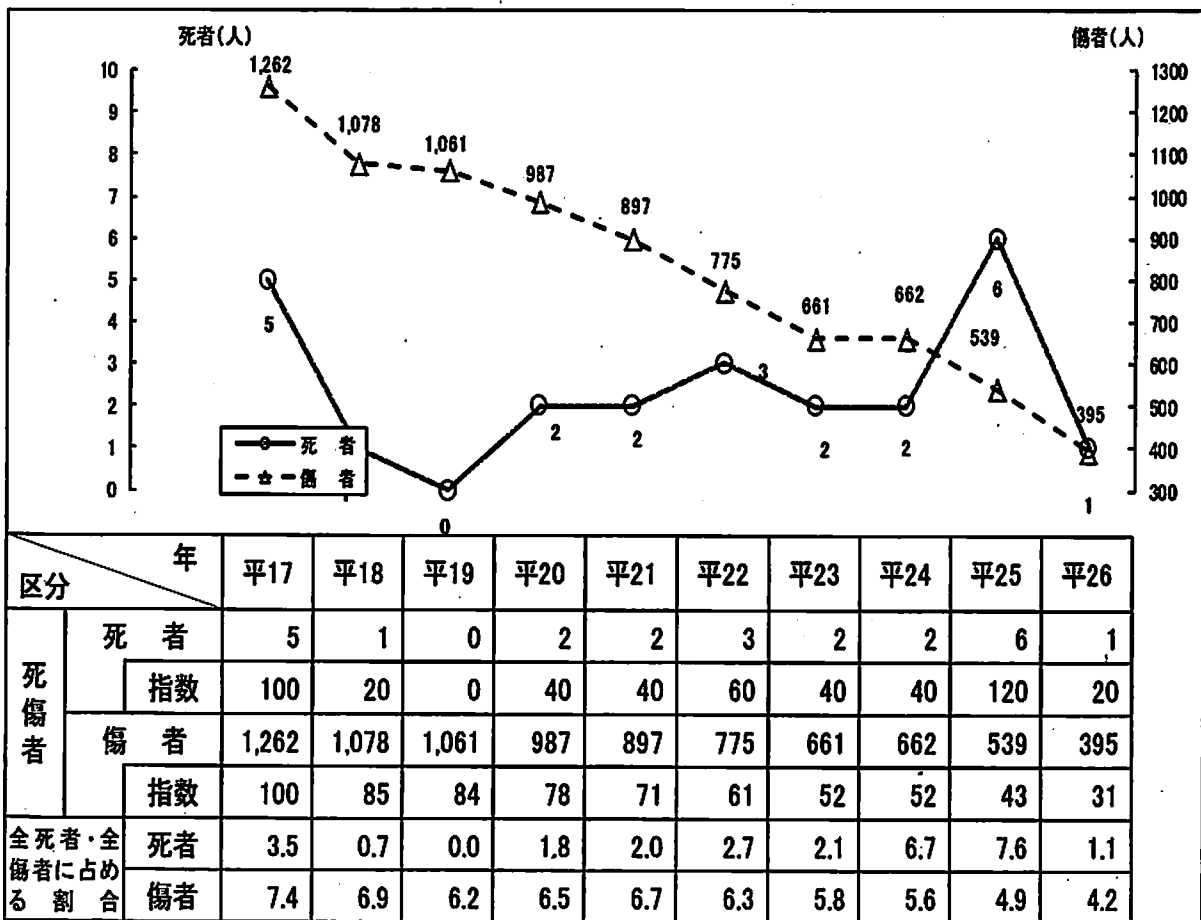
交通事故により死傷した子どもは、

死者数 1人 (前年比 -5人 83.3%減)

傷者数 395人 (前年比 -144人 26.7%減)

で、死者数、傷者数とも減少した。

全死者に占める割合は1.1パーセントで、6.5ポイント減少し、全傷者に占める割合は4.2パーセントで0.7ポイント減少した。  
(単位：人・%)



##### (2) 月別

死者数は5月に1人、傷者数は1月の52人で最も多く、次いで5月の48人の順となっている。

(単位：人・%)

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被害	死者					1								1
	傷者	52	26	20	41	48	24	34	40	27	35	18	30	395
全死者・全傷者に占める割合	死者	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1
	傷者	6.2	3.7	2.5	4.6	6.9	3.4	4.0	4.8	4.1	4.2	2.6	3.2	4.2

(3) 状態別

死者は、自動車同乗中の1人(100.0%)のみで、傷者も自動車同乗中の227人(57.5%)が最も多く、次いで歩行者の89人(22.5%)の順となっている。

(単位:人・%)

区分	状態	自動車同乗中	自動二輪乗車中	原付乗車中		自転車乗用中		歩行者	その他	合計
				運転	同乗	運転	同乗			
死者		1								1
	構成率(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
傷者		227				74	3	89	2	395
	構成率(%)	57.5	0.0	0.0	0.0	18.7	0.8	22.5	0.5	100.0

(4) 状態別・学齢別

(単位:人)

死者は、その他の1人(中学2年生1人)となっている。

歩行者の死者はなく、傷者は、小学1年生の18人が最も多く、次いで中学2年生の12人の順となっている。

自転車も死者はなく、傷者は、中学生1年生の21人が最も多く、次いで中学2年生の16人の順となっている。

学齢	状態	歩行者		自転車		その他		合計	
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
幼児	未就学児		6		1		43	0	50
	幼稚園児		5				46	0	51
	計	0	11	0	1	0	89	0	101
小学生	1年		18		3		16	0	37
	2年		10		2		12	0	24
	3年		10		4		18	0	32
	4年		5		4		11	0	20
	5年		6		3		20	0	29
	6年		3		12		14	0	29
	計	0	52	0	28	0	91	0	171
中学生	1年		8		21		18	0	47
	2年		12		16	1	13	1	41
	3年		6		11		18	0	35
	計	0	26	0	48	1	49	1	123
合計		0	89	0	77	1	229	1	395

(5) 時間別・昼夜別

死者は昼間に1人(100.0%)のみで、夜間死者はない。傷者は昼間が多く74.9パーセントを占めている。

時間別では、死者は12~14時の1人のみで、傷者は、下校時間帯及び放課後となる16~18時の76人が最も多く、次いで14~16時、12~14時の順となっている。

(単位:人・%)

区分	昼夜	昼間		夜間		合計	
		薄暮	薄暮	薄暮	薄暮	薄暮	薄暮
死者		1				1	0
	構成率(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
傷者		296	31	99	31	395	62
	構成率(%)	74.9	7.8	25.1	7.8	100.0	15.7

(単位:人・%)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
死者								1						1
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100
傷者		2		1	41	21	49	54	69	76	50	28	4	395
	構成率(%)	0.5	0.0	0.3	10.4	5.3	12.4	13.7	17.5	19.2	12.7	7.1	1.0	100

(6) 学齢別・通行目的別

学齢でみると、幼児、小学生、中学生とも買い物での被害が多い。

通行目的の中に占める通学等の割合は、幼児が10.0パーセント、小学生の19.9パーセント、中学生の38.1パーセントとなっている。  
(単位：人・%)

通行目的	学齢	幼 児		小 学 生		中 学 生		合 計	
		人数	構成率(%)	人数	構成率(%)	人数	構成率(%)	人数	構成率(%)
通学等	登校	5	5.0	15	8.8	26	21.1	46	11.6
	学業中		0.0		0.0	2	1.6	2	0.5
	下校	5	5.0	19	11.1	19	15.4	43	10.9
私 用	観光・娯楽	12	11.9	11	6.4	4	3.3	27	6.8
	ドライブ	2	2.0	4	2.3		0.0	6	1.5
	散歩	2	2.0	4	2.3	4	3.3	10	2.5
	飲食	5	5.0	2	1.2	3	2.4	10	2.5
	買物	34	33.7	44	25.7	29	23.6	107	27.1
	訪問		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	帰省	2	2.0	4	2.3	1	0.8	7	1.8
	遊戯(路上)	2	2.0	8	4.7	2	1.6	12	3.0
	疾病徘徊		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	その他	32	31.7	60	35.1	① 33	26.8	① 125	31.6
調査不能		0.0		0.0		0.0	0	0.0	
合計		101	100.0	171	100.0	① 123	100.0	① 395	100.0

○は死者で内数

\*(注) 通行目的が道路外の人等は除く

(7) 場所別等

ア 道路形状別等

(単位：人・%)

子どもの死傷者のうち52.0パーセントが交差点で事故にあっている。

学齢と道路形状でみると、幼児、小・中学生とも交差点での事故が多い。

特に、中学生による自転車乗用中の交差点事故が34人と多い。

形状	区分	歩行者	自転車	その他	合計
交 差 点	人数	38	① 54	114	① 206
	構成率(%)	18.45	26.21	55.34	
単 路	人数	42	23	106	171
	構成率(%)	24.56	13.45	61.99	
駐 車 場 等	人数	9		10	19
	構成率(%)	47.37	0.00	52.63	
合 計	人数	89	① 77	230	① 396
	構成率(%)	22.47	19.44	58.08	

○は死者で内数

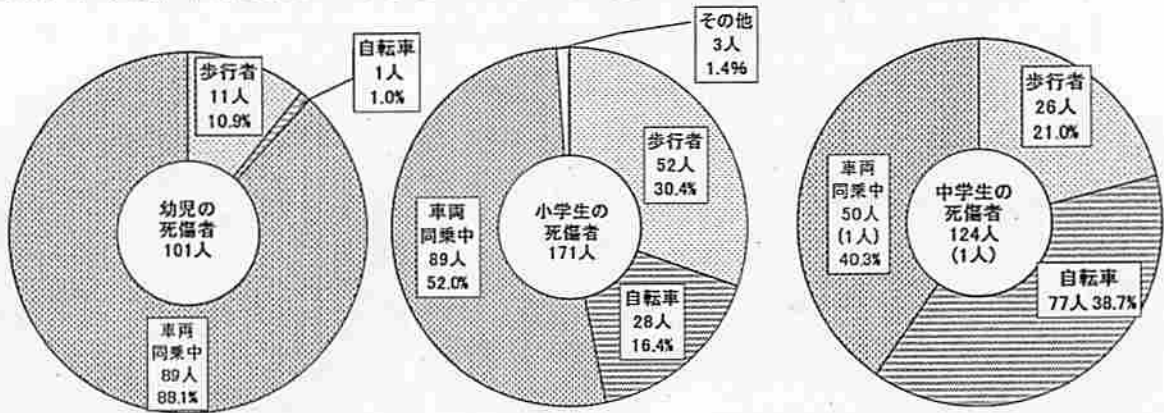
(単位：人)

学齢	区分	交 差 点			計	単 路			計	駐 車 場 等			計
		歩行者	自転車	その他		歩行者	自転車	その他		歩行者	自転車	その他	
幼 児		1	1	48	50	6		36	42	4		5	9
小 学 生		23	19	44	86	27	9	44	80	2		3	5
中 学 生		14	34	① 22	① 70	9	14	26	49	3		2	5
合 計		38	54	114	① 206	42	23	106	171	9	0	10	19

○は死者で内数

イ 死傷者の割合等

学齢別死傷者の状況を見ると、幼児については車両同乗中が圧倒的に多く 88.1パーセントを占め、小学生、中学生についても 40 パーセントを超えるなど比率が高くなっている。



( ) 内は死者数で内数

ウ 自宅からの距離

子どもの死傷者で、歩行者、自転車乗用中の事故発生場所から自宅までの距離をみると、歩行者では自宅から 500メートル以内での事故が 48.4パーセントを占め、自転車乗車中では自宅から 1キロメートル以内での事故が 62.4パーセントを占めている。(単位：人・%)

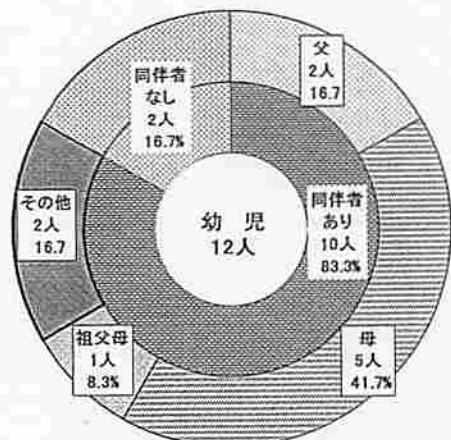
区分	歩行者								自転車								合計	
	幼児		小学生		中学生		小計		幼児		小学生		中学生		小計		合計	
	人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)
50 m 以下	3	27.3	9	17.3	0	0.0	12	13.5	0	3	10.7	1	2.1	4	5.2	16	9.6	
100m 以下	0	0.0	6	11.5	1	3.8	7	7.9	0	4	14.3	3	6.3	7	9.1	14	8.4	
500m 以下	2	18.2	18	34.6	4	15.4	24	27.0	0	9	32.1	11	22.9	20	26.0	44	26.5	
1 km 以下	1	9.1	7	13.5	7	26.9	15	16.9	0	3	10.7	14	29.2	17	22.1	32	19.3	
2 km 以下	1	9.1	6	11.5	8	30.8	15	16.9	1	100.0	7	25.0	10	20.8	18	23.4	33	19.9
2 km 超過	4	36.4	6	11.5	6	23.1	16	18.0	0	2	7.1	9	18.8	11	14.3	27	16.3	
調査不能	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	11	100.0	52	100.0	26	100.0	89	100.0	1	100.0	28	100.0	48	100.0	77	100.0	166	100.0

○は死者で内数

エ 幼児の同伴者

幼児が歩行中または自転車乗用中に事故にあった傷者 12 人（死者はなし）のうち、83.3パーセントの 10 人が「同伴者あり」となっている。

同伴者の中で一番多いのは母親、次いで父親の順となっている。



( ) 内は死者数で内数

(8) 事故類型

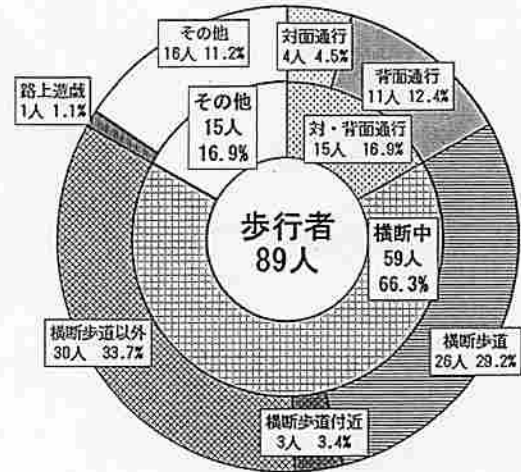
ア 歩行者

死亡事故の発生はないが、事故類型別では横断中が 59 人と多く歩行者被害の 66.3 パーセントを占め、横断歩道以外の場所が 30 人と多く横断中傷者の 50.8 パーセントを占めている。

また、横断中の事故について、学齢と横断歩道信号機の有無で比較すると、横断歩道以外の信号機のない場所での小学生の傷者が目立っている。

(単位：人)

学齢	横断歩道		横断歩道以外		計
	信号あり	信号なし	信号あり	信号なし	
幼 児					6
小 学 生	9	6	1		22
中 学 生	7	4	1		3



イ 自転車

死亡事故の発生はないが、事故類型別では、出会い頭事故の傷者が 52 人で、自転車乗用中の 67.5 パーセントを占め最も多く、次いで右折時、左折時の各 10 人の順となっている。

また、道路形状別では、交差点での傷者が 54 人と多く、自転車乗用中傷者の 70.1 パーセントを占めている。

(単位：人・%)

事故類型	道路形状等		計	その他	合 計	構成率(%)	幼児		小学生		中学生	
	交差点内	交差点付近					交差点	その他	交差点	その他	交差点	その他
人 対 車 両			0		0	0.0						
車 両 相 互	正 面 衝 突		0		0	0.0						
	追 突		0		0	0.0						
	出 会 い 頭	31	5	36	16	52	67.5	1	13	7	22	9
	追 越 ・ 追 抜			0		0	0.0					
	転 回 ・ 後 退 時		1	1	1	2	2.6		1			1
	道 路 変 更 ・ す れ 違 い 時			0	1	1	1.3			1		
	右 折 時	8		8	2	10	13.0		2	1	6	1
左 折 時	8		8	2	10	13.0		2		6	2	
そ の 他	1		1	1	2	2.6		1			1	
計	48	6	54	23	77	100.0	1	0	19	9	34	14
車 両 単 独			0		0	0.0						
列 車			0		0	0.0						
合 計	48	6	54	23	77	100.0	1	0	19	9	34	14

○は死者で内数



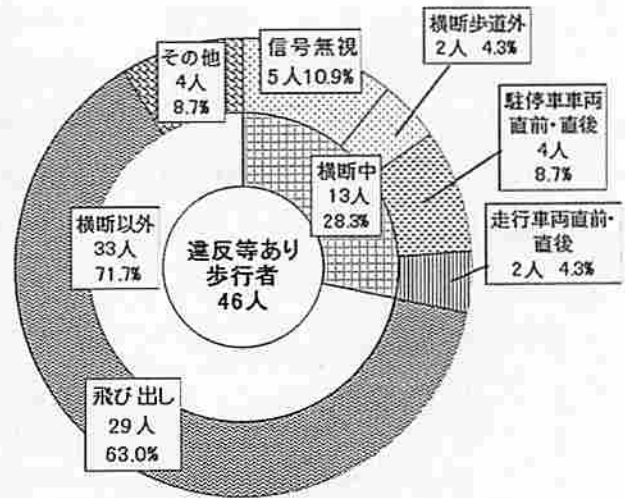
(9) 違反別

ア 歩行者

歩行者の傷者 89 人のうち、何らかの違反が認められた者は 46 人で、子どもの歩行中事故の 51.7 パーセントを占めている。

違反の内容をみると、飛び出しが 29 人と最も多く、違反のあった歩行者の 63.0 パーセントを占めている。

歩行者	幼児	違反あり 違反なし	8人 72.7%	3人 27.3%
	小学生		32人 61.5%	20人 38.5%
	中学生		6人 23.1%	20人 76.9%
	子ども以外		179人 27.3%	476人 72.7%

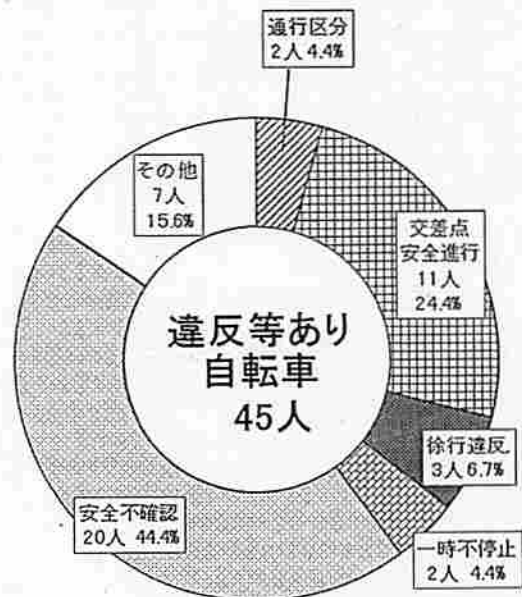


イ 自転車

自転車の傷者 77 人のうち、何らかの違反が認められたのは 45 人で自転車傷者の 58.4 パーセントを占めている。

違反の内容をみると安全不確認が 20 人 (44.4%) で最も多く、次いで交差点安全進行義務違反の 11 人 (24.4%) が続いている。

自転車	幼児	違反あり 違反なし	1人 100.0%	
	小学生		24人 85.7%	4人 14.3%
	中学生		21人 43.8%	27人 56.2%
	子ども以外		297人 40.3% (6人)	437人 59.7%



## 5 高校生の事故

### (1) 高校生の事故

#### ア 概況

高校生が第1当事者となった事故は、

発生件数 14件 (前年比 -3件 17.6%減)

死者数 0人 (前年比 ±0人 ±0)

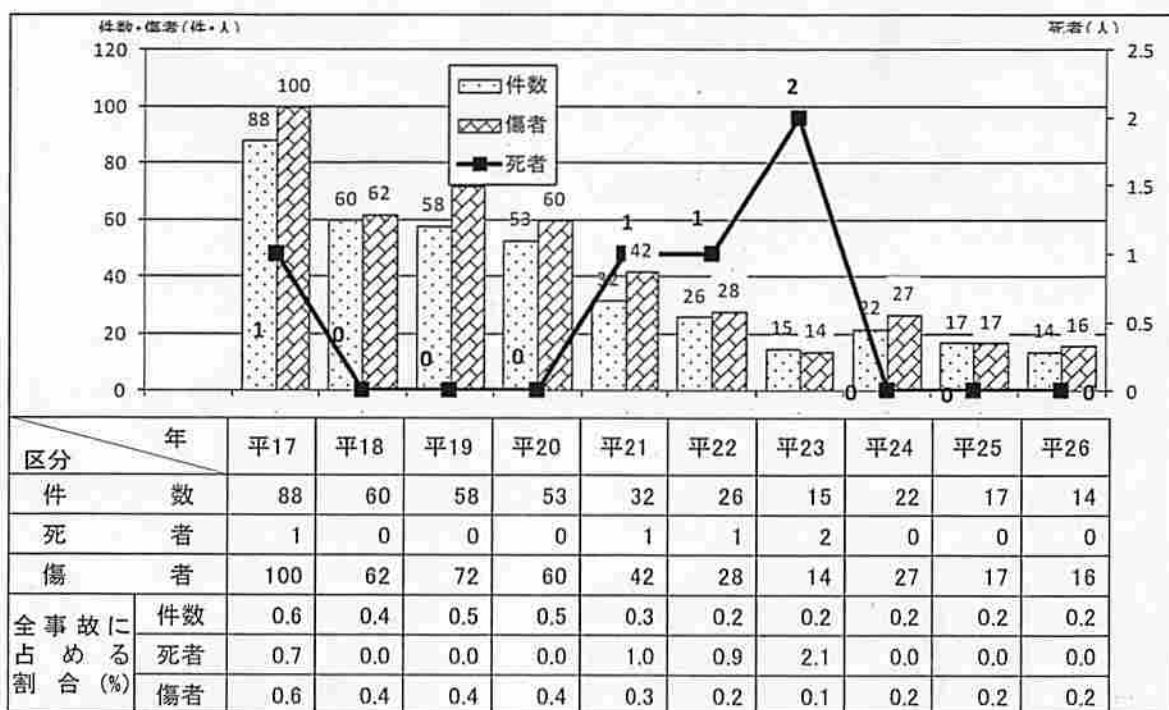
傷者数 16人 (前年比 -1人 5.9%減)

で、死者は昨年同様なく、発生件数、傷者数は減少した。

過去10年間の推移をみると、発生件数が最も多いのは平成17年の88件で、平成26年の14件は平成17年と比べると約6分の1以下に減少している。

死者は、平成23年の2人が最も多く、平成17、21、22年の1人、他は0人となっている。

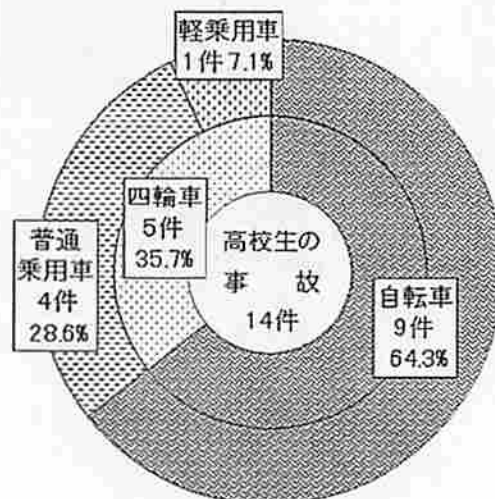
(単位：件・人・%)



#### イ 当事車種別

高校生が第1当事者となった事故は、自転車が9件で64.3%を占め、次いで、四輪車の5件(35.7%)となっている。

二輪車で第1当事者となった事故は、なかった。



ウ 違反別

安全運転義務違反による事故が6件で42.8%を占め、内容は、前方不注意による事故が3件、次いで動静不注意、安全不確認、安全速度の各1件となっている。

悪質違反による事故は8件で57.2%を占め、一時不停止が5件、信号無視が2件、通区・追越が1件となっている。

(単位:件・%)

違反	区分	高校生事故		全事故		違反	区分	高校生事故		全事故	
		構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)			構成率(%)	構成率(%)		
悪質違反	信号無視	2	14.3	303	3.9	安全運転義務違反	徐行違反		0.0	63	0.8
	最高速度		0.0	7	0.1		ハンドル・ブレーキ		0.0	612	7.9
	通区・追越	1	7.1	174	2.3		前方不注意	3	21.4	1,986	25.8
	歩行者妨害等		0.0	293	3.8		動静不注意	1	7.1	1,290	16.7
	一時不停止	5	35.7	583	7.6		安全不確認	1	7.1	1,172	15.2
	酒酔い運転		0.0	13	0.2		安全速度	1	7.1	116	1.5
	計	8	57.1	1,373	17.8	その他		0	50	1	
横断禁止等			0.0	78	1.0	計	6	42.9	5,226	67.8	
右・左折違反			0.0	32	0.4	その他		0.0	117	1.5	
優先通行妨害等			0.0	329	4.3	合計	14	100.0	7,710	100.0	
交差点安全進行			0.0	492	6.4	無免許(内数)		0.0	22	0.3	

高校生の事故を全事故と構成率で比較すると、安全運転義務違反は全事故より24.9ポイント低くなっているが、悪質違反は57.1パーセントと約3倍になっている。

違反	悪質違反	安全運転義務違反	その他
高校生による事故	8件 57.1%		6件 42.9%
全事故	1,373件 17.8%	5,226件 67.8%	1,111件 14.4%

エ 道路形状別・当事者別

高校生が第1当事者となる事故は、自転車による事故が6件、自動車による事故が3件の計9件が交差点で発生し、64.3パーセントを占めている。

(単位:件)

当事者	道路形状	交差点		その他	合計	カーブ(内数)	
		付近(内数)				右	左
自動車	合計	3	1	2	5	0	0
	小型二輪				0		
	軽二輪				0		
	原付二種				0		
	原付				0		
自転車	合計	0	0	0	0	0	0
歩行者	合計	6		3	9	1	0
合計	合計	9	1	5	14	1	0

(2) 高校生の被害

ア 概況

交通事故で被害にあった高校生は

死者数 3人 (前年比 +2人 200.0%増)

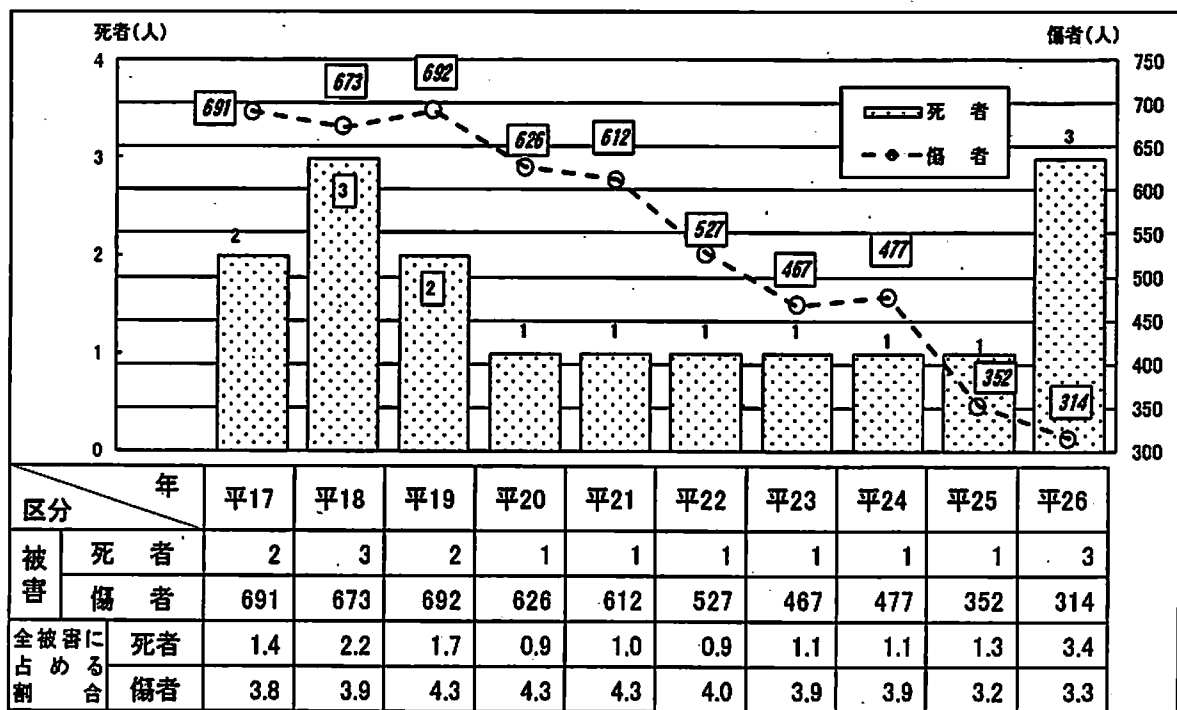
傷者数 314人 (前年比 -38人 10.8%減)

で、死者数は昨年より増加し、傷者数は減少した。

過去10年間の推移をみると、死者が最も多いのは平成18、26年の3人、次いで平成17、19年が2人、他は1人となっている。

傷者が最も多いのは平成19年の692人で、最も少ないのは平成26年の314人となっている。

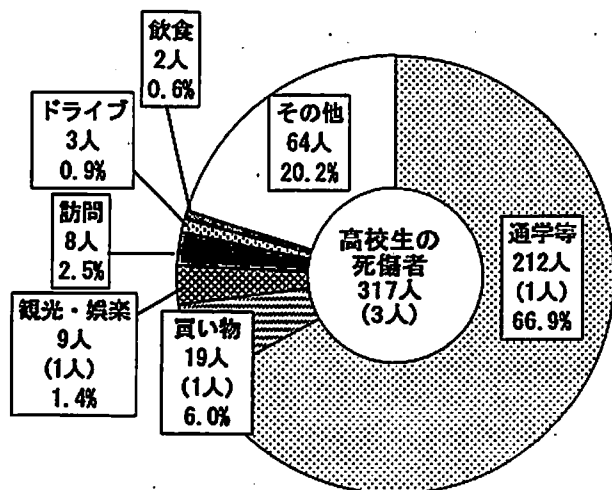
(単位：人・%)



イ 通行目的

通学等の死傷者は212人で高校生死傷者の66.9パーセントを占め最も多く、次いで買い物の19人となっている。

死者は、通学等、買い物、観光・娯楽の各1人となっている。



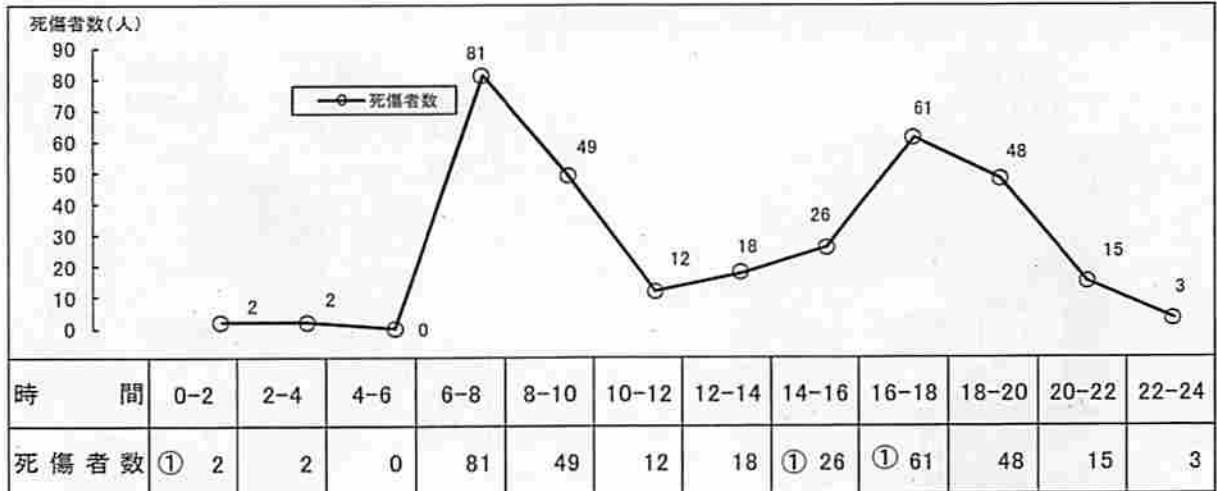
( )内は死者数で内数

ウ 時間別

死傷者数は、登・下校時間帯、特に6～8時が81人、16～18時が61人、8～10時が49人、18～20時が48人と多く、この時間帯の死傷者は、高校生死傷者の75.4パーセントを占めている。

死者は、0～2時、14～16時、16～18時発生各1人となっている。

(単位：人)



(注) ○は死者数で内数

エ 状態別

高校生の死者は3人で、自動車同乗中の2人、歩行中の1人である。

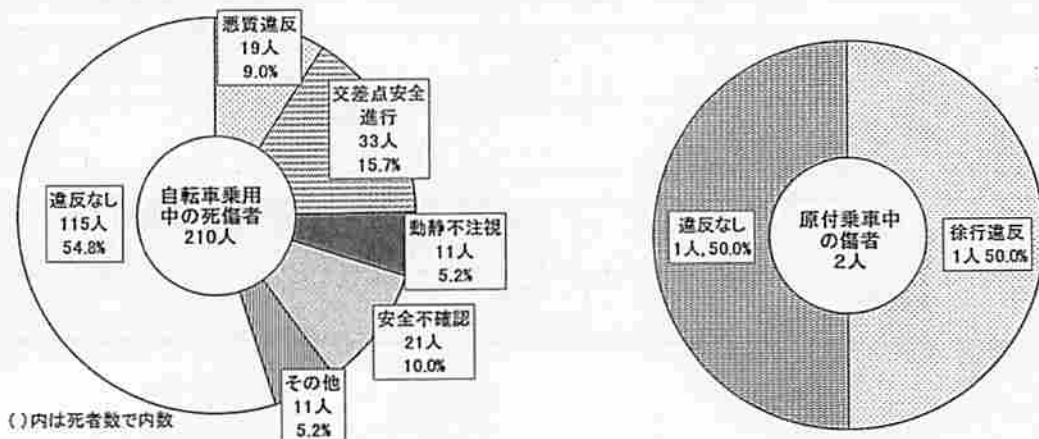
傷者は自転車乗用中が210人と最も多く高校生傷者の66.9パーセントを占め、次いで自動車同乗中の66人(21.0%)、歩行中の33人(10.5%)の順となっている。

(単位：人・%)

区分	自動車		自動二輪車		原付乗車中	自転車乗用中	歩行中	その他	合計
	運転中	同乗中	運転中	同乗中					
死者		2					1		3
構成率(%)	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	100.0
傷者	1	66	2		2	210	33		314
構成率(%)	0.3	21.0	0.6	0.0	0.6	66.9	10.5	0.0	100.0

自転車、原付バイクの違反状況をみると、自転車の45.2%に、原付バイクの50.0%に何らかの違反が認められた。

原付バイクは徐行違反1人、自転車は交差点安全進行33人、安全不確認21人、悪質違反19人の順となっている。



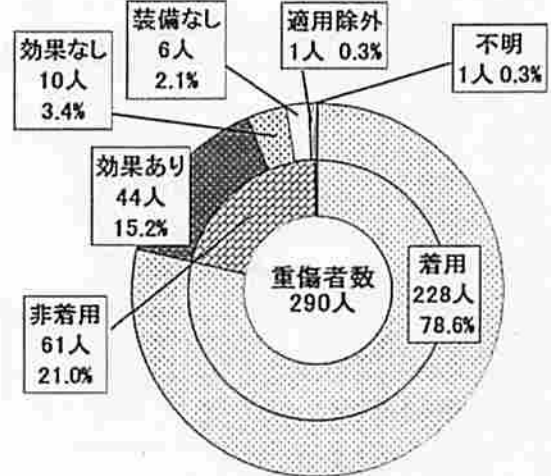
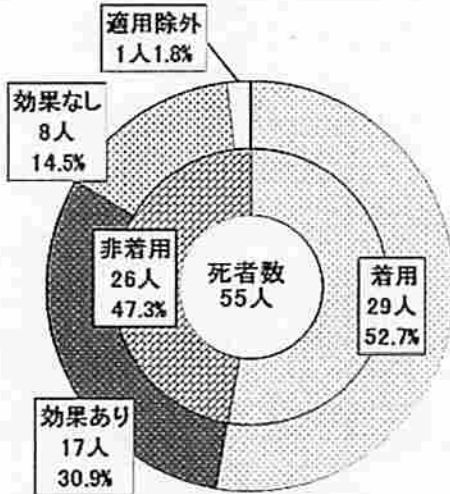
( )内は死者数で内数

## 6 自動車のシートベルト着用状況

### (1) 死傷者のシートベルト着用状況

死傷者のシートベルト着用状況は、死者の着用率が最も低く、重傷者、軽傷者の順に着用率が高くなっている。

シートベルトの着用率の効果の有無を死者でみると、非着用者 26 人中 17 人 (65.4%) はシートベルトをしていれば救命効果があったものと認められる。

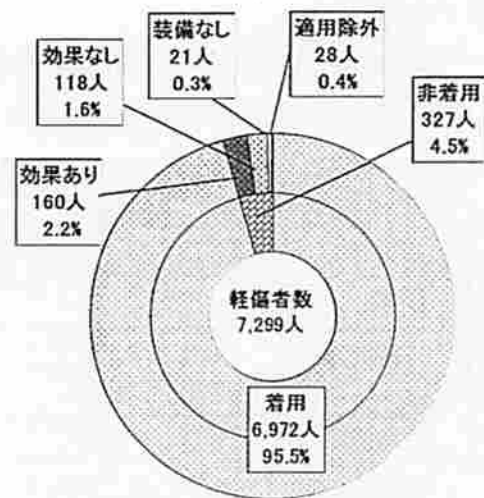


(注) 効果あり……シートベルトを着用していれば、  
損傷部位等から怪我の程度が軽くすんだと予想されるもの  
効果なし……シートベルトを着用していても、損傷部位等から  
怪我の程度に関係なかったと予想されるもの

### (2) 座席別着用状況

傷者の着用率は、運転席が 98.2 パーセント、助手席が 96.0 パーセント、後部席が 61.1 パーセントである。

死者の着用率は、運転席が 51.3 パーセント、助手席が 55.6 パーセント、後部座席が 57.1 パーセントと全ての座席での着用率が低い。



座席	死者	着用		非着用	
		人数	割合	人数	割合
運転席	39人	20人	51.3%	19人	48.7%
	傷者 5,994人	5,890人	98.2%	104人	1.7%
助手席	9人	5人	55.6%	4人	44.4%
	傷者 961人	923人	96.0%	38人	4.0%
後部席	7人	4人	57.1%	3人	42.9%
	傷者 633人	387人	61.1%	246人	38.9%

(3) 年齢別

年齢別に死者の着用率をみると、20歳未満が20.0パーセントと最も低く、次いで25～29歳が25.0パーセントとなっている。

傷者は30歳代が97.5パーセントと最も高く、20歳未満が79.0パーセントと最も着用率が低い。

(単位：人・%)

年齢	区分	運 転 席			助 手 席			後 部 席			合 計		
		総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率
20歳未満	死者				2		0.0	3	1	33.3	5	1	20.0
	傷者	105	98	93.3	144	132	91.7	209	132	63.2	458	362	79.0
20～24歳	死者	1	1	100.0			-			-	1	1	100.0
	傷者	485	473	97.5	101	98	97.0	53	21	39.6	639	592	92.6
25～29歳	死者	2	1	50.0	1		0.0	1		0.0	4	1	25.0
	傷者	593	582	98.1	84	78	92.9	45	33	73.3	722	693	96.0
30歳代	死者	3	1	33.3			-			-	3	1	33.3
	傷者	1,425	1,405	98.6	154	150	97.4	70	52	74.3	1,649	1,607	97.5
40歳代	死者	6	4	66.7	1	1	100.0	2	2	100.0	9	7	77.8
	傷者	1,295	1,274	98.4	127	125	98.4	61	38	62.3	1,483	1,437	96.9
50歳代	死者	6	1	16.7	1	1	100.0			-	7	2	28.6
	傷者	1,027	1,014	98.7	120	117	97.5	55	34	61.8	1,202	1,165	96.8
60～64歳	死者	2	2	100.0			-			-	2	2	100.0
	傷者	435	427	98.2	72	71	98.6	37	20	54.1	544	518	95.2
65～69歳	死者	3	2	66.7	1	1	100.0			-	4	3	75.0
	傷者	303	299	98.7	58	57	98.3	30	17	56.7	391	373	95.4
70歳以上	死者	16	8	50.0	3	2	66.7	1	1	100.0	20	11	55.0
	傷者	327	318	97.2	101	95	94.1	73	40	54.8	501	453	90.4
合 計	死者	39	20	51.3	9	5	55.6	7	4	57.1	55	29	52.7
	傷者	5,995	5,890	98.2	961	923	96.0	633	387	61.1	7,589	7,200	94.9

(4) 時間別

時間別に死者の着用率をみると、4～6時、10～12時が100.0パーセントと最も高く、20～22時が0.0パーセントと最も低い。

傷者は18～20時が96.8パーセントと最も高く、0～2時が78.3パーセントと最も低い。

(単位：人・%)

時間	区分	運 転 席			助 手 席			後 部 席			合 計		
		総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率
0～2	死者	1		0.0			-	2	2	100.0	3	2	66.7
	傷者	82	57	69.5	18	17	94.4	26	9	34.6	108	83	78.3
2～4	死者	3	1	33.3	3	1	33.3			-	6	2	33.3
	傷者	48	44	91.7	10	10	100.0	8	4	50.0	66	58	87.9
4～6	死者			-	1	1	100.0			-	1	1	100.0
	傷者	70	66	94.3	11	10	90.9	6	2	33.3	87	78	89.7
6～8	死者	7	5	71.4	2	1	50.0			-	9	6	66.7
	傷者	788	777	98.6	70	66	94.3	75	50	66.7	933	893	95.7
8～10	死者	4	1	25.0			-			-	4	1	25.0
	傷者	810	795	98.1	98	94	95.9	45	27	60.0	953	918	96.1
10～12	死者	4	4	100.0			-			-	4	4	100.0
	傷者	730	720	98.6	142	139	97.9	66	45	68.2	938	904	96.4
12～14	死者	6	5	83.3			-	1		0.0	7	5	71.4
	傷者	688	674	98.0	134	129	96.3	85	47	55.3	907	850	93.7
14～16	死者	5	2	40.0	2	2	100.0			-	7	4	57.1
	傷者	682	678	99.4	130	125	96.2	89	65	73.0	901	868	96.3
16～18	死者	4	1	25.0			-	1		0.0	5	1	20.0
	傷者	973	961	98.8	155	152	98.1	107	74	69.2	1,235	1,187	96.1
18～20	死者	5	1	20.0			-	2	2	100.0	7	3	42.9
	傷者	715	705	98.6	99	97	98.0	53	37	69.8	867	839	96.8
20～22	死者			-	1		0.0	1		0.0	2	0	0.0
	傷者	290	280	96.6	60	58	93.3	37	21	56.8	387	357	92.2
22～24	死者			-			-			-	0	0	-
	傷者	139	133	95.7	34	28	82.4	18	6	37.5	189	167	88.4
合 計	死者	39	20	51.3	9	5	55.6	7	4	57.1	55	29	52.7
	傷者	5,995	5,890	98.2	961	923	96.0	633	387	61.1	7,589	7,200	94.9

(5) 6歳未満のシートベルト・チャイルドシート着用状況

四輪乗車中に死傷した6歳未満の幼児は

死者数 0人 (前年比 -4人 100.0%減)

傷者数 95人 (前年比 -23人 24.2%減)

で、死者数、傷者数とも減少した。

乗車位置別死傷者数は、助手席が35人(うち死亡0人)、後部座席が46人(うち死亡0人)

となっている。

【助手席】

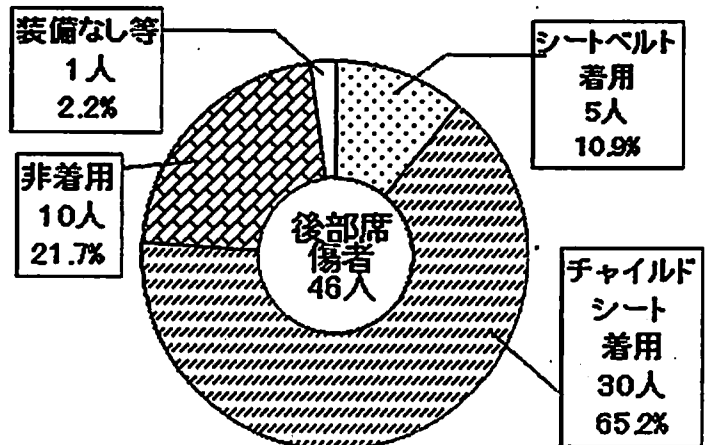
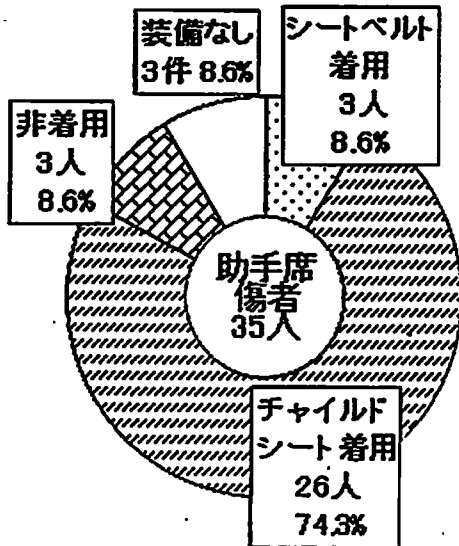
(単位：人)

助手席死傷者		死傷者数	内死亡	内重傷
着用の有無等				
着用	シートベルト	3		
	チャイルドシート	26		1
	計	29	0	1
非着用	効果あり	3		
	効果なし			
計		3	0	0
装備なし等		3		
合計		35	0	1

【後部座席】

(単位：人)

後部座席死傷者		死傷者数	内死亡	内重傷
着用の有無等				
着用	シートベルト	5		
	チャイルドシート	30		2
計		35	0	2
非着用	効果あり	8		2
	効果なし	2		
計		10	0	2
装備なし等		1		
合計		46	0	4



効果あり	3人
効果なし	0人

死亡	0人
重傷	1人

効果あり	8人
効果なし	2人

死亡	0人
重傷	4人



## 7 青年運転者の事故

### (1) 概況

青年運転者（25歳未満の運転者）が第1当事者となった事故は、

発生件数 1,266件（前年比 -91件 6.8%減）

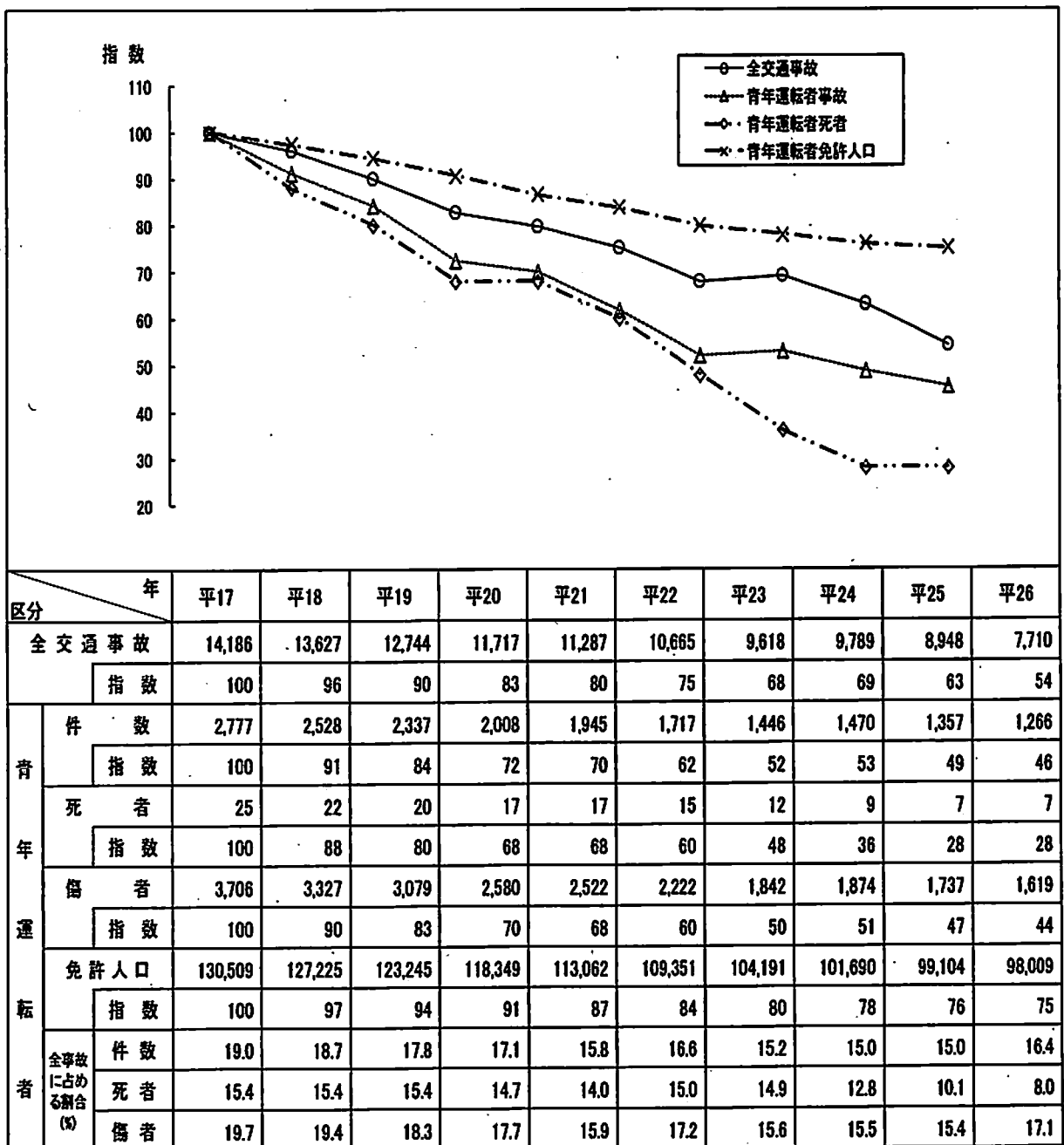
死者数 7人（前年比 ±0人 0.0%減）

傷者数 1,619人（前年比 -118人 6.8%減）

で、死者数は昨年と同数であったが、発生件数、傷者数は減少した。

全事故に占める割合は、件数が16.4パーセント、死者数8.0パーセント、傷者数17.1パーセントとなっている。

(単位：件・人・%)



区分		年	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	
全	交通事故	件数	14,186	13,627	12,744	11,717	11,287	10,665	9,618	9,789	8,948	7,710	
		指数	100	96	90	83	80	75	68	69	63	54	
青	年	件数	2,777	2,528	2,337	2,008	1,945	1,717	1,446	1,470	1,357	1,266	
		指数	100	91	84	72	70	62	52	53	49	46	
運	者	死者	25	22	20	17	17	15	12	9	7	7	
		指数	100	88	80	68	68	60	48	36	28	28	
転	者	傷者	3,706	3,327	3,079	2,580	2,522	2,222	1,842	1,874	1,737	1,619	
		指数	100	90	83	70	68	60	50	51	47	44	
者	全事故に占める割合 (%)	免許人口	130,509	127,225	123,245	118,349	113,062	109,351	104,191	101,690	99,104	98,009	
			指数	100	97	94	91	87	84	80	78	76	75
		件数	19.0	18.7	17.8	17.1	15.8	16.6	15.2	15.0	15.0	15.0	16.4
		死者	15.4	15.4	15.4	14.7	14.0	15.0	14.9	12.8	10.1	8.0	
	傷者	19.7	19.4	18.3	17.7	15.9	17.2	15.6	15.5	15.4	17.1		

(2) 車種別・違反別

車種別では、普通乗用車が663件で最も多く、青年運転者の52.4パーセントを占めている。  
違反別では、前方不注意が384件で最も多く30.3パーセントを占めている。

悪質違反による事故は184件で青年運転者の14.5パーセントを占め、うち一時不停止が68件と最も多く、次いで信号無視の46件の順となっている。(単位：件)

違反	車種	自 動 車							二 輪 車				合計	
		大衆等	普 衆	軽 乗	大貨等	普 貨	軽 貨	特 殊	小	二 軽	二 原	二 原 付		
悪 質 違 反	信 号 無 視		27	19										46
	最 高 速 度		1											1
	通 区 ・ 追 越		19	11			2	1		1				34
	歩 行 者 妨 害 等		12	19			1	2						34
	一 時 不 停 止		39	23			2	3					1	68
	酒 酔 い 運 転		1											1
計		0	99	72	0	5	6	0	1	0	0	1	184	
横 断 禁 止 等			6	2				1				1		10
右 折 違 反				1										1
左 折 違 反			2											2
優 先 通 行 妨 害 等			25	21			2	2						50
交 差 点 安 全 進 行			29	21			2	2						54
徐 行 違 反			5	2	1	1								9
過 労 運 転			2	2	1			1						6
安 全 運 転 義 務 違 反	ハ ン ド ル ・ プ レ キ		67	52	1	7	5							132
	前 方 不 注 意		187	156	4	22	13		1				1	384
	動 静 不 注 視		138	103	1	8	4							254
	安 全 不 確 認		81	49		7	6						1	144
	安 全 速 度		11	5		2	2							20
	そ の 他		3	1		1								5
計		0	487	366	6	47	30	0	1	0	0	2	939	
そ の 他			8	1		2								11
合 計			663	488	8	59	42		2	1	3		1,266	

(3) 時間別・道路別

時間別では、16～18時が211件と最も多く、次いで6～8時、18～20時の各204件となっている。

道路別では、国道の465件と最も多く、次いで市町村道が430件となっており、市町村道と国道を合わせると、青年運転者事故の70.7パーセントを占めている。(単位：件)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
		国 道	4号	4	2	1	22	9	7	15	7	26	21	
6号	0		1	2	21	12	4	8	9	23	19	11	4	114
13号	0		0	0	5	3	0	1	4	6	1	1	0	21
49号	2		0	0	11	12	11	4	8	9	10	3	3	73
三 折	2		2	2	17	13	11	12	10	26	12	8	8	123
計	8		5	5	76	49	33	40	38	90	63	41	17	465
県 道		4	4	2	49	34	21	31	30	52	43	28	13	311
市町村道		6	5	6	74	62	25	31	45	59	85	18	14	430
高 速 道		2	1				2	2		2	4	1		14
そ の 他					5	1	3	7	2	8	9	7	4	46
合 計		20	15	13	204	146	84	111	115	211	204	95	48	1,266

(4) 事故類型別

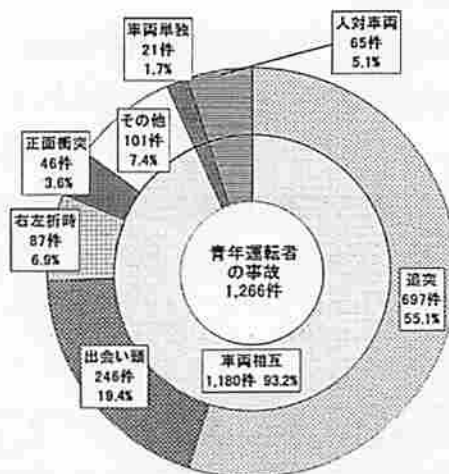
車両相互が1,180件で青年運転者事故の93.2パーセントを占めている。

特に、

追突：697件(55.1%)

出合い頭：246件(19.4%)

が多く、両事故類型を合わせると943件で車両相互の74.5パーセントを占めている。

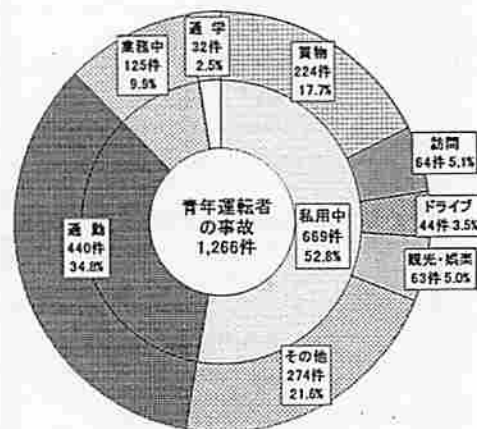


(5) 通行目的別

私用中が669件で青年運転者事故の52.8パーセントを占めている。

特に、買物、訪問、観光・娯楽の事故が多くっており、併せると351件で私用中事故の52.4パーセントを占めている。

また、通勤時の事故も440件発生しており、青年運転者事故の34.8パーセントを占めている。



(6) 車種別・速度別(事故直前速度)

事故直前の速度をみると、50キロメートル以下が1,148件で最も多く、青年運転者事故の90.7パーセントを占めている。

車種別でみると、普通乗用車と軽乗用車の速度が他の車種に比べ速くなっている。

(単位：件)

速度	自動車									二輪車				合計
	大乗	中乗	普通乗	軽乗	大貨	中貨	普通貨	軽貨	特殊	小二	軽二	二原	二原付	
停止中														0
50 km/h以下			596	451	0	7	53	36	0	1	0	1	3	1,148
60 km/h以下			41	26			3	5						75
70 km/h以下			16	10		1				1				28
80 km/h以下			4				1							5
90 km/h以下			1				2							3
100 km/h以下			2	1				1						4
101 km/h以上			3											3
調査不能														0
合計	0	0	663	488	0	8	59	42	0	2	0	1	3	1,266

(7) 人的原因別

発見の遅れが 801 件と多く、青年運転者による事故の 63.3 パーセントを占めている。

中でも外在的要因（脇見等）が 316 件で、発見の遅れ全体の 39.5 パーセントを占めている。

交通事故の人的原因(第1当)		(単位:件・人)	
合 計	件数	死者	傷者
合 計	1,266	7	1,619
発見の遅れ 計	801	4	1,041
前方不注意 計	482	1	672
内在的(漫然等) 計	166	1	231
居眠り運転	11	0	12
ラジオ・ステレオを聴いていた	5	0	6
雑談や携帯電話等で話していた	150	1	213
その他、考え事等の漫然運転	1	0	1
外在的(脇見等) 計	316	0	441
物を落としたり、物を取ろうとした	65	0	97
同乗者、同乗の動物等に脇見	14	0	17
カセットテープ、携帯電話等を操作していた	12	0	14
テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた	11	0	17
雑誌、地図帳等を見ていた	1	0	1
道、案内標識等を探して脇見	8	0	12
風景、地物等に脇見	65	0	91
他の車、歩行者に脇見	45	0	60
バックミラーやドアミラーを見ていた	12	0	16
その他脇見	83	0	116
安全不確認 計	319	3	369
安全確認をしなかった	138	0	165
安全確認が不十分だった	181	3	204

交通事故の人的原因(第1当)		(単位:件・人)	
判断の誤り等 計	件数	死者	傷者
判断の誤り等 計	323	1	401
動静不注意 計	281	0	348
相手が譲ってくれると思って注視を怠った	10	0	13
他の危険を避けようとして注視を怠った	1	0	1
その他特に具体的危険性がないとして注視を怠った	270	0	334
予測不適 計	20	1	23
運転感覚(速度、車幅、距離等)を誤った	12	1	14
相手がルールを守ると思った	1	0	2
相手が譲ってくれる、停止してくれると思った	1	0	1
他の事故(危険)を避けようと思った	1	0	1
その他相手の行動予見等の判断を誤った	5	0	5
交通環境 計	22	0	30
道路形状、道路線形に対する認識を誤った	2	0	5
道路環境(路面凍結や霧など)に対する認識を誤った	12	0	16
交通規制に対する認識を誤った	3	0	4
交通安全施設に対する認識を誤った	1	0	1
障害物等に対する認識を誤った	4	0	4
その他の交通環境に対する認識を誤った	4	0	4
操作上の誤り(操作不適) 計	142	2	177
ブレーキとアクセルの踏み違い	19	0	27
ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ	55	0	60
急ブレーキをかけた	27	0	32
エンジン・ブレーキを使用しなかった	2	0	5
ハンドルの操作不適	21	0	29
ギヤの入れ違い	2	0	3
ブレーキをかけながらハンドル操作	2	0	3
オートスピードコントロール装置等の操作不適	16	2	21
その他の操作不適	2	0	2
調 査 不 能	1	0	1

## 8 高齢者の事故 (65歳以上)

### (1) 高齢運転者による事故

#### ア 概況

高齢運転者(65歳以上の運転者)が第1当事者となった事故は、

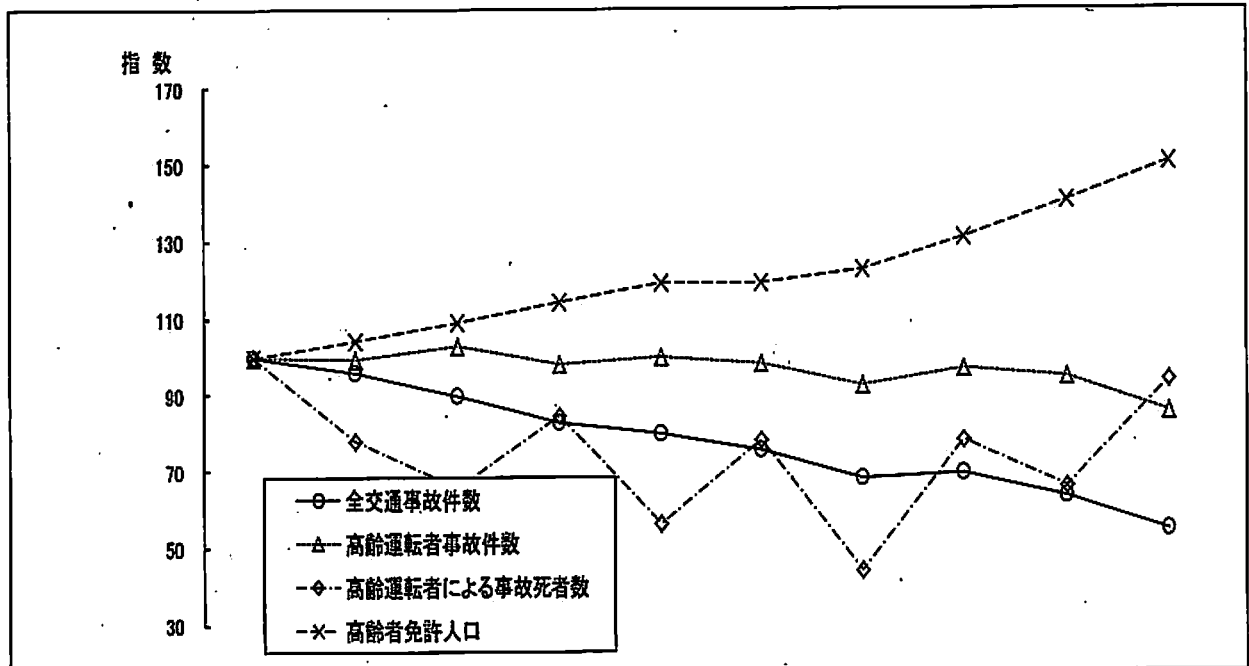
発生件数 1,439件(前年比 -162件 10.1%減)

死者数 30人(前年比 +9人 42.9%増)

傷者数 1,756人(前年比 -174人 9.0%減)

で、死者数は増加し、発生件数、傷者数は減少した。

(単位：件・人・%)



区分	年	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	
全交通事故	件数	14,186	13,627	12,744	11,717	11,287	10,665	9,618	9,789	8,948	7,710	
	指数	100	96	90	83	80	75	68	69	63	54	
高齢	件数	1,690	1,680	1,739	1,660	1,684	1,660	1,563	1,636	1,601	1,439	
	指数	100	99	103	98	100	98	92	97	95	85	
運転	死者	32	25	21	27	18	25	14	25	21	30	
	指数	100	78	66	84	56	78	44	78	66	94	
者	傷者	2,189	2,091	2,195	2,069	2,197	2,035	1,932	2,002	1,930	1,756	
	指数	100	96	100	95	100	93	88	91	88	80	
者	免許人口	184,596	192,142	201,007	211,219	219,968	219,989	226,253	241,648	259,319	277,955	
	指数	100	104	109	114	119	119	123	131	140	151	
者	全事故に占める割合(%)	件数	11.9	12.3	13.6	14.2	14.9	15.6	16.3	16.7	17.9	18.7
	死者	22.4	18.4	17.4	23.9	17.8	22.3	14.9	28.1	26.6	34.5	
	傷者	12.1	12.0	13.5	14.1	15.4	15.4	16.3	16.4	17.4	18.6	

### イ 時間別・道路別

時間別では10～12時が301件と最も多く、次いで14～16時の234件、16～18時の232件の順となっている。

8時～18時までの発生は1,172件と高齢運転者事故の81.4パーセントを占めている。

また、路線別では県道・市町村道のいわゆる生活道路で多発し、909件と高齢運転者事故の63.2パーセントを占めている。

(単位：件)

区分	時間	時間												合計	昼間	夜間
		0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24			
国道	4号	2		1	4	7	13	11	20	21	6	2	2	89	65	24
	6号			2	7	11	14	13	15	10	4			76	64	12
	13号				4	4	5	1	4	3	1			22	18	4
	49号		1		5	6	9	7	11	8	4	3		54	44	10
	三折		1	3	6	24	44	17	28	21	10	1	2	157	141	16
道計		2	2	6	26	52	85	49	78	63	25	6	4	398	332	66
県道	市町村道	2	0	4	29	55	59	51	51	57	26	8	2	344	284	60
	市町村道	2	2	6	48	70	130	80	81	91	40	13	2	565	483	82
生活道路	計	4	2	10	77	125	189	131	132	148	66	21	4	909	767	142
高速道						1	3	1	4	2	2			13	11	2
その他				2	1	21	24	25	20	19	5	2		119	110	9
合計		6	4	18	104	199	301	206	234	232	98	29	8	1,439	1,220	219

### ウ 車種別

車種別では普通乗用車が734件で、高齢運転者事故の51.0パーセントを占め、次いで軽乗用の351件、軽貨物の249件と続いている。

また、二輪車による事故は23件で高齢運転者事故の1.6パーセントを占め、全運転者事故における二輪車事故の占める割合である0.7パーセントを上回っている。

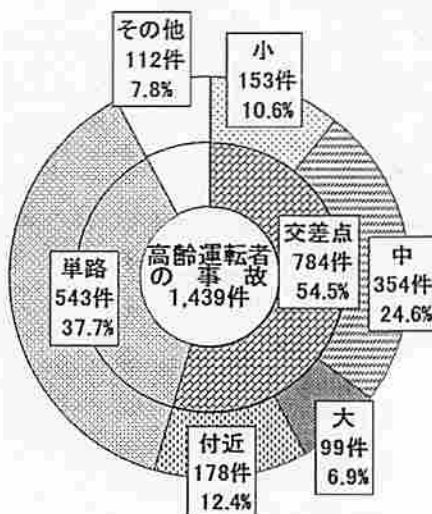
(単位：件)

年齢	車種	四輪車						特殊車	二輪車			合計
		普乗	普貨	軽乗	軽貨	中型	大型		自二	原二	原付	
65～69歳		246	28	97	66	13	3		1	2	3	459
70歳代		379	22	181	119	4	4				9	718
80歳以上		109	6	73	64			2			8	262
合計		734	56	351	249	17	7	2	1	2	20	1,439

### エ 道路形状別

交差点での事故は784件で、高齢運転者事故の54.5パーセントを占めている。

特に「小」・「中」交差点での発生が多く、交差点事故全体の64.7パーセントを占めている。



オ 違反別

安全不確認による事故が 289 件と最も多く、高齢運転者事故の 20.1 パーセントを占め、次いで前方不注意 275 件の順となっている。

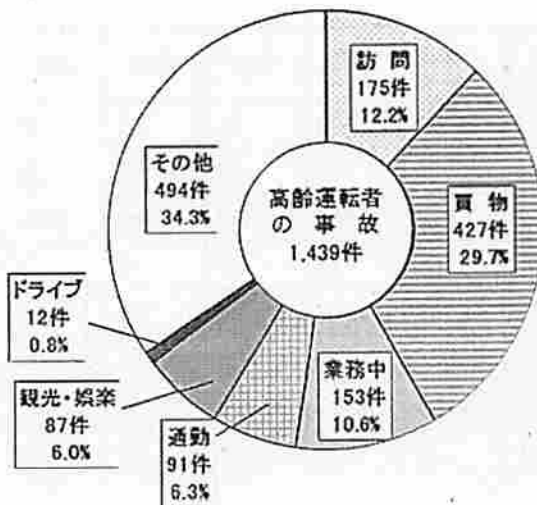
悪質違反は 353 件で高齢運転者事故の 24.5 パーセントを占め、うち一時不停止が 147 件と最も多く、次いで信号無視の 79 件の順となっている。

高齢運転者の悪質違反による事故の占める割合は 24.5 パーセントとなっており、全交通事故の占める悪質違反の割合 18.1 パーセントと比較すると 6.4 ポイント上回るなど悪質運転による事故の占める割合が非常に高い。  
(単位：件・%)

違反 区分	悪 質 違 反						計	横断禁止等	右折	左折	優先通行妨害等	交差点安全進行	徐行違反	安 全 運 転 義 務 違 反					そ の 計	そ の 他	合 計	
	信号無視	最高速度	通区・追越	歩行者妨害等	一時不停止	酒酔い運転								ハンドル・ブレーキ	前方不注意	動静不注意	安全不確認	安全速度				その他
件数	79	1	48	75	147	3	353	16	10	0	85	110	7	109	275	155	289	10	10	848	10	1,439
構成率(%)	5.5	0.1	3.3	5.2	10.2	0.2	24.5	1.1	0.7	0.0	5.9	7.6	0.5	7.6	19.1	10.8	20.1	0.7	0.7	58.9	0.7	100.0

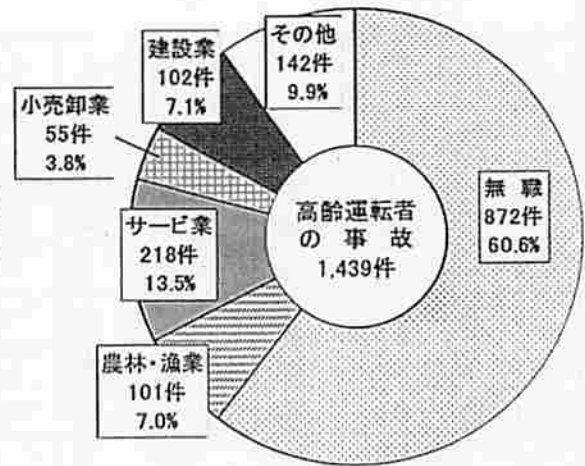
カ 通行目的別

買物が 427 件と多く、高齢運転者事故の 29.7 パーセントを占めている。



キ 職業別

無職が 872 件と最も多く、高齢運転者の 60.6 パーセントを占めている。



ク 免許人口に占める事故率 (年齢別交通事故発生状況)

(単位：人・件・%)

区分	年齢	25歳未満	25～64歳	65歳以上	合計
免許人口		98,009	932,051	277,955	1,308,015
	構成率(%)	7.5	71.3	21.3	100
件数		1,266	5,005	1,439	7,710
	構成率(%)	16.4	64.9	18.7	100
死者		7	50	30	87
	構成率(%)	8.0	57.5	34.5	100
傷者		1,619	6,075	1,756	9,450
	構成率(%)	17.1	64.3	18.6	100

(免許人口は平成 26 年 12 月末現在)

(2) 高齢者の死傷者

ア 概況

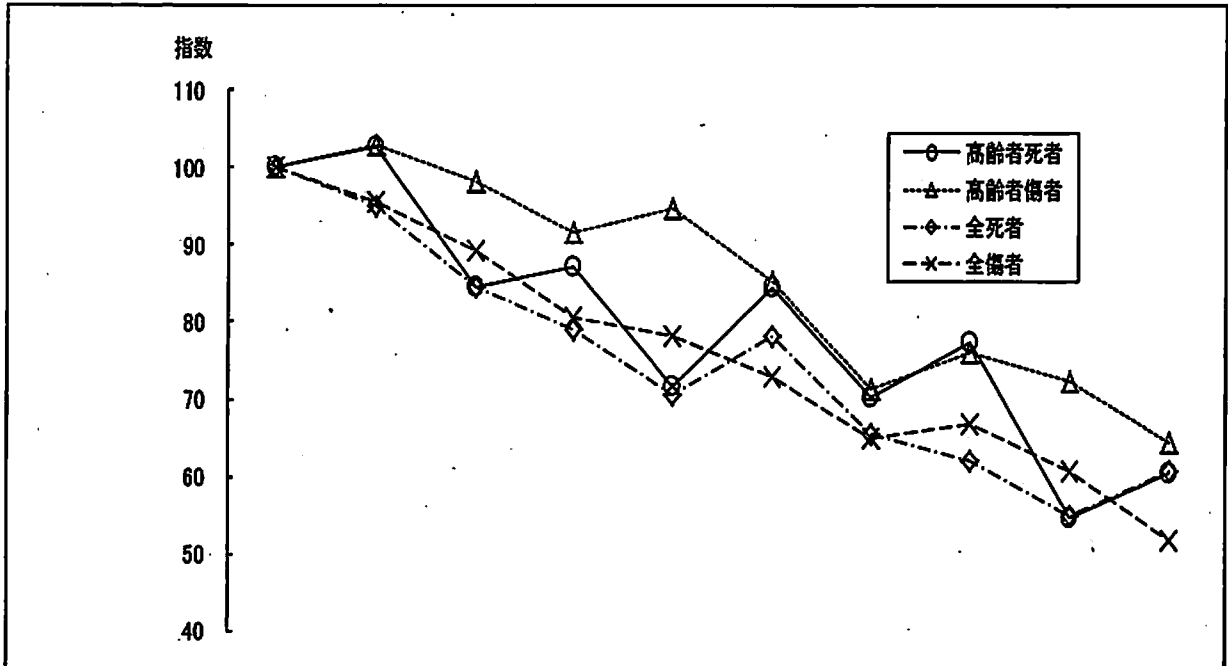
交通事故で死傷した高齢者は、

死者数 43人 (前年比 +4人 10.3%増)

傷者数 1,411人 (前年比 -176人 11.1%減)

で、死者数は増加したが、傷者数は減少した。

(単位：人)



死傷者		年	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26
高齢者死傷者	死者		71	73	60	62	51	60	50	55	39	43
	指数		100	103	85	87	72	85	70	77	55	61
	傷者		2,188	2,253	2,149	2,009	2,073	1,868	1,563	1,666	1,587	1,411
	指数		100	103	98	92	95	85	71	76	73	64
全死傷者	死者		143	136	121	113	101	112	94	89	79	87
	指数		100	95	85	79	71	78	66	62	55	61
	傷者		18,164	17,353	16,245	14,659	14,242	13,253	11,855	12,188	11,061	9,450
	指数		100	96	89	81	78	73	65	67	61	52

イ 道路別

生活道路での死傷者が多く、死者は24名で高齢者死者の55.8パーセント、傷者は871人で高齢者傷者の61.7パーセントを占めている。

(単位：人・%)

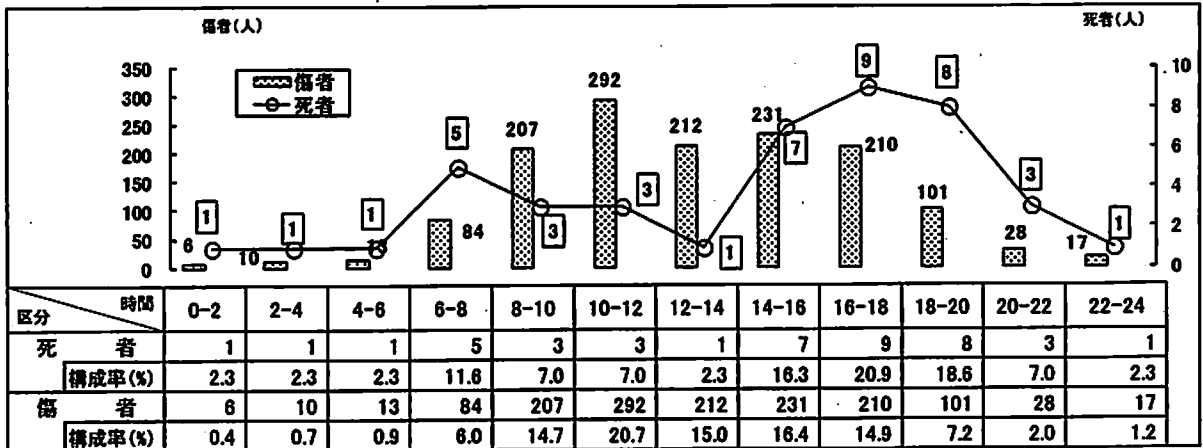
区分	道路	国 道					計	生活道路			高 速	其 他	合 計
		4 号	6 号	13 号	49 号	三 折		県 道	市町村道	計			
死 者		2	2		5	6	15	4	20	24		4	43
	構成率(%)	4.7	99.0	0.0	11.6	14.0	34.9	9.3	46.5	55.8	0.0	9.3	100.0
傷 者		90	89	23	58	174	434	317	554	871	14	92	1,411
	構成率(%)	6.4	6.3	1.6	4.1	12.3	30.8	22.5	39.3	61.7	1.0	6.5	100.0



ウ 時間別

死者は16～18時の9人が最も多く、高齢者死者の20.9パーセントを占め、次いで18～20時の8人の順となっている。

傷者は10～12時の292人が最も多く、高齢者傷者の20.7パーセントを占め、次いで14～16時の231人の順となっている。  
(単位：人・%)



エ 年齢別・状態別

死者は四輪運転が最も多く、19人と高齢死者の44.2パーセントを占め、次いで歩行者の11人、自転車と四輪同乗の各5人の順となっている。

傷者は四輪運転が最も多く、次いで四輪同乗の順となっている。  
(単位：人)

状態	年齢	65～69歳		70歳代		80歳以上		合計	
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
歩行者		3	42	5	111	3	92	11	245
自転車			43	4	97	1	55	5	195
原付			11	2	33		19	2	63
自二		1	3		5		3	1	11
四輪運転		3	303	12	272	4	55	19	630
四輪同乗		1	88	3	124	1	50	5	262
その他					4		1	0	5
合計		8	490	26	646	9	275	43	1,411

オ 違反別

(7) 歩行者

死者のうち何らかの違反があったのは8人で72.7パーセントを占めた。

傷者のうち何らかの違反があったのは72人で29.4パーセントを占め、横断に関する違反が多い。  
(単位：人)

違反	違反あり								違反なし	合計	
	信号無視	左側通行	横断					酩酊・徘徊			その他
			横歩道断外	斜め横断	駐車車両	走行車両	横断断場禁所				
死者	1		1	2				2	2	3	11
傷者		5	29	4	2	10		2	20	173	245

(イ) 自転車

死者の違反については、その他の違反の4件、安全不確認の1件となっている。

傷者のうち、何らかの違反があったのは86人で44.1パーセントを占め、うち交差点安全進  
行が27人と最も多い。

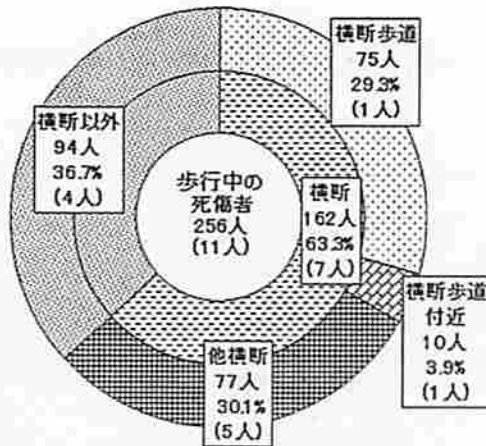
(単位：人)

違反 区分	違 反 あ り									違 反 な し	合 計
	信 号 無 視	右 側 通 行	横 断 等 禁 止	優 妨 先 通 行 害	交 安 差 全 進 点 行	一 時 不 停 止	酒 酔 い	安 不 確 全 認	そ の 他		
死 者								1	4		5
傷 者	4	1		2	27	7		26	19	109	195

カ 事故類型別

(7) 歩行者

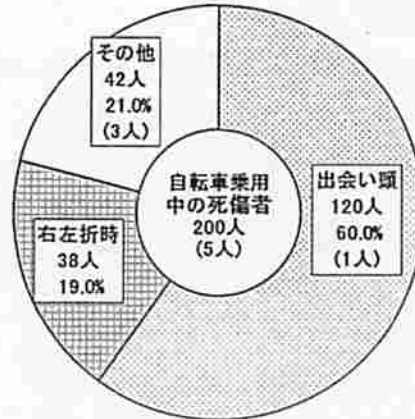
横断が162人と多く、歩行中死傷者  
の63.3パーセントを占めている。



\*1 ( )内は死者で内数  
\*2 人対車両事故以外の事故による歩行者の負傷者を除く

(イ) 自転車

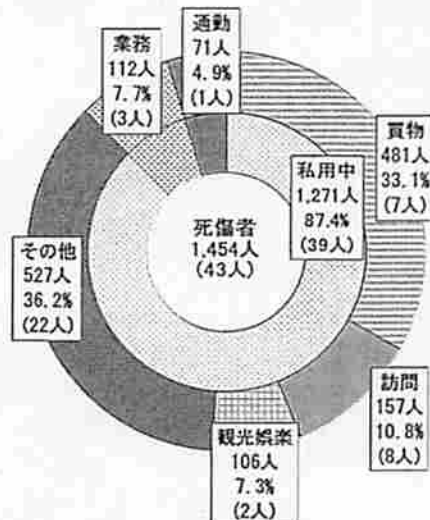
出会い頭事故が120人と多く、自転車事  
故死傷者の60.0パーセントを占めている。



\* ( )内は死者で内数

キ 通行目的別

買物が481人と最も多く、高齢者死傷者全体  
の33.1パーセントを占め、次いで訪問、観光・  
娯楽と続いている。



\*1 ( )内は死者で内数  
\*2 通行目的が調査不能、道路外の人等を除く

## 9 初心運転者の事故

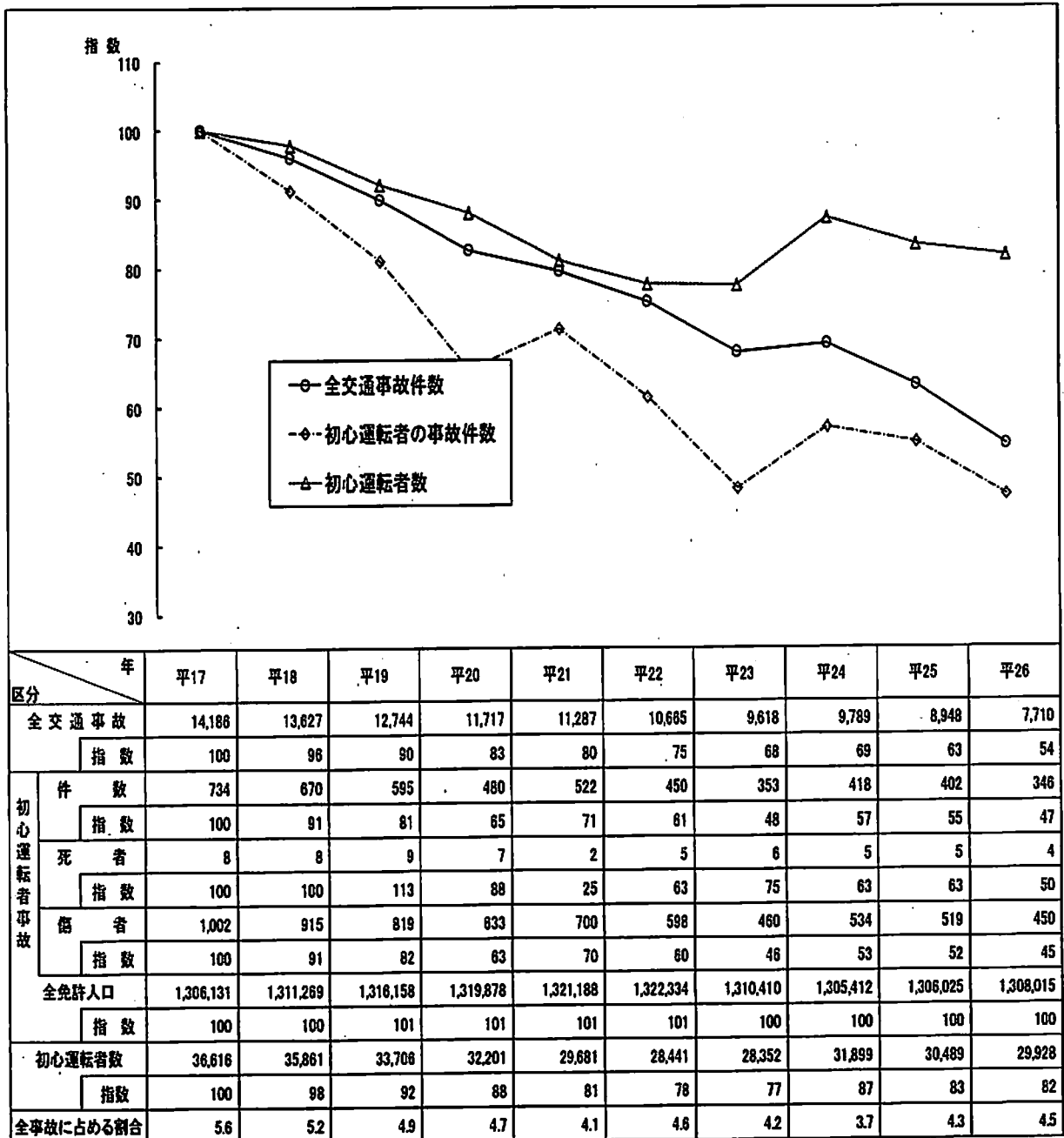
### (1) 概況

初心運転者が第1当事者となった事故は、

発生件数	346件	(前年比)	-56件	13.9%減
死者数	4人	(前年比)	-1人	20.0%減
傷者数	450人	(前年比)	-69人	13.3%減

で、発生件数、死者数、傷者数全てで減少した。

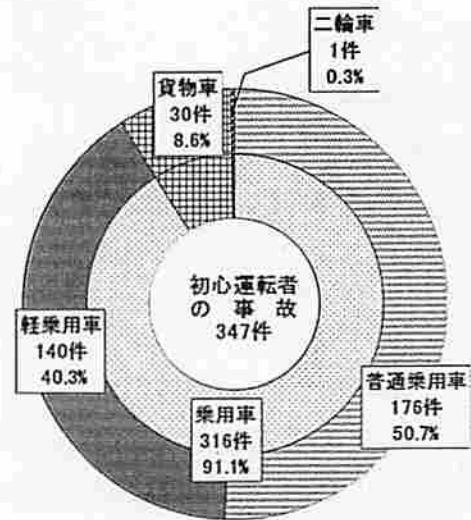
過去10年間の推移をみると、総括的には、初心運転者数は減少し、全事故に占める初心運転者の事故割合も減少している。 (単位：件・人・%)



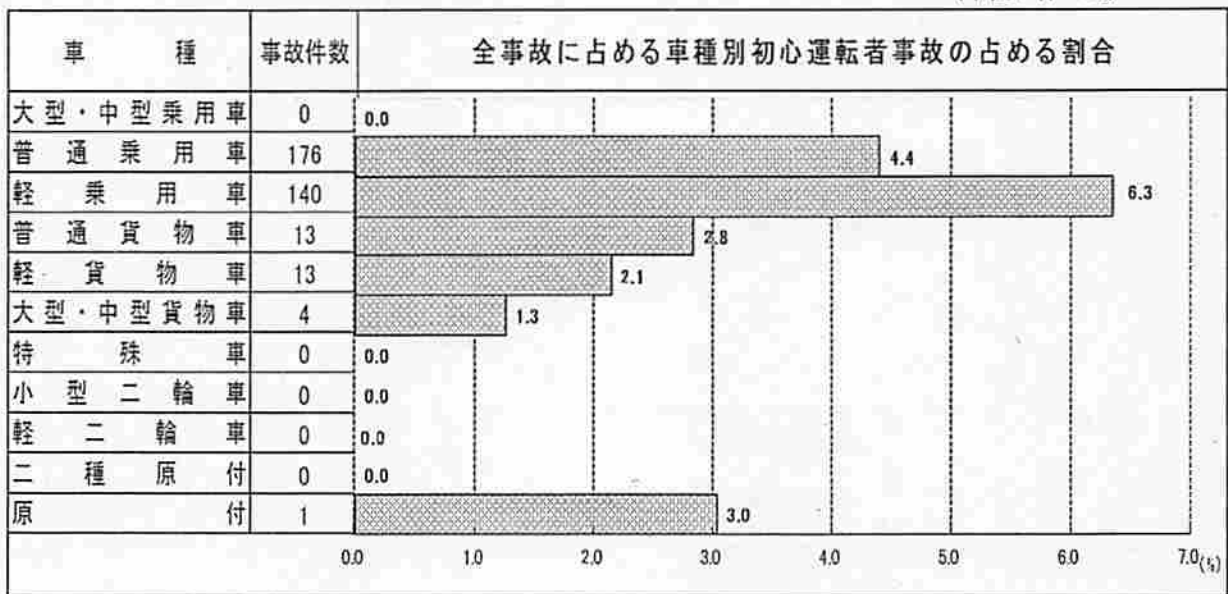
(2) 車種別

乗用車が316件で初心運転者事故の91.1パーセントを占め、普通乗用の占める割合が50.7パーセントと高い。

また、車種別全事故に占める初心運転者の事故割合をみると、軽乗用車が6.3パーセント、普通乗用車が4.4パーセントと高くなっている。



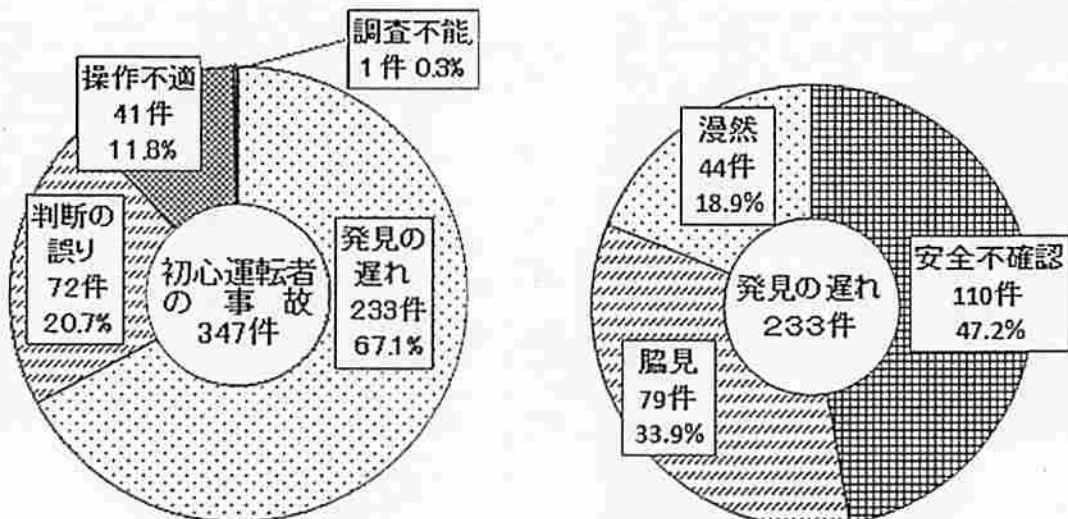
(単位: 件・%)



(3) 人的原因

発見の遅れが233件で最も多く、初心運転者事故の67.1パーセントを占めている。

発見の遅れのうち、安全不確認が110件と最多で、脇見が79件で続いている。



(4) 違反別

前方不注意が92件で初心運転者事故の26.5パーセントを占め最も多く、次いで動静不注視の56件となっている。

悪質違反は64件で同事故の18.4パーセントを占め、うち一時不停止が24件で最も多く、次いで信号無視の18件となっている。両違反を合わせると42件となり、悪質違反の65.6パーセントを占めている。  
(単位：件・%)

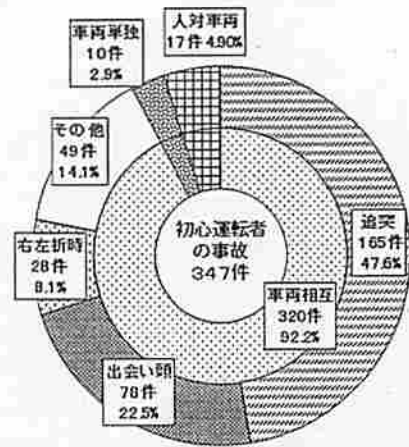
違反		区分	件数	構成率(%)	違反		件数	構成率(%)
悪質違反	信号無視		18	5.2	安全運転義務違反	徐行違反	2	0.6
	最高速度		1	0.3		過労運転	1	0.3
	通区・追越		15	4.3		ハンドル操作	3	0.9
	歩行者妨害等		6	1.7		ブレーキ操作	34	9.8
	一時不停止		24	6.9		前方不注意	92	26.5
	酒酔い運転			0.0		動静不注視	56	16.1
計		64	18.4	安全不確認		46	13.3	
横断禁止等		2	0.6	安全速度		5	1.4	
車間距離不保持		1	0.3	予測不適		1	0.3	
進路変更禁止			0.0	その他		2	0.6	
右・左折違反		1	0.3	計	239	68.9		
優先通行妨害等		17	4.9	その他	1	0.3		
交差点安全進行		19	5.5	合計	347	100.0		

(5) 事故類型別

車両相互の事故が320件で初心運転者事故の92.2パーセントを占めている。その中でも追突が165件と多く、次いで出会い頭が78件と続いており両事故で70.0パーセントを占めている。

(6) 通行目的・年齢別

通行目的別では、私用中が最も多く207件で初心運転者事故の59.7パーセントを占め、年齢別では、25歳未満の事故が304件(87.6%)となっている。



(単位：件・%)

通行目的		区分	件数	構成率(%)	年齢別		件数	構成率(%)
業務	職業運転		3	0.9	年齢別	青年 16～19歳	238	68.6
	業務目的		22	6.3		青年 20～24歳	66	19.0
通勤等	出勤		56	16.1		計	304	87.6
	退社		49	14.1		25～29歳	16	4.6
	通学		10	2.9		30歳代	13	3.7
私用	観光・娯楽		17	4.9		40歳代	4	1.2
	ドライブ		16	4.6		50歳代	7	2.0
	散歩			0.0		60～64歳		0.0
	飲食		12	3.5		計	40	11.5
	買物		71	20.5		高齢者 65～69歳	1	0.3
	訪問		16	4.6	高齢者 70歳代	1	0.3	
	帰省		3	0.9	高齢者 80歳以上	1	0.3	
	その他		72	20.7	計	3	0.9	
調査不能				0.0	合計	347	100.0	
合計			347	100	(内数)高校生	4	1.2	

## 10 飲酒運転の事故

### (1) 概況

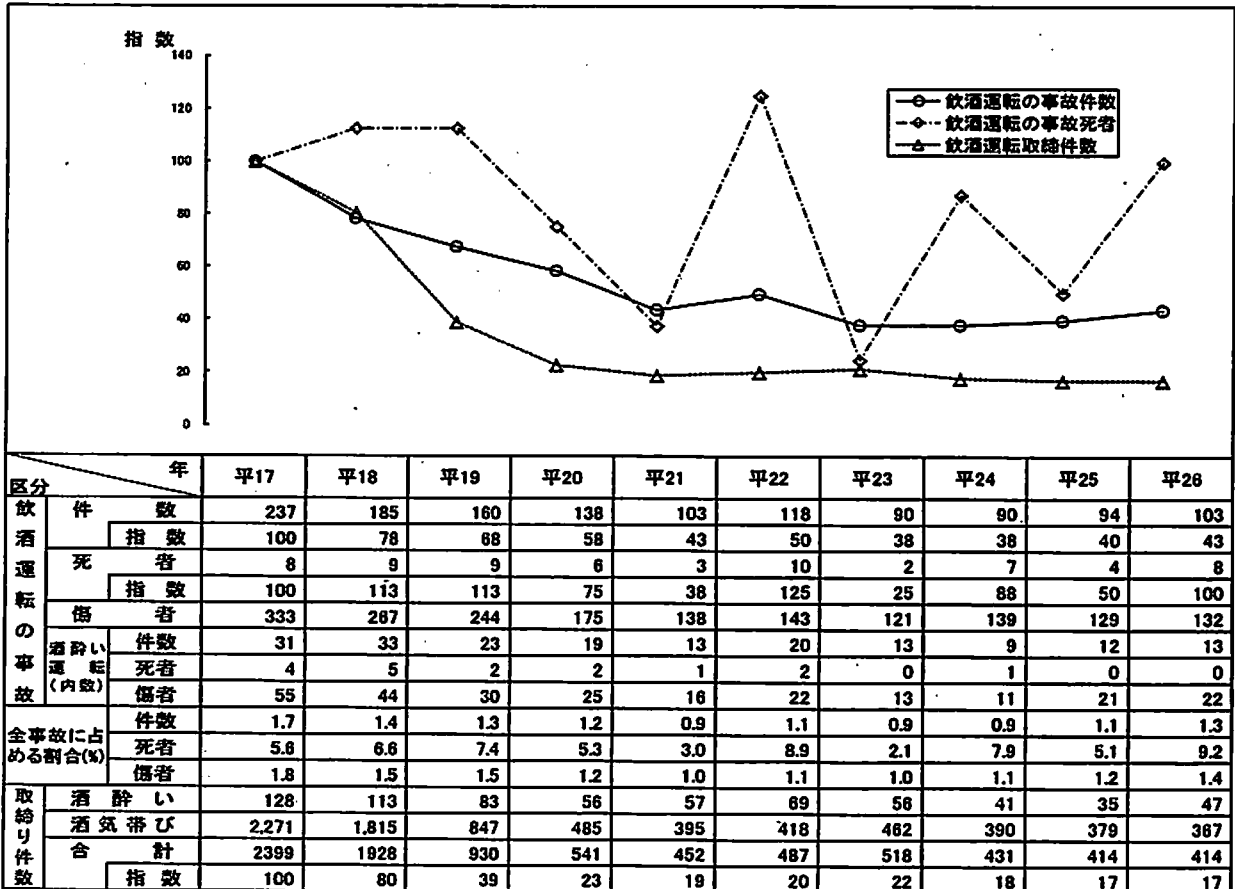
第1当事者が飲酒の状態車両を運転して起こした事故は、

発生件数	103件	(前年比 +9件 9.6%増)	うち酒酔い	13件	前年比+1件
死者数	8人	(前年比 +4人 100.0%増)	うち酒酔い	0人	前年比±0人
傷者数	132人	(前年比 +3人 2.3%増)	うち酒酔い	22人	前年比+1人

で、発生件数、死者数、傷者数全てで増加した。

酒酔い運転については死者数で前年同様になかったが、発生件数、傷者数は増加した。

(単位：件・人・%)



### (2) 月別

飲酒運転が最も多いのは4月の13件、次いで12月の12件となっている。

うち、酒酔い運転は7月と11月の各4件が最も多い。

(単位：件・人)

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	件数	11	7	①6	①13	4	7	④15	4	7	①7	④10	②12	⑬103
	全事故に占める割合	1.6	1.2	0.9	1.8	0.7	1.2	2.1	0.6	1.2	1.0	1.8	1.6	1.3
死者	死者	1	2	1	3				1					8
傷者	傷者	12	7	②9	①13	7	11	⑤21	3	10	②8	⑨17	③14	⑳132
	酒酔い													

(注)○は酒酔いで内数 (以下飲酒運転事故表中の○は同じ)

(3) 曜日・時間別

日曜日が25件と最も多く、次いで月曜日と金曜日の各15件の順となっている。

時間別では、22～24時の17件が最も多く、次いで、0～2時の間が14件の順となっている。

(単位：件・人)

時間	曜日							合計								
	日	月	火	水	木	金	土	件数	構成率(%)							
0～2	4	2	1	4	1	1	1	14	14.7							
2～4	5					1		6	8.1							
4～6	6	2	1				1	4	4.4							
6～8	8	3		2	1	1	①	①	10	1.0						
8～10	①	2			1	1	2	①	6	0.6						
10～12			1	1	①	1		①	4	0.4						
12～14	①	1	1	①	1			②	4	0.5						
14～16			①	3	1	2	①	③	8	0.9						
16～18	①	2	1	3		1		①	9	0.7						
18～20		2	①	1		1	2	①	11	1.2						
20～22	①	1	3	2	1	1		①	10	2.6						
22～24		3	5	1			②	②	17	9.2						
合計	④	25	①	15	①	13	①	10	①	15	④	14	③	103	1.3	
構成率(%)		3.0		1.3		1.2		0.9		1.0		1.2		1.4		1.3

(4) 発生地別

市部で90件発生し、飲酒運転の87.4パーセントを占めている。特にいわき市、郡山市、福島市が多く、三市の合計は65件で、市部の72.2パーセントを占めている。

(単位：件・人)

発生地	福島市	二本松市	伊達市	本宮市	郡山市	須賀川市	白河市	田村市	会津若松市	喜多方市	いわき市	南相馬市	相馬市	各町村	合計									
件数	③	17	②	6	2	1	②	23	②	6	①	3				25	①	4	3	②	13	③	103	
死者				2				2			1					1			1		1			8
傷者	⑥	23	②	7	2	1	④	27	④	8	①	2				33	②	9	2	③	18	②	132	

(5) 道路別

道路別で発生件数をみると、市町村道が40件で、飲酒運転の38.8パーセントを占めている。

死者は市町村道が4人、国道が3人、県道が0人となっている。

(単位：件・人)

区分	国道					計	県道			市町村道	町道	その他	合計									
	4号	6号	13号	49号	三桁		主要	一般	計													
件数	①	11		7		2	①	9	②	29	④	17	②	7	⑥	24	④	40	①	10	③	103
死者		1		1				1		3						0		4		1		8
傷者	①	10		10		2	③	11	④	33	⑥	23	⑥	11	⑫	34	④	52	②	13	②	132

(6) 事故類型別

(単位：件・人・%)

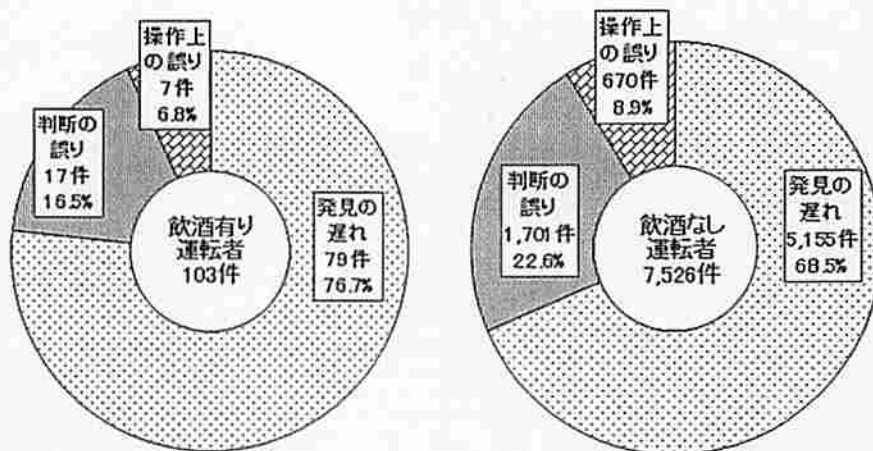
追突が最も多く、32件(31.1%)となっており、次いで出会い頭の15件、その他の12件の順となっている。

全事故に占める割合をみると、路外逸脱が20.7パーセントと最も高い割合を占めている。

事故類型	区分	件数	構成率(%)	死者	傷者	全事故に占める割合(%)		
人対車	対面・背面歩行中	4	3.9		1	3	3.1	
	横断中		0.0				0.0	
	その他	3	2.9			3	1.9	
計		7	6.8		1	6	1.0	
車対車	正面衝突	②	10	9.7		③	18	4.0
	追突	⑤	32	31.1	1	⑩	43	1.0
	出会い頭	①	15	14.6		①	20	0.8
両対面	駐回時			0.0			0.0	
	右・左折時	①	9	8.7		①	10	1.3
	その他	②	12	11.7		③	17	1.8
計	⑩	78	75.7	1	⑯	108	1.1	
車対路外	工作物衝突	8	7.8		1	9	10.3	
	路外逸脱	①	6	5.8	4	①	3	20.7
	駐車車両衝突	2	1.9		1	3	8.7	
単独	駐倒			0.0			0.0	
	その他	①	2	1.9		②	3	8.0
	計	②	18	17.5	6	③	18	11.3
列車			0.0				0.0	
合計	⑬	103	100.0	8	⑳	132	1.3	

(7) 人的原因

飲酒なし運転者と比較すると、「発見の遅れ」で8.2ポイント高くなっている。



自転車、当事者不明を除く

\* 第1当事者が歩行者、自転車、不明、調査不能を除く

(8) 酒酔い運転、酒気帯び運転の運転動機・飲酒理由・飲酒場所

飲酒動機をみると、「他に乗り物がなかった」が30件、次いで「深夜なので大丈夫と思った」が22件と多く、両項目で飲酒運転事故の50.5パーセントを占めている。(単位: 件・人・%)

区分	動機	他に乗り物がなかった	なにかの困る	翌日の困る	少しましな	飲ま	酔い	さ	車を置いていく	の不安	運代行	な	深夜	大丈夫	交通量	少	その他不明	合計	飲酒運転のうち		
		件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	酒酔い運転	酒気帯び運転
件数		30	7	9	7	3	2	22	9	14	103	13	72								
構成率(%)		29.1	6.8	8.7	6.8	2.9	1.9	21.4	8.7	13.6	100.0	12.6	69.9								
死者		1	1					1	1	4	8		5								
傷者		41	7	15	8	3	3	29	14	12	132	22	81								

飲酒理由は「酒好き晩酌等」が最も多く58件で56.3パーセントを占めている。

また、飲酒場所は「自宅」が47件で45.6パーセントを占めている。(単位: 件・人・%)

飲酒理由	飲酒場所	忘年会	新年会	飲送迎会等	冠婚葬祭	等の行事	花見祭典	各種会合	他家訪問	友人等と	のつきあい	酒好き	晩酌等	その他不明	合計	件数	構成率(%)
		件数	死者								1	2		42	2	47	
傷者									2	5		57	2	66			
件数	死者								2	3		1	1	7		6.8	
傷者									2	3		1	1	7			
件数	死者												2	2		1.9	
傷者													1	1			
件数	死者	2		1				5			8	4		20		19.4	
傷者								1			1			2			
件数	死者		3	1				5			12	5		26		8.7	
傷者								1			6	2		9			
件数	死者								1		6	3		10			
傷者											2	2		4			
件数	死者												1	1		3.9	
傷者													3	1			
件数	死者												1	1		3.9	
傷者													1	1			
件数	死者													0		0.0	
傷者														0			
件数	死者			1	1						1	3	4	10		9.7	
傷者													1	2			
件数	死者	2	2	2	1	0	6	3	23	58	8	103				100.0	
傷者		0	0	1	0	1	0	0	1	3	2	8					
件数	死者	3	2	0	0	0	6	4	31	74	12	132					



## 11 無免許運転の事故

「無免許運転」とは、停止中・無資格・審査未済・免許外・期限切れ・その他の無免許・条件違反による運転及び仮免許等違反をいう。

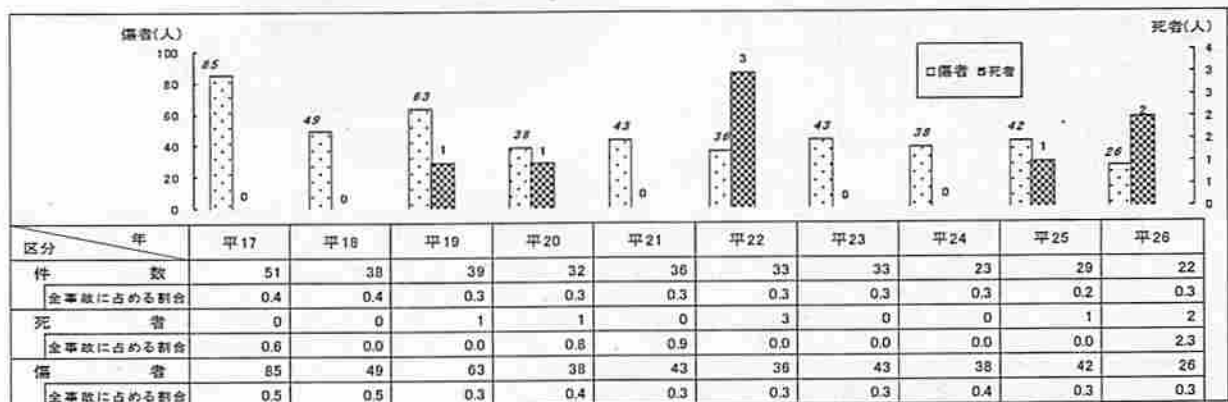
### (1) 概況

第1当事者が無免許運転であった事故は、

発生件数 22件 (前年比 -7件 24.1%減)  
 死者数 2人 (前年比 +1人 100.0%増)  
 傷者数 26人 (前年比 -16人 38.1%減)

で、死者数で増加したが、発生件数、傷者数で減少した。

(単位：件・人・%)



### (2) 月別

無免許運転が最も多いのは、4月、6月の4件、次いで12月の3件で、1月、2月、5月、8月、10月の2件となっている。

(単位：件・人)

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数		2	2		4	2	4		2		2	1	3	22
死者					2									2
傷者		2	2		3	2	5		4		3	1	4	26

### (3) 発生地別

無免許運転は市部での発生が多く、福島市、郡山市、いわき市の3市を合わせると17件で、無免許運転事故の77.3パーセントを占めている。

(単位：件・人)

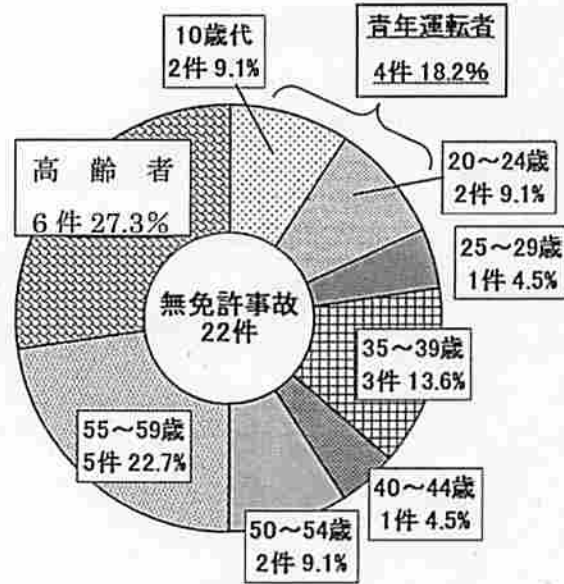
区分	発生地	福島市	伊達市	二本松市	郡山市	本宮市	須賀川市	白河市	田村市	会津若松市	喜多方市	いわき市	南相馬市	相馬市	各町村	合計
件数		3			5					2	1	9			2	22
死者		1			1											2
傷者		2			7					3	1	10			3	26

(4) 年齢別

高齢者が6件で27.3パーセントを占め、次いで55～59歳が5件、青年運転者の4件と続いている。

(単位：件)

年齢	区分	件数	年齢	区分	件数
10歳代	16歳未満		35～39歳		3
	16歳		40～44歳		1
	17歳		45～49歳		
	18歳	2	50～54歳		2
	19歳		55～59歳		5
	計	2	60～64歳		
20～24歳		2	高齢者		6
25～29歳		1	合計		22
30～34歳					

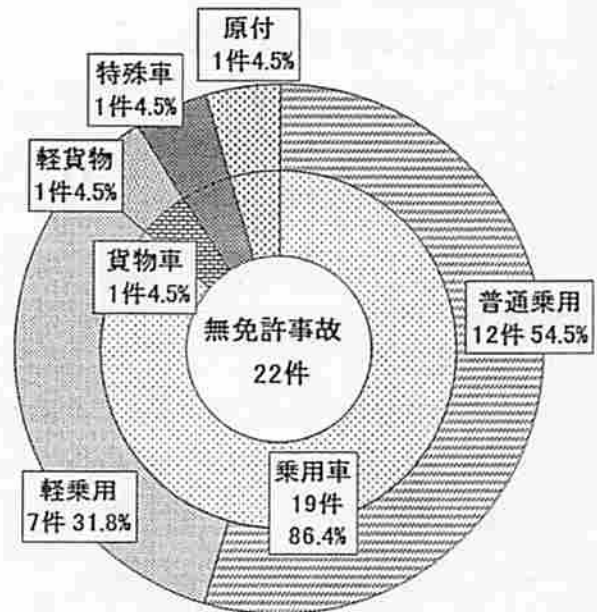


(5) 車種別

車種別では、普通乗用車の事故が12件、次いで軽乗用車の事故が7件の順となっており、両車種による事故の合計は19件となり、全体の86.4パーセントを占めている。

(単位：件・%)

車種	区分	件数		全事故	
		構成率 (%)		無免許の割合	
乗用車	バス・マイクロバス		0.0	13	0.2
	普通	12	54.5	3,981	52.1
	軽(ミニカーを含む)	7	31.8	2,199	28.8
	計	19	86.4	6,193	81.1
貨物車	大型・中型		0.0	319	4.2
	普通		0.0	457	6.0
	軽	1	4.5	606	7.9
	計	1	4.5	1,382	18.1
特殊車(大型・小型)		1	4.5	4	0.1
二輪車	小型二輪		0.0	11	0.1
	軽二輪		0.0	4	0.1
	二種原付		0.0	6	0.1
	原付	1	4.5	35	0.5
	計	1	4.5	56	0.7
合計		22	100.0	7,635	100.0



\*全事故は第1当事者が、軽車両、歩行者、不明など75件を除く

(6) 職業別

無職が10件(45.5%)と突出しており、次いで建設業と飲食業が各3件となっている。

(単位：件・%)

職業 区分	職業 運転手	官 公 署	建 設 業	製 造 業	卸 小 売 業	飲 食 業	サ ー ビ ス 業	農 林 漁 業	主 婦	無 職	そ の 他	合 計
件数			3		1	3	2	2		10	1	22
構成率(%)	0.0	0.0	13.6	0.0	4.5	13.6	9.1	9.1	0.0	45.5	4.5	100

(7) 違反別・原因別

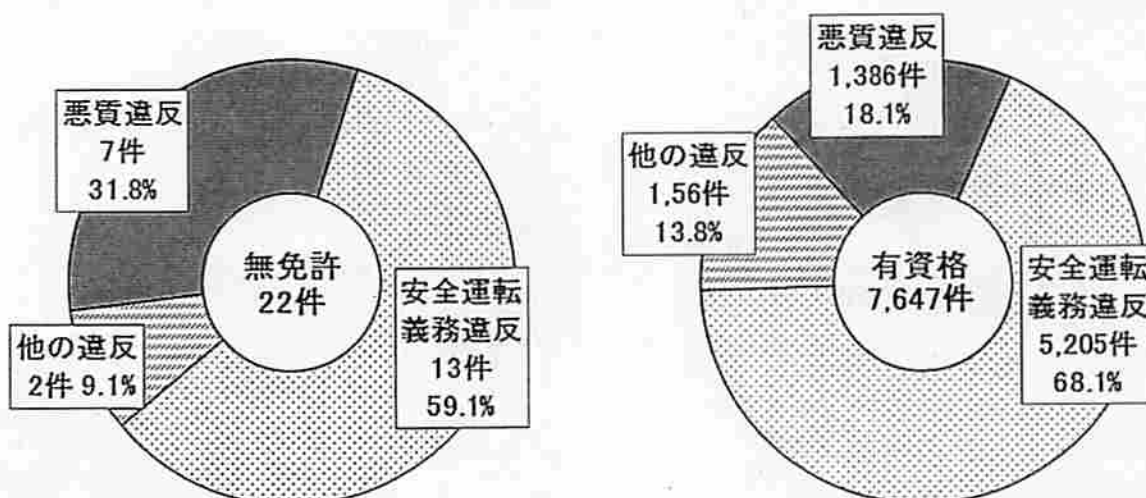
前方不注意が最も多く5件(22.7%)である。

悪質違反は7件(31.8%)であり、信号無視が4件となっている。

有資格者の悪質違反による事故(18.1%)と比較すると、無免許運転では13.7ポイント高くなっている。

(単位：件・%)

違反	区分	件数		違反	区分	件数	
		件数	構成率(%)			件数	構成率(%)
悪 質 違 反	信号無視	4	18.2	安 全 運 転 義 務 違 反	過労運転		0.0
	最高速度		0.0		ハンドル・ブレーキ操作	3	13.6
	通区・追越	1	4.5		前方不注意	5	22.7
	歩行者妨害等		0.0		動静不注意	2	9.1
	一時不停止	1	4.5		安全不確認	2	9.1
	酒酔い運転	1	4.5		安全速度		0.0
計		7	31.8	その他	1	4.5	
車間距離不保持			0.0	計		13	59.1
優先通行妨害等			0.0	その他		1	4.5
交差点安全進行	1	4.5		合計		22	100.0
左折違反			0.0	飲酒運転(内数)		4	18.2



(8) 人的原因別

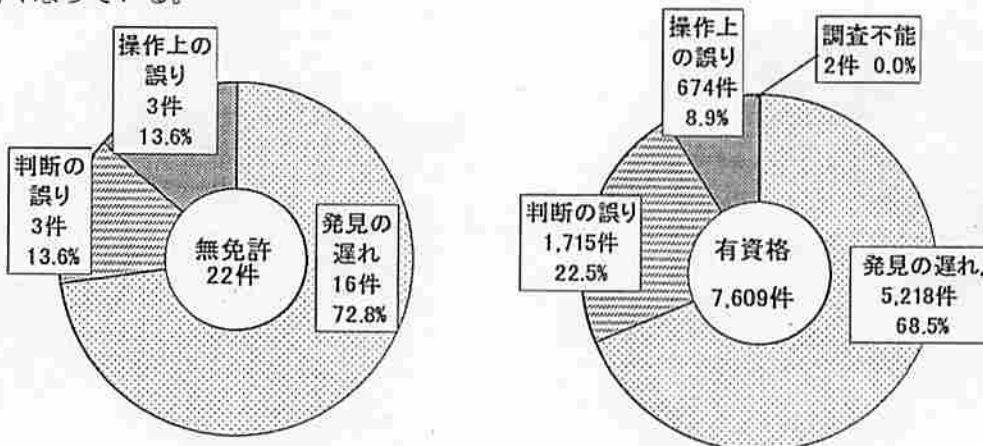
発見の遅れが 16 件で、無免許運転事故の 72.7 パーセントを占め最も多い。

なかでも前方不注意が 12 件と多く、発見の遅れ全体の 75.0 パーセントを占めている。

(単位：件)

人的原因	件数	人的原因	件数
合計	22	予測不適	0
発見の遅れ	16	運転感覚(速度、車幅、距離等)を誤った	
前方不注意	12	相手がルールを守ると思った	
内在的(漫然等)	5	相手が譲ってくれる、停止してくれると思った	
居眠り運転		他の事故(危険)を避けようと思った	
ラジオ・ステレオを聴いていた		その他相手の行動予見等の判断を誤った	
雑談や携帯電話等で話していた		交通環境	1
その他、考え事等の漫然運転	5	道路形状、道路線形に対する認識を誤った	
外在的(臨見等)	7	道路環境(路面凍結や霧など)に対する認識を誤った	
物を落とした、物を取ろうとした	1	交通規制に対する認識を誤った	1
同乗者、同乗の動物等に臨見	1	交通安全施設に対する認識を誤った	
カセットテープ、携帯電話等を操作していた		障害物等に対する認識を誤った	
テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた		その他の交通環境に対する認識を誤った	
雑誌、地図帳等を見ていた		操作上の誤り(操作不適)	3
道、案内標識等を探して臨見		ブレーキとアクセルの踏み違い	
風景、地物等に臨見	1	ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ	
他の車、歩行者に臨見	1	急ブレーキをかけた	
バックミラーやドアミラーを見ていた		エンジン・ブレーキを使用しなかった	
その他臨見	3	ハンドルの操作不適	2
安全不確認	4	ギヤの入れ違い	
安全確認をしなかった	3	ブレーキをかけながらハンドル操作	
安全確認が不十分だった	1	オートスピードコントロール装置等の操作不適	
判断の誤り等	3	その他の操作不適	1
動静不注意	2	調査不能	
相手が譲ってくれると思って注視を怠った			
他の危険を避けようとして注視を怠った			
危険性がないとして注視を怠った	2		

無免許運転と有資格者の事故を比較すると、無免許運転事故では発見の遅れの構成率が 4.3 ポイント高くなっている。



\* 有資格者でかつ人的原因の事故

## 12 二輪車の事故

### (1) 二輪車による事故

#### ア 概 況

二輪車が第1当事者になった事故は、

発生件数 56件 (前年比 -48件 46.2%減)

死者数 6人 (前年比 -6人 50.0%減)

傷者数 59人 (前年比 -55人 48.2%減)

で、発生件数、死者数、傷者数全てで減少した。

車種別にみると、発生件数、傷者数とも原付が多く、二輪車事故総発生件数の62.5パーセントを占めている。

(単位：件・人・%)

区分 車種	本年						増減数			増減率(%)		
	件数	構成率(%)	死者	構成率(%)	傷者	構成率(%)	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者
小型二輪	11	19.6	2	33.3	13	22.0	-16	-4	-23	-59.3	-66.7	-63.9
軽二輪	4	7.1	0	0.0	4	6.8	-10	0	-13	-71.4	-	-76.5
二種原付	6	10.7	2	33.3	4	6.8	-3	-1	-2	-33.3	-33.3	-33.3
原付	35	62.5	2	33.3	38	64.4	-19	-1	-17	-35.2	-33.3	-30.9
合計	56	100.0	6	100.0	59	100.0	-48	-6	-55	-46.2	-50.0	-48.2

死亡事故率をみると二種原付が高くなっている。

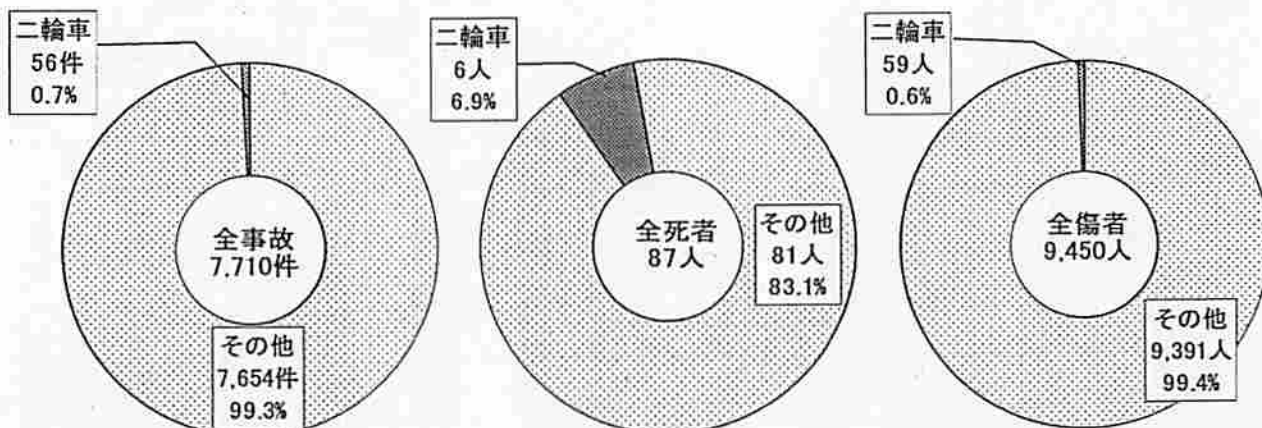
(単位：件・%)

区分 車種	普通乗軽乗大貨等普通貨軽貨四その他						二輪車					合計
	普乗	軽乗	大貨等	普貨	軽貨	四その他	小型輪	軽二輪	二種原付	原付	計	
車種別事故件数	3,981	2,199	319	457	606	17	11	4	6	35	56	7,635
死亡事故件数	26	20	9	4	10	1	2		2	2	6	76
死亡事故率	0.7	0.9	2.8	0.9	1.7	5.9	18.2	0.0	33.3	5.7	10.7	1.0

(第一当自転車が歩行者、当事者不明の交通事故を除く)

$$(注) 死亡事故率 = \frac{\text{死亡事故件数}}{\text{車種別事故件数}} \times 100$$

全事故に占める二輪車事故の構成率は0.7パーセントであるのに対し、死者の構成率は6.9パーセントと高くなっている。

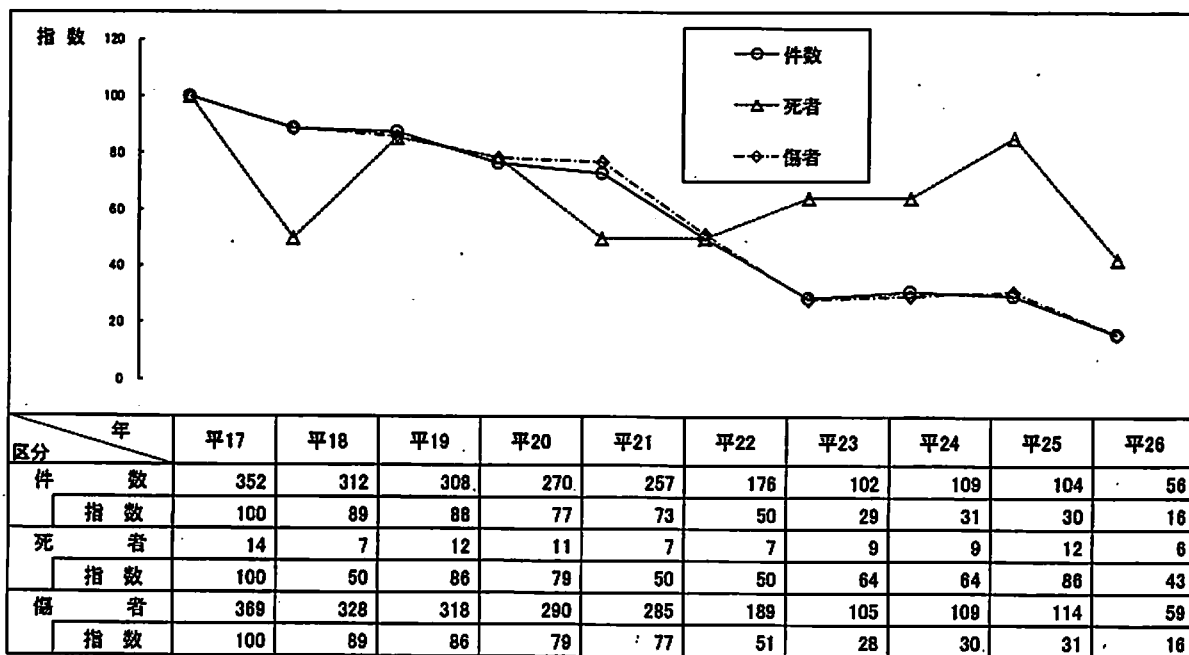


イ 年別推移

(7) 発生件数、死者数、傷者数

死者数、発生件数、傷者数全てで減少傾向に転じた。

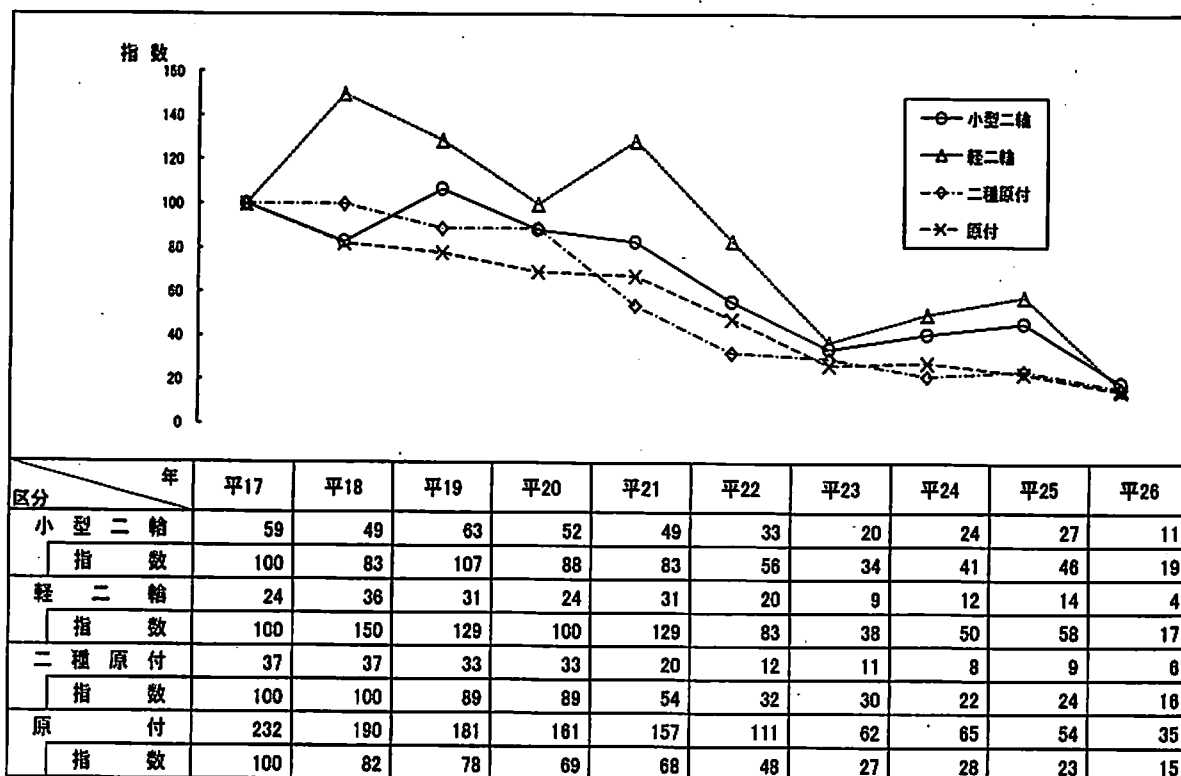
(単位：件・人)



(1) 車種別交通事故発生件数

小型二輪、軽二輪で減少傾向に転じ、二種原付、原付では緩やかな減少を継続している。

(単位：件)



## ウ 年齢別

二輪車の事故は、高齢運転者が23件（41.1%）、50歳代が9件（16.1%）と多い。

また、年代別事故発生件数に対する二輪事故の占める割合をみると、高齢者が1.6パーセントと高くなっている。

（単位：件・%）

区分	年齢	青年運転者				計	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
		子供	高校生	その他10歳代	20～24歳								
全運転者の事故		7	14	318	946	1285	774	1,187	1,186	1,153	639	1,456	7,680
	構成率(%)	0.1	0.2	4.1	12.3	16.7	10.1	15.5	15.4	15.0	8.3	19.0	100.0
二輪車事故		0	0	2	4	6	3	7	7	9	1	23	56
	構成率(%)	0.0	0.0	3.6	7.1	10.7	5.4	12.5	12.5	16.1	1.8	41.1	100.0
	全運転者事故に占める割合	0.0	0.0	0.6	0.4	0.5	0.4	0.6	0.6	0.8	0.2	1.6	0.7

\* 自転車・歩行者・当事者不明を除く

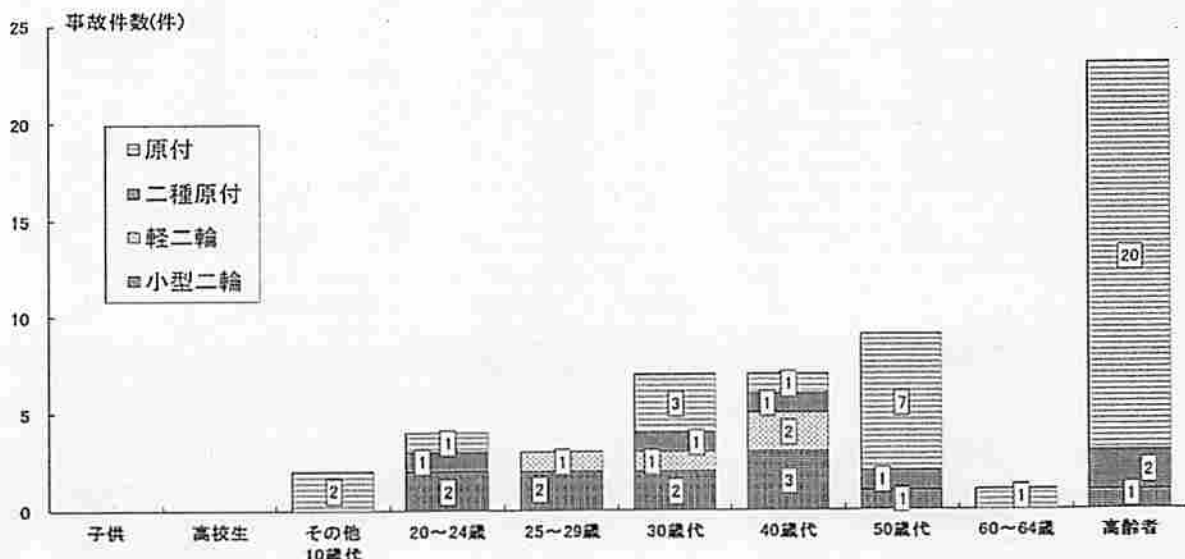
## エ 年齢別・車種別

高齢運転者による車種別構成率では、原付が57.1パーセント、二種原付が50.0パーセントであり、50歳代による車種別構成率では小型二輪が25.0パーセント、原付が20.0パーセントを占めている。

一方、高校生による二輪車事故の発生はない。

（単位：件・%）

区分	年齢	青年運転者				計	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
		子供	高校生	その他10歳代	20～24歳								
小型二輪		0	0	0	2	2	2	2	3	1	0	1	11
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	18.2	18.2	18.2	18.2	27.3	9.1	0.0	9.1	100
軽二輪		0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	4
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100
二種原付		0	0	0	1	1	0	1	1	1	0	2	6
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	50.0	150
原付		0	0	2	1	3	0	3	1	7	1	20	35
	構成率(%)	0.0	0.0	5.7	2.9	8.6	0.0	8.6	2.9	20.0	2.9	57.1	100



オ 車種別・免許経験年数別

車種別事故当事者の運転免許経験年数をみると、二輪車全体では10年以上の占める割合が高く、10年未満、2～3年が各々続いている。

(単位：件・%)

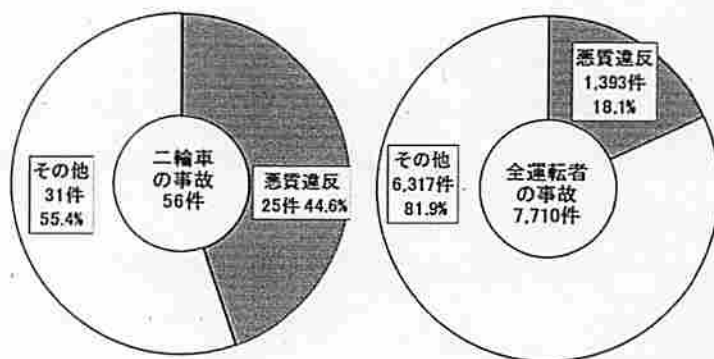
経験年数	車種	小型二輪		軽二輪		二種原付		原付		合計	
		構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)		
1年未満			0.0		0.0		0.0	1	2.9	1	1.8
1～2年	1	9.1	0.0	0.0	0.0	1	2.9	2	3.6		
2～3年		0.0	0.0	0.0	1	16.7	3	8.6	4	7.1	
3～4年	1	9.1	0.0	0.0		0.0		0.0	1	1.8	
4～5年		0.0	0.0	0.0		0.0		0.0	0	0.0	
10年未満	2	18.2	1	25.0	1	16.7		0.0	4	7.1	
10年以上	7	63.6	3	75.0	4	66.7	30	85.7	44	78.6	
無免許		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0	
合計		11	100.0	4	100.0	6	100.0	35	100.0	56	100.0

カ 車種別・違反別

二輪事故のうち悪質違反の占める割合は、44.6パーセントとなっており、違反では一時不停止、通区・追越の順に多い。

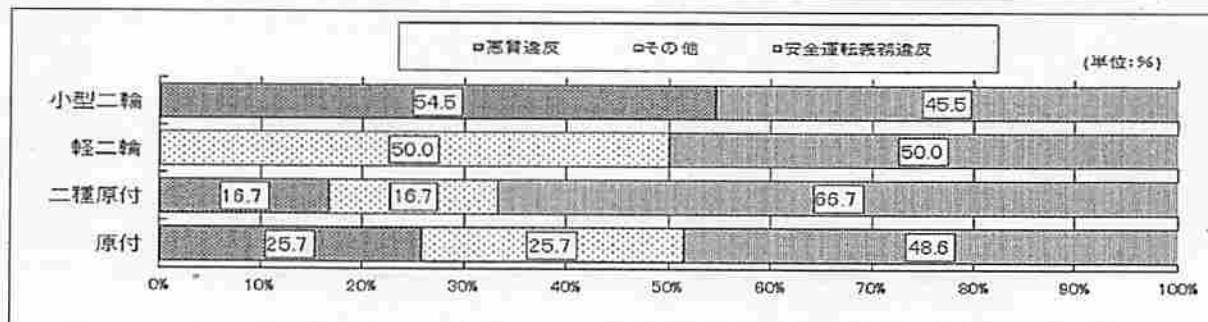
車種別にみると、悪質違反の占める割合が高いのは、小型二輪で54.5パーセントとなっている。

原付の悪質違反については、一時不停止が5件で悪質違反の55.6パーセントを占めている。



(単位：件・%)

違反	車種	小型二輪		軽二輪		二種原付		原付		合計	
		構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)		
悪質違反	最高速度無視		0.0		0.0		0.0	3	8.6	3	5.4
	通区・追越	1	9.1		0.0		0.0		0.0	1	1.8
	歩行者妨害等	5	45.5		0.0		0.0		0.0	5	8.9
	一時不停止		0.0		0.0	1	16.7	5	14.3	6	10.7
	酒酔い運転		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
計		6	54.5	0	0.0	1	16.7	9	25.7	16	28.6
安全運転義務違反	横断禁止等		0.0		0.0	1	16.7	2	5.7	3	5.4
	右・左折違反		0.0		0.0		0.0	2	5.7	2	3.6
	優先通行妨害等		0.0		0.0		0.0	1	2.9	1	1.8
	交差点安全進行		0.0	1	25.0		0.0	4	11.4	5	8.9
	徐行違反		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
その他	ハンドル・ブレーキ操作	1	9.1	1	25.0	1	16.7	3	8.6	6	10.7
	前方不注意	1	9.1	1	25.0	2	33.3	5	14.3	9	16.1
	動静不注意		0.0		0.0		0.0	1	2.9	1	1.8
	安全確認	1	9.1		0.0		0.0	7	20.0	8	14.3
	安全速度	2	18.2		0.0		0.0		0.0	2	3.6
その他		0.0		0.0	1	16.7	1	2.9	2	3.6	
計		5	45.5	2	50.0	4	66.7	17	48.6	28	50.0
その他		0.0		1	25.0		0.0		0.0	1	1.8
合計		11	100.0	4	100.0	6	100.0	35	100.0	56	100.0





キ 車種別・事故類型別

(単位：件・%)

類型	車種	全事故		二輪合計		小型二輪		軽二輪		二種原付		原付		
		件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	
人対車両	横断中	130	1.7	2	3.6		0.0		0.0		0.0	2	5.7	
	対面・背面	412	5.3	5	8.9		0.0		0.0		0.0	5	14.3	
	その他	162	2.1	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
	計	704	9.1	7	12.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	7	20.0	
車両相互	正面衝突	253	3.3	5	8.9	5	45.5		0.0		0.0		0.0	
	追突	進行中	338	4.4	1	1.8		0.0		0.0		0.0	1	2.9
		駐・停止中	3,026	39.2	4	7.1		0.0	1	25.0	1	16.7	2	5.7
	出会い頭	1,846	23.9	17	30.4		0.0	1	25.0	1	16.7	15	42.9	
	追越・追抜	73	0.9	1	1.8	1	9.1		0.0		0.0		0.0	
	右折時	499	6.5	5	8.9		0.0		0.0	1	16.7	4	11.4	
	左折時	180	2.3	1	1.8		0.0	1	25.0		0.0		0.0	
	その他	629	8.2	3	5.4	1	9.1		0.0		0.0	2	5.7	
	計	6,844	88.8	37	66.1	7	63.6	3	75.0	3	50.0	24	68.6	
	車両単独	工作物衝突	78	1.0	2	3.6	1	9.1		0.0	1	16.7		0.0
路外逸脱		29	0.4	3	5.4		0.0		0.0	1	16.7	2	5.7	
転倒		5	0.1	4	7.1	1	9.1	1	25.0		0.0	2	5.7	
駐車車両衝突		23	0.3	2	3.6	2	18.2		0.0		0.0		0.0	
その他		25	0.3	1	1.8		0.0		0.0	1	16.7		0.0	
計	160	2.1	12	21.4	4	36.4	1	25.0	3	50.0	4	11.4		
踏切	2	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		
合計	7,710	100.0	56	100.0	11	100.0	4	100.0	6	100.0	35	100.0		

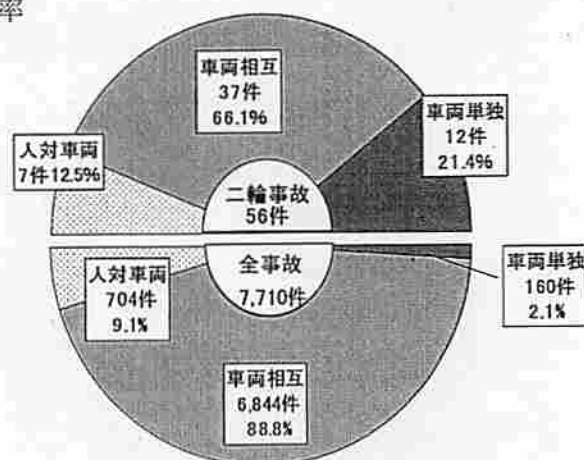
全事故の類型別構成率と二輪合計の類型別構成率

の対比では、

- ・人対車両・・・3.4ポイント高い
- ・車両相互・・・22.7ポイント低い
- ・車両単独・・・19.3ポイント高く、特に

転倒と路外逸脱が高い

等の特徴がみられる。



ク 昼夜別・道路別

二輪車事故の82.1パーセント(46件)が昼間に発生している。

道路別に対比すると、市町村道での発生が21件と最も多く37.5パーセントを占める。

夜間の発生についても市町村道での発生が4件(夜間の40.0%)と多くなっている。

(単位：件・%)

昼夜	国 道						県 道			市 村 町 道	高 速 道	そ の 他	合 計
	4 号	6 号	13 号	49 号	三 桁	計	主 要	一 般	計				
昼 間	4			1	13	18	8	1	9	17		2	46
構成率(%)	8.7	0.0	0.0	2.2	28.3	39.1	17.4	2.2	19.6	37.0	0.0	4.3	100.0
夜 間	1				1	2	1	3	4	4			10
構成率(%)	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	20.0	10.0	30.0	40.0	40.0	0.0	0.0	100.0
薄暮(内数)	1				1	2	1	1	2	1			5
構成率(%)	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	100.0
合 計	5	0	0	1	14	20	9	4	13	21	0	2	56
構成率(%)	8.9	0.0	0.0	1.8	25.0	35.7	16.1	7.1	23.2	37.5	0.0	3.6	100.0

ケ 道路線形別

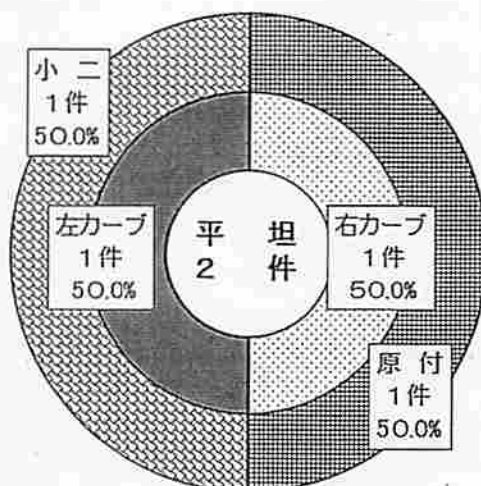
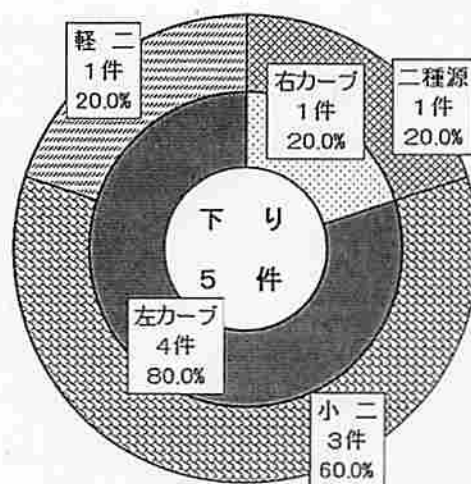
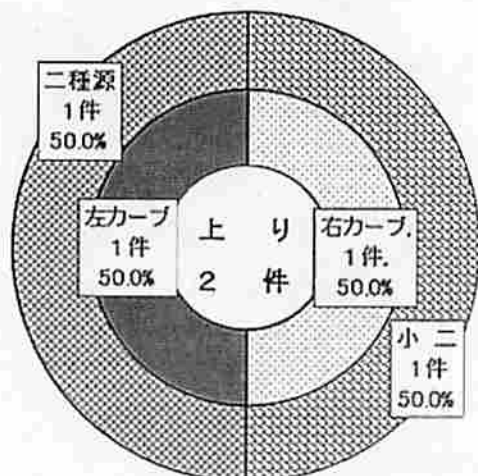
全事故と比較するとカーブでの事故の割合が高く、全二輪事故のうち右カーブが5.4パーセント、左カーブが10.7パーセントを占めている。

(単位：件・%)

線形	車種	全事故		二輪合計		小型二輪		軽二輪		二種原付		原付	
		件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)
上り	右カーブ	27	0.4	1	1.8	1	9.1		0.0		0.0		0.0
	左カーブ	39	0.5	1	1.8		0.0		0.0	1	16.7		0.0
下り	右カーブ	41	0.6	1	1.8		0.0		0.0	1	16.7		0.0
	左カーブ	56	0.8	4	7.1	3	27.3	1	25.0		0.0		0.0
平坦	右カーブ	103	1.4	1	1.8		0.0		0.0		0.0	1	2.9
	左カーブ	118	1.6	1	1.8	1	9.1		0.0		0.0		0.0
直線	上り	217	3.0	1	1.8		0.0		0.0		0.0	1	2.9
	下り	289	4.0	2	3.6		0.0		0.0	1	16.7	1	2.9
	平坦	6,382	87.8	44	78.6	6	54.5	3	75.0	3	50.0	32	91.4
合計	右カーブ	171	2.4	3	5.4		0.0	0	0.0	1	16.7	1	2.9
	左カーブ	213	2.9	6	10.7	4	36.4	1	25.0	1	16.7	0	0.0

全事故件数	7,272	100	56	100	11	100	4	100	6	100	35	100
-------	-------	-----	----	-----	----	-----	---	-----	---	-----	----	-----

\* 全事故のうち、その他の道路438件を除く。



(2) 二輪車の死傷者

ア 概況

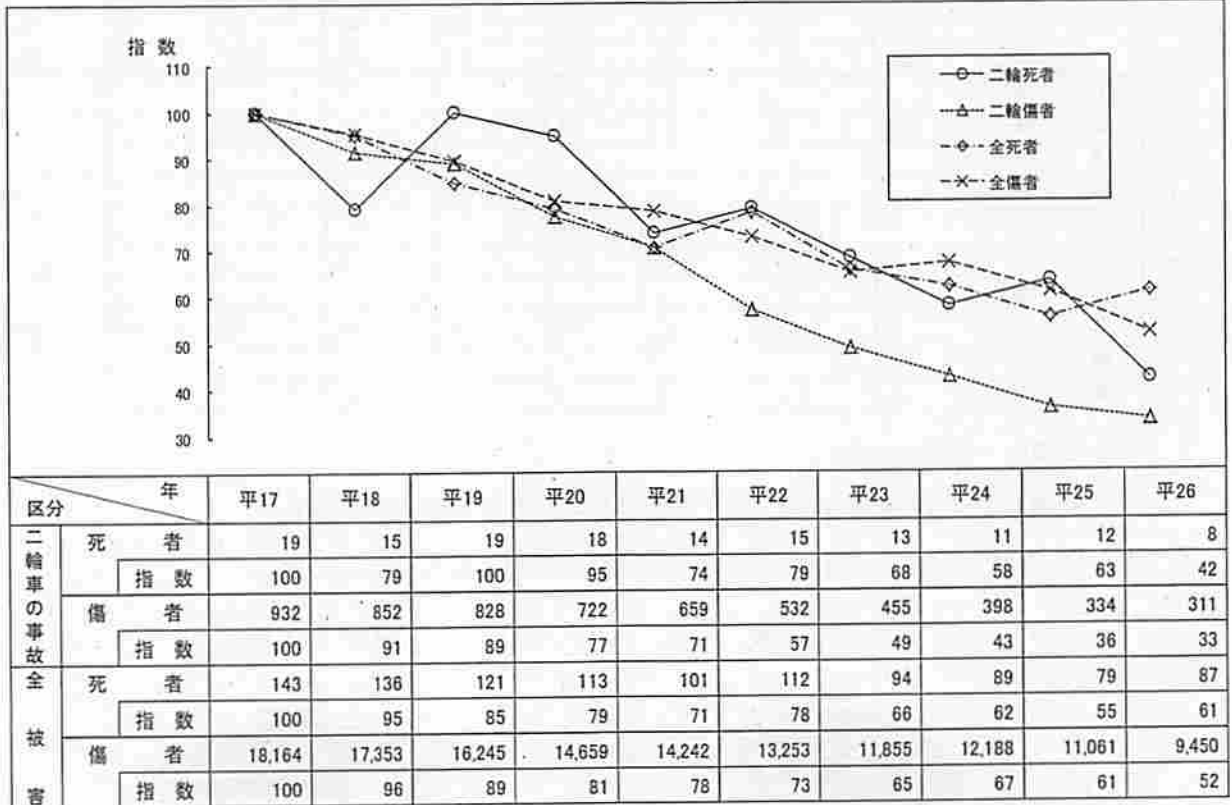
二輪乗車中（同乗者を含む）の死傷者は

死者数 8人（前年比 -4人 33.3%減）

傷者数 311人（前年比 -23人 6.9%減）

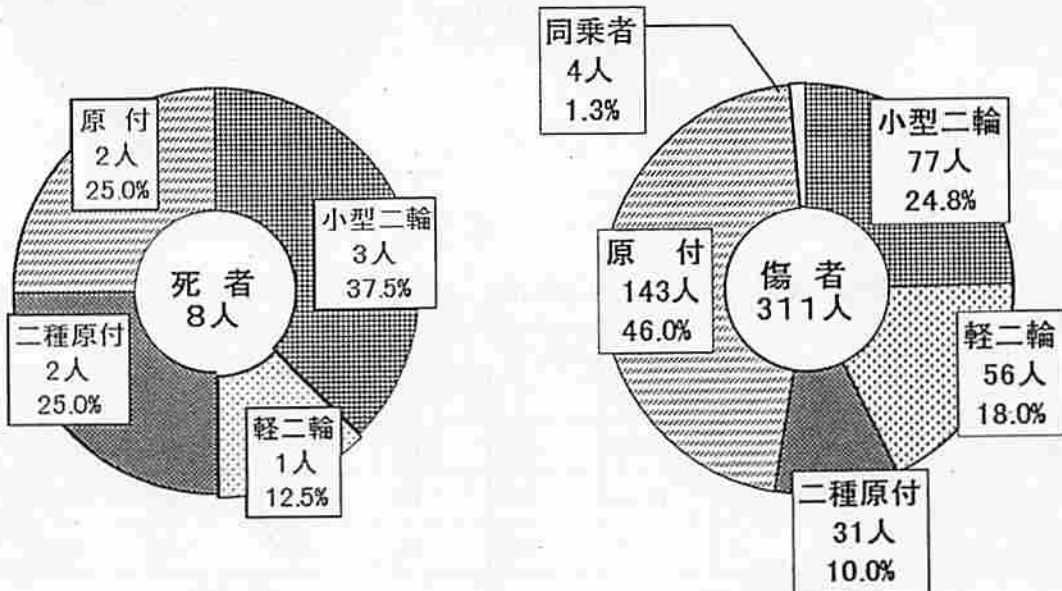
で、死者数、傷者数とも減少した。

（単位：人）



イ 車種別

車種別にみると、死者は小型二輪が多く 37.5パーセントを占め、傷者は原付が多く 46.0パーセントを占めている。



ウ 年齢別

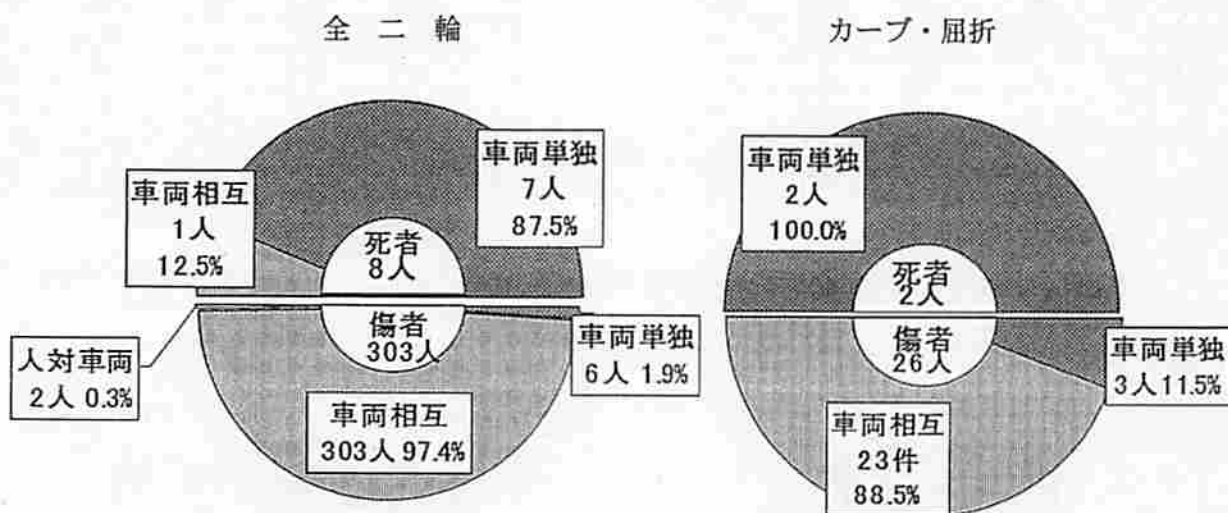
年齢別にみると、死者は高齢者が3人で37.5パーセントを占め、傷者でも高齢者が74人で23.8パーセントを占めている。 (単位：人・%)

車種	年齢	年齢							高齢者	合計
		20歳未満	20～24歳	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳		
二輪車	死者	0	0	1	2	1	1	0	3	8
	構成率(%)	0.0	0.0	12.5	25.0	12.5	12.5	0.0	37.5	100
計	傷者	17	27	22	54	56	42	19	74	311
	構成率(%)	5.5	8.7	7.1	17.4	18.0	13.5	6.1	23.8	100.0
小型二輪	死者			1	1		1			3
	傷者	5	8	7	18	20	14	3	2	77
二種原付	死者					1			1	2
	傷者	2	1	1	5	6	8	2	6	31
同乗者	死者								2	2
	傷者	6	10	9	16	15	11	13	63	143
同乗者	死者									0
	傷者	1	1		1	1				4

エ 事故類型別・道路形状別

全二輪事故では、死者は車両単独、傷者は車両相互によるものが多い。

カーブ・屈折でも、死者は車両単独、傷者は車両相互によるものが多い。



オ ヘルメット着用状況

自動二輪の着用率は、原付の着用率より0.3ポイント高くなっている。 (単位：人・%)

車種	区分	死者		傷者		合計	
		ヘルメット着用	構成率(%)	ヘルメット着用	構成率(%)	ヘルメット着用	構成率(%)
自動二輪		6	5 83.3	168	167 99.4	174	172 98.9
原付		2	2 100.0	143	141 98.6	145	143 98.6
合計		8	7 87.5	311	308 99.0	319	315 98.7

### 13 タクシーの事故

#### (1) 概況

タクシーが第1当事者となった事故は、

発生件数 98件 (前年比 -8人 7.5%減)

死者数 0人 (前年比 -1人 100.0%減)

傷者数 117人 (前年比 -14人 10.7%減)

で、発生件数、死者数、傷者数全てで減少した。

タクシーが第2当事者になった事故は、

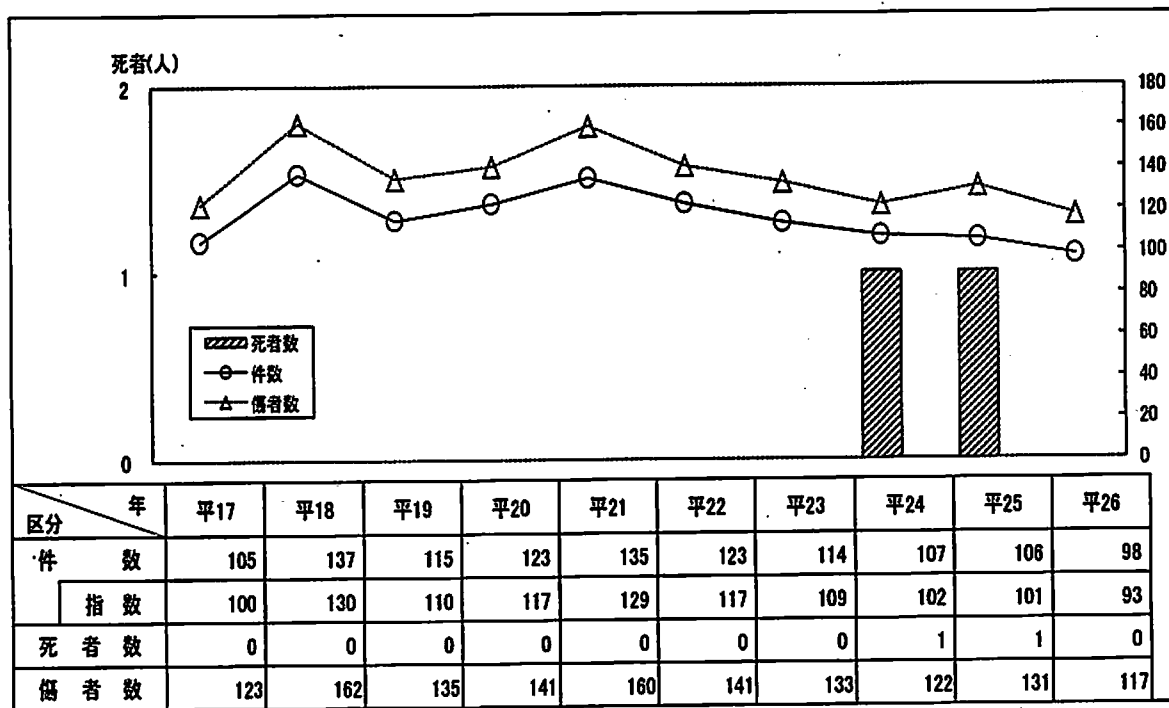
発生件数 64件 (前年比 -9人 12.3%減)

死者数 0人 (前年比 ±0人 -)

傷者数 82人 (前年比 -7人 7.9%減)

で、死者数は同数で、発生件数と傷者数は減少した。

(単位：件・人)



#### (2) 月別

4月と8月が11件と最も多く、次いで10月と11月の10件の順となっている。

(単位：件・人)

区分	年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	件数	7	9	7	11	5	7	8	11	6	10	10	7	98
死者数	死者数													0
傷者数	傷者数	8	12	7	14	5	7	9	19	7	11	10	8	117

(3) 年齢別

高齢者が33件で最も多く、タクシー事故の33.7パーセントを占めている。

(単位：件・%)

区分	年齢	25未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者 (65歳以上)	合計
件数				2	5	27	31	33	98
構成率(%)		0.0	0.0	2.0	5.1	27.6	31.6	33.7	100.0

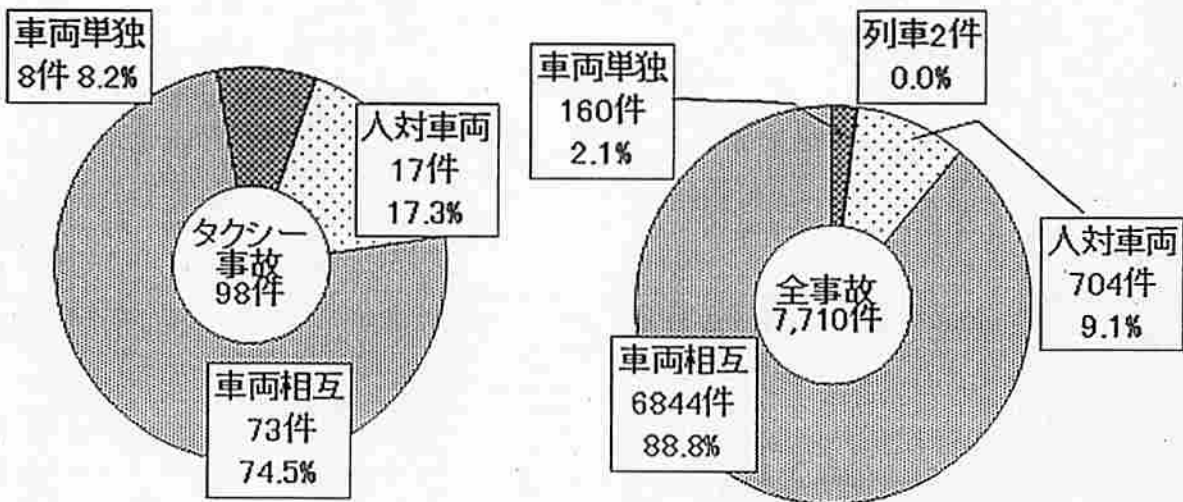
(4) 事故類型別

車両相互の事故が73件(74.5%)と最も多く、うち出会い頭が32.7パーセントと高い。

全事故と比較すると、人対車両事故や車両単独事故の占める割合が高くなっている。

(単位：件・%)

区分	類型	人対車両			車両相互							車両単独			合計	
		通行中	横断中	その他	正面衝突	追突	出会い頭	後退・転回	右・左折時	その他	工作物衝突	路外逸脱	その他			
件数		1	8	8	1	18	32	9	6	7	73	3		5	8	98
構成率(%)		1.0	8.2	8.2	1.0	18.4	32.7	9.2	6.1	7.1	74.5	3.1	0.0	5.1	8.2	100



(5) 違反別

安全不確認の事故が33件で33.7パーセントを占め、次に前方不注意の順となっている。

悪質違反は23件で23.5パーセントを占めている。

(単位：件・%)

違反	悪質違反						計	横断禁止等	右・左折違反	優先通行妨害等	交差点安全進行	徐行違反	安全運転義務違反					その他	合計	
	信号無視	最高速度	通区・追越	歩行者妨害等	一時不停止	酒酔い運転							ハンドル・ブレーキ	前方不注意	動静不注意	安全不確認	その他			
件数	3		1	6	13		23		1	2	5		4	16	7	33	1	61	6	98
構成率(%)	3.1	0.0	1.0	6.1	13.3	0.0	23.5	0.0	1.0	2.0	5.1	0.0	4.1	16.3	7.1	33.7	1.0	62.2	6.1	100

## 14 バスの事故

### (1) 概況

バスが第1当事者となった事故は、

発生件数 7件 (前年比 +1件 16.7%増)

死者数 0人 (前年比 ±0人 - )

傷者数 10人 (前年比 +3人 42.9%増)

で、死者は昨年と同様に無かったが、発生件数、傷者数は増加した。

バスが第2当事者となった事故は、

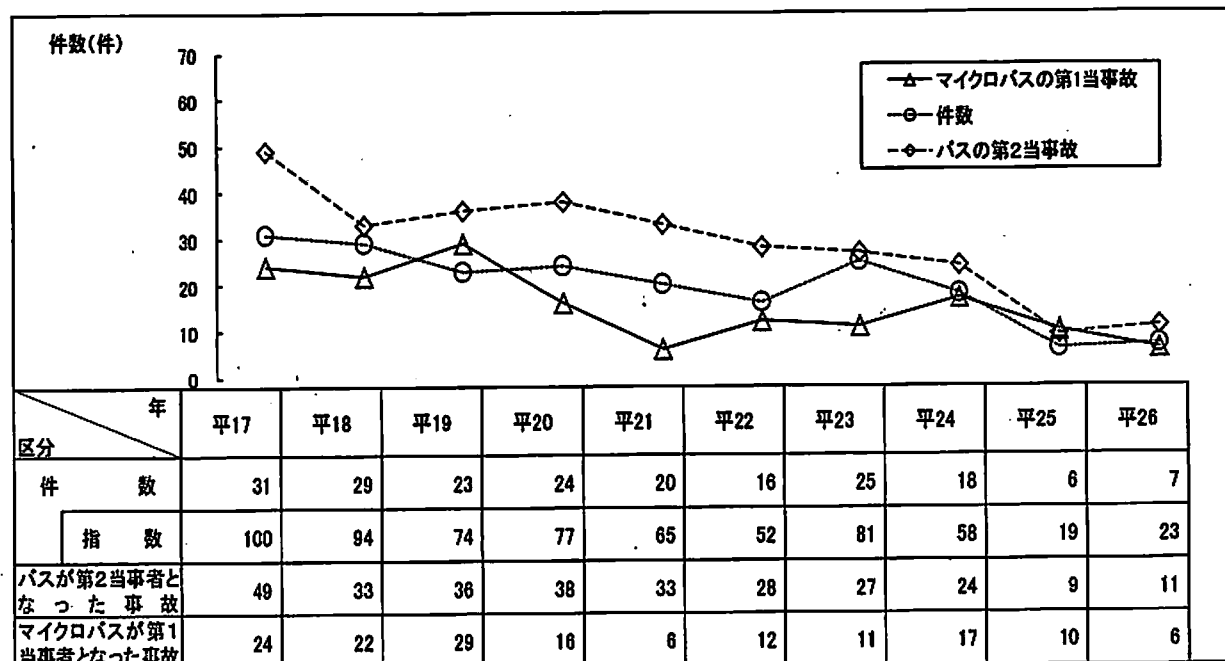
発生件数 11件 (前年比 +2件 22.2%増)

死者数 0人 (前年比 ±0人 - )

傷者数 13人 (前年比 ±0人 増減なし)

で、発生件数は増加、傷者数は昨年と同数、死者は昨年と同様に無かった。

(単位：件)



### (参考)

マイクロバス (乗車定員が11~29人) が第1当事者となった事故

発生件数 6件 (前年比 -4件 40.0%減)

死者数 0人 (前年比 ±0人 - )

傷者数 6人 (前年比 -6人 50.0%減)

マイクロバスが第2当事者となった事故

発生件数 6件 (前年比 +3人 100.0%増)

死者数 0人 (前年比 ±0人 - )

傷者数 10人 (前年比 +7人 233.3%増)

(2) 月別

バスの運転者が第1当事者となった事故は、4月、6月に各2件、2月、8月、10月に各1件発生し、第2当事者になった事故は1月に3件と最も多く発生し、8月の2件が続いている。

(単位：件・人)

区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
第1当事者	件数		1		2		2		1		1			7
	死者数													0
	傷者数		1		2		5		1		1			10
第2当事者	件数	3			1		1		2	1	1	1	1	11
	死者数													0
	傷者数	5			1		1		2	1	1	1	1	13

(3) 用途別

バス運転者が第1当事者となった事故は、路線バスが5件で最も多く、71.4パーセントを占めている。

第2当事者になった事故も、路線バスが8件で最も多く、72.7%を占めている。

(単位：件・人)

区分	用途	第1当事者			計	第2当事者			計
		路線バス	貸切バス	自家用バス		路線バス	貸切バス	自家用バス	
件数		5	2	0	7	8	1	2	11
死者		0	0	0	0	0	0	0	0
傷者		8	2	0	10	9	1	3	13

(4) 年齢別

50歳代が第1当事者となった事故は5件で最も多く71.4パーセントを占め、第2当事者になった事故も最も多いのは50歳代の6件で54.5パーセントを占めている。

(単位：件)

区分	年齢	24歳以下	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者(65歳以上)	合計
第1当事者					2	5			7
第2当事者			1	3		6	1		11

(5) 道路別

第1当事者となった事故は、国道と市町村道が各2件で各々28.6パーセントを占め、第2当事者になった事故では市町村道が4件で各々36.4パーセントを占めている。

(単位：件)

区分	道路	国 道					計	県 道			市町村道	高速道	その他	合計
		4号	6号	13号	49号	三析		主地方道	要県道	一般道				
第1当事者		0	1	0	0	1	2	1	0	1	2	1	1	7
第2当事者		1	0	0	1	1	3	3	0	3	4	1	0	11

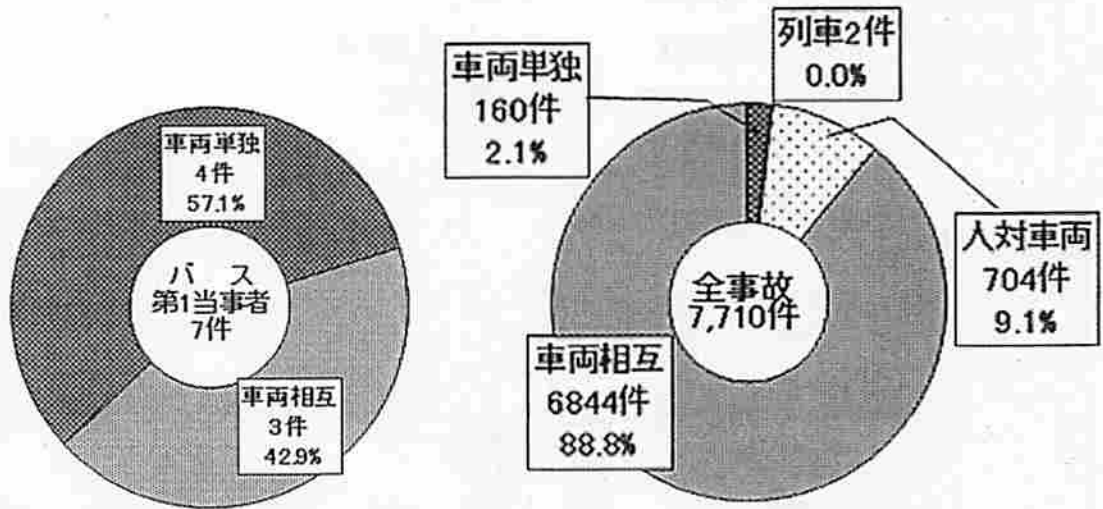


(6) 事故類型別

全事故と比較すると、車両単独事故の割合が高く約 30 倍となっている。

(単位：件・%)

区分	人 対 車 両				車 両 相 互						車 両 単 独			合 計		
	通 行 中	横 断 中	そ の 他	計	正 面 衝 突	追 突	出 会 い 頭	後 退 ・ 転 回	右 ・ 左 折 時	そ の 他	計	工 作 物 衝 突	路 外 逸 脱		そ の 他	計
件 数				0		3					3			4	4	7
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0	57.1	57.1	100



(7) 違反別

安全運転義務違反が6件で85.7パーセントを占めている。

特に、ハンドル・ブレーキ操作不適が2件で最も多くなっている。

(単位：件・%)

違反	区分	件 数		違反	区分	件 数	
		件 数	構成率(%)			件 数	構成率(%)
悪 質 違 反	信 号 無 視		0.0	交 差 点 安 全 進 行		0.0	
	最 高 速 度		0.0	過 労 運 転		0.0	
	通 区 ・ 追 越		0.0	安 全 運 転 義 務 違 反	ハ ン ド ル ・ ブ レ ー キ	2	28.6
	歩 行 者 妨 害 等		0.0		前 方 不 注 意	1	14.3
	一 時 不 停 止		0.0		動 静 不 注 視	1	14.3
	酒 酔 い 運 転		0.0		安 全 不 確 認		0.0
	計	0	0.0		安 全 速 度	1	14.3
	横 断 禁 止 等		0.0		そ の 他	1	14.3
	車 間 距 離 不 保 持		0.0		反 計	6	85.7
	進 路 変 更 禁 止		0.0	そ の 他		1	14.3
	右 ・ 左 折		0.0	歩 行 者 の 違 反			0.0
	優 先 通 行 妨 害 等		0.0	合 計		7	100

## 15 ダンプカーの事故

### (1) 概況

ダンプカーが第1当事者になった事故は、

発生件数	59件	(前年比)	-1件	1.7%減)
死者数	1人	(前年比)	±0人	増減なし)
傷者数	69人	(前年比)	-2人	2.8%減)

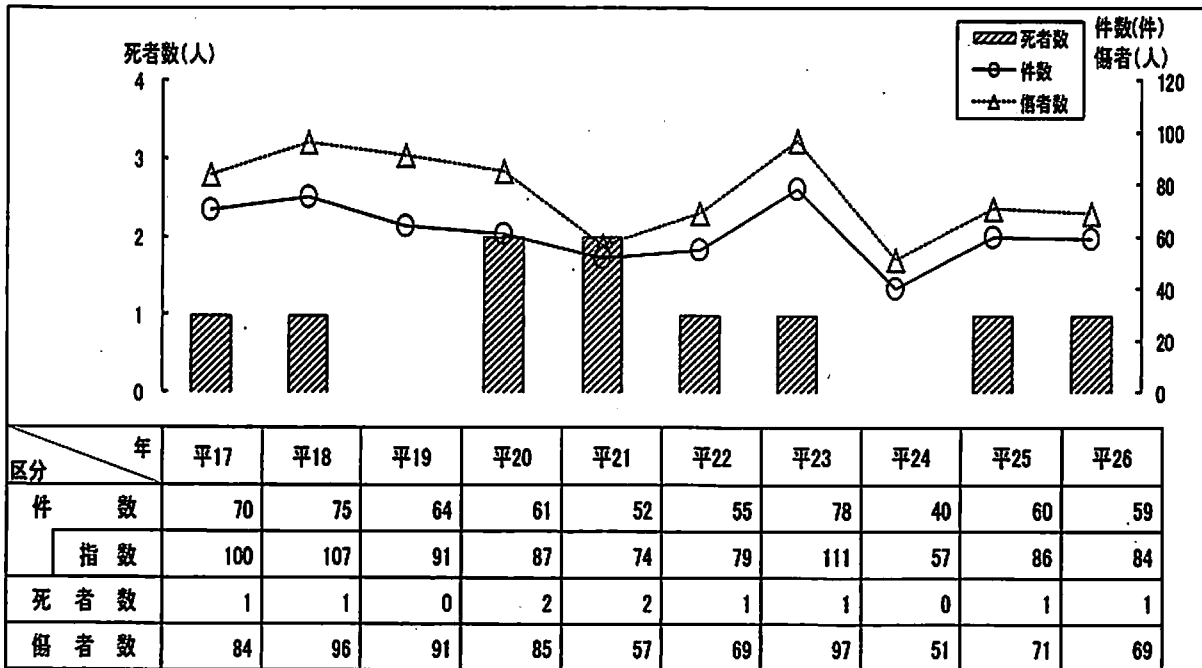
で、死者数は昨年と同数で、発生件数、傷者数は減少した。

ダンプカーが第2当事者になった事故は、

発生件数	20件	(前年比)	-4件	16.7%減)
死者数	2人	(前年比)	+2人	-)
傷者数	23人	(前年比)	-7人	23.3%減)

で、死者数は増加したが、発生件数、傷者数は減少した。

(単位：件・人)



### (2) 月別

12月が9件で最も多く、次いで5月、8月の各7件の順となっている。死者は10月に1人死亡している。

(単位：件・人)

区分	年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	件数	4	5	5	4	7	2	5	7	2	5	4	9	59
死者数	死者数										1			1
傷者数	傷者数	5	7	5	9	9	2	5	7	2	4	4	10	69

(3) 年齢別・免許年数経過別

年齢別では、50歳代が14件で最も多く、次いで30歳代、40歳代の各々10件となっている。  
また、免許経過年数では、10年以上が45件でダンプ事故の76.3パーセントを占めている。

(単位：件)

区分	年齢	24歳以下	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者 (65歳以上)	合計
1年未満		2						1	3
1～2年					1				1
2～3年		1	1		1				3
3～4年		2							2
4～5年									0
10年未満		1	3	1					5
10年以上				9	8	14	9	5	45
無免許									0
合計		6	4	10	10	14	9	6	59

(4) 違反別

前方不注意が20件でダンプ事故の各33.9パーセントを占め最も多く、次いで動静不注意の15件となっている。

悪質違反は7件で、うち一時不停止と信号無視が各々3件と各々悪質違反の42.9%を占めている。

(単位：件・%)

違反	区分	件数		違反	区分	件数	
		件	構成率(%)			件	構成率(%)
悪質違反	信号無視	3	5.1	安全運転義務違反	交差点安全進行	5	8.5
	最高速度		0.0		徐行違反	1	1.7
	通区・追越		0.0		ハンドル・ブレーキ	2	3.4
	歩行者妨害等	1	1.7		前方不注意	20	33.9
	一時不停止	3	5.1		動静不注意	15	25.4
	酒酔い運転		0.0		安全不確認	6	10.2
	計	7	11.9		安全速度		0.0
横断禁止等	2	3.4	その他		0.0		
車間距離不保持		0.0	計	43	72.9		
進路変更禁止		0.0	その他		0.0		
右・左折	1	1.7	歩行者の違反		0.0		
優先通行妨害等		0.0	合計	59	100.0		

(5) 用途別

自家用ダンプの事故が多く、第1当事者では88.1パーセント、第2当事者では全て自家用ダンプでの事故である。

(単位：件・人)

(単位：件・人)

用途	区分	件数		死者	傷者
		件	数		
第1当事者	事業用	7		0	8
	自家用	52		1	61
	合計	59		1	69

用途	区分	件数		死者	傷者
		件	数		
第2当事者	事業用	0		0	0
	自家用	20		2	23
	合計	20		2	23

16 安全運転管理者選任事業所の事故

(1) 概況

県内で発生した安全運転管理者選任事業所（以下安管という。）従業員の事故は、

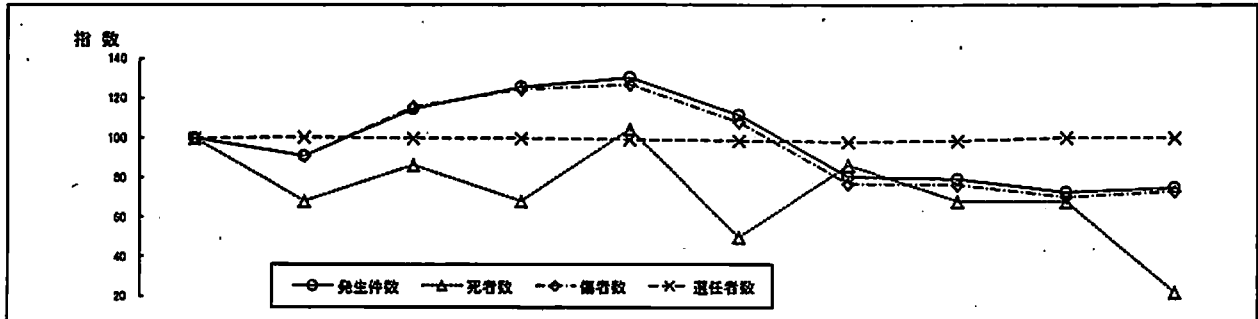
発生件数 1,094件（前年比 +41件 3.9%増）

死者数 5人（前年比 -10人 66.7%減）

傷者数 1,344人（前年比 +53人 4.1%増）

で、死者数は減少したが、発生件数、傷者数は増加した。

（単位：件・人）



区分	年	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26
件数	件数	1,448	1,316	1,658	1,820	1,885	1,614	1,163	1,149	1,053	1,094
	指数	100	91	115	126	130	111	80	79	73	76
死者	件数	22	15	19	15	23	11	19	15	15	5
	指数	100	68	86	68	105	50	86	68	68	23
傷者	件数	1,823	1,666	2,109	2,272	2,307	1,975	1,407	1,397	1,291	1,344
	指数	100	91	116	125	127	108	77	77	71	74
選任者数	件数	8,475	8,496	8,490	8,456	8,440	8,375	8,335	8,371	8,501	8,505
	指数	100	100	100	100	100	99	98	99	100	100

（注）選任数は各年3月末の数値

(2) 県内に所在する安管の事故

業務外の事故が安管事業所事故の75.7

パーセントを占めている。

ア 時間別

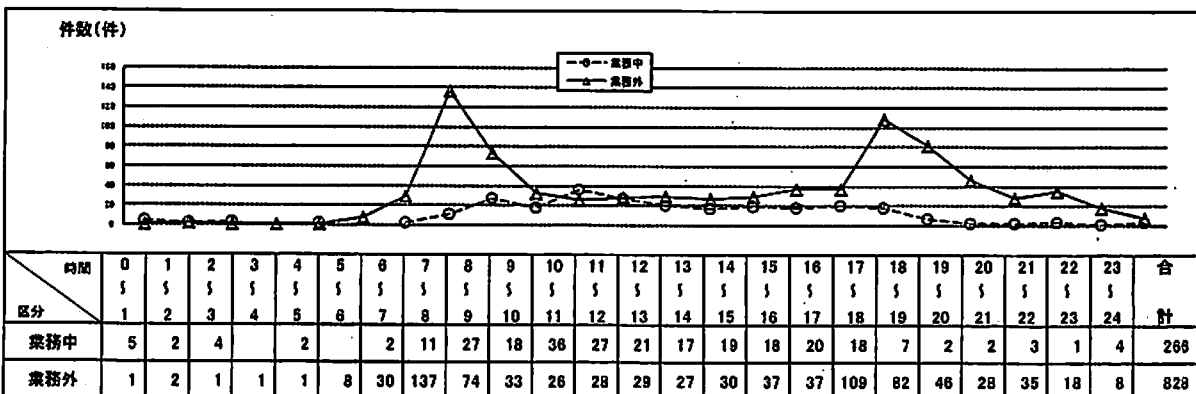
業務中は10～12時の間、業務外では

朝夕の通勤時間帯の発生が多い。

（単位：件・人・%）

区分	件数		死者	傷者
	件数	割合 (%)		
業務中	266	24.3	0	339
業務外	828	75.7	5	1,005
通勤	407	37.2	1	470
私用中	421	38.5	4	535
調査不能	0	0.0	0	0

（単位：件）



区分	時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	合
業務中		5	2	4		2		2	11	27	18	36	27	21	17	19	18	20	18	7	2	2	3	1	4	266
業務外		1	2	1	1	1	8	30	137	74	33	26	28	29	27	30	37	37	109	82	46	28	35	18	8	828

イ 車種別・用途別

(7) 車種別

業務中では、普通乗用車が 85 件 32.0 パーセント、次いで普通貨物車が 78 件で 29.3 パーセントを占めている。

業務外では、普通乗用車が 496 件と最も多く 59.9 パーセントを占めている。

(単位：件・%)

区分	乗用車				貨物車				特殊車	二輪車					合計		
	大	型	普通	軽	大	型	普通	軽		小	型	軽	二	種		原	
	中	型		計	中	型		計		二	輪	輪	原	付	原	付	計
業務中	2	85	18	105	43	78	37	158	1				1	1	2		266
構成率(%)	0.8	32.0	6.8	39.5	16.2	29.3	13.9	59.4	0.4	0.0	0.0	0.4	0.4	0.8		100	
業務外		496	261	757		33	35	68		3					3		828
構成率(%)	0.0	59.9	31.5	91.4	0.0	4.0	4.2	8.2	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4		100	

(i) 用途別

用途別に業務中の事故をみると、自家用・その他が 222 件で最も多く、業務中事故の 83.5 パーセントを占めている。

代行運転の事故は 5 件で、全て随伴車（代行会社の車両）となっている。

(単位：件・%)

区分	車種	事業用	自家用				計	その他	合計		
			レンタカー	スクールバス	代行運転	その他					
					代	行	随	伴			
業務中		28	5	5			5	222	237	1	266
構成率(%)		10.5	1.9	1.9	0.0	1.9	83.5	89.1	0.4	100	
業務外			6					822	828		828
構成率(%)		0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	99.3	100.0	0.0	100	

ウ 事故類型別

業務中、業務外とも車両相互の割合が高く、なかでも追突が業務中で 50.0 パーセント、業務外で 47.3 パーセントを占めている。

(単位：件・%)

区分	人対車両			車両相互							車両単独			列	合
	横	そ	計	正	追	出	後	右	そ	工	路	そ	計		
	断	の		面	突	会	退	・	の	作	外	の		計	
業務中	9	7	16	7	133	60	6	23	13	242	4	1	3	8	266
構成率(%)	3.4	2.6	6.0	2.6	50.0	22.6	2.3	8.6	4.9	91.0	1.5	0.4	1.1	3.0	100
業務外	53	32	85	22	392	181	26	76	36	733	6	1	3	10	828
構成率(%)	6.4	3.9	10.3	2.7	47.3	21.9	3.1	9.2	4.3	88.5	0.7	0.1	0.4	1.2	100

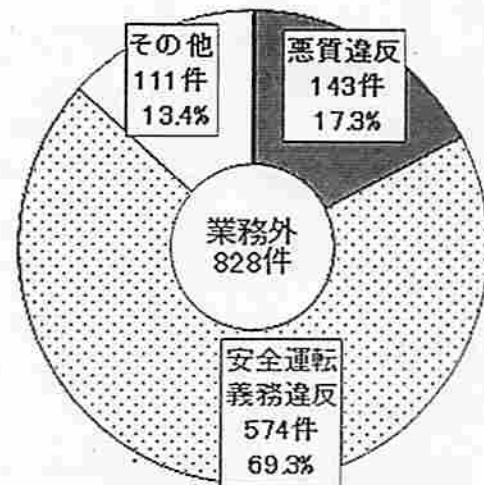
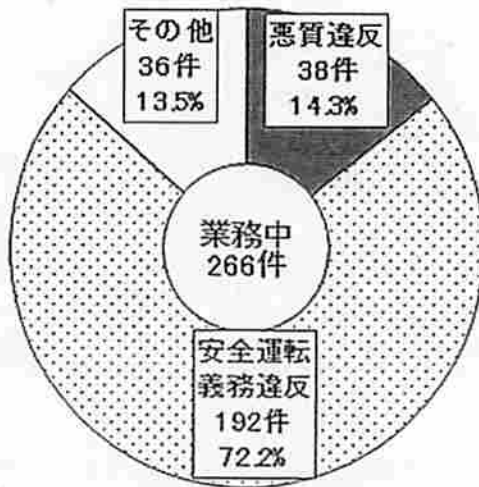
エ 違反別

業務中、業務外とも安全運転義務違反の割合が最も高く、業務中で 72.2 パーセント、業務外で 69.3 パーセントを占めている。

悪質違反では、横断歩行者妨害、一時不停止の占める割合が高くなっている。

(単位：件・%)

違反	区分	業務中		業務外		違反	区分	業務中		業務外	
		件数	構成率 (%)	件数	構成率 (%)			件数	構成率 (%)	件数	構成率 (%)
悪質違反	信号無視	5	1.9	27	3.3	徐行違反	2	0.8	8	1.0	
	最高速度		0.0	1	0.1	過労運転		0.0	1	0.1	
	通区・追越	6	2.3	16	1.9	ハンドル・ブレーキ	21	7.9	51	6.2	
	歩行者妨害等	6	2.3	36	4.3	安全運転義務違反	76	28.6	229	27.7	
	一時不停止	21	7.9	60	7.2	前方不注意	49	18.4	172	20.8	
	酒酔い運転		0.0	3	0.4	動静不注意	42	15.8	106	12.8	
計		38	14.3	143	17.3	安全不確認	3	1.1	14	1.7	
横断禁止等	3	1.1	11	1.3	安全速度	1	0.4	2	0.2		
車間距離不保持	1	0.4	3	0.4	予測不適		0.0		0.0		
進路変更禁止		0.0	1	0.1	その他		0.0		0.0		
右・左折	1	0.4	4	0.5	計	192	72.2	574	69.3		
優先通行妨害等	5	1.9	35	4.2	安全不確認ドア開放	1	0.4		0.0		
交差点安全進行	20	7.5	48	5.8	その他	3	1.1		0.0		
					合計	266	100.0	828	100		



オ 原因別

業務中、業務外とも、発見の遅れが 65 パーセント以上の高い割合を占めている。

(単位：件・%)

原因	区分	業務中		業務外	
		件数	構成率 (%)	件数	構成率 (%)
発見の遅れ		176	66.2	554	66.9
判断の誤り等		66	24.8	218	26.3
操作上の誤り		24	9.0	56	6.8
調査不能			0.0		0.0
合計		266	100	828	100

## 17 県外居住者の事故

### (1) 概況

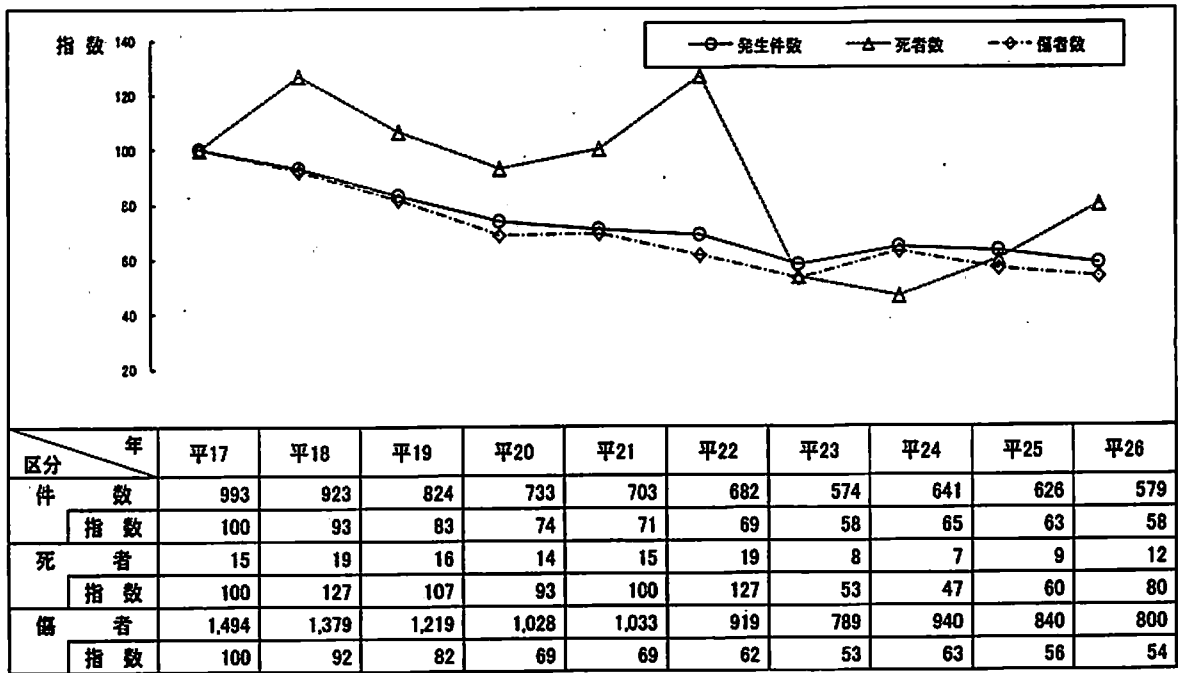
県外居住者が第1当事者となった事故は、

発生件数	579件	(前年比 -47件)	7.5%減
死者数	12人	(前年比 +3人)	33.3%増
傷者数	800人	(前年比 -40人)	4.8%減

で、発生件数、傷者数は減少したが、死者数は増加した。

発生件数・傷者数・死者数は、増減があるものの減少傾向にある。

(単位：件・人)



### (2) 月別

8月が68件で最も多く、次いで12月の62件となっている。

全事故に占める割合で見ると、8月が10.6パーセントで最も高く、最も低い10月と比較すると4.9ポイントの差となっている。

(単位：件・人・%)

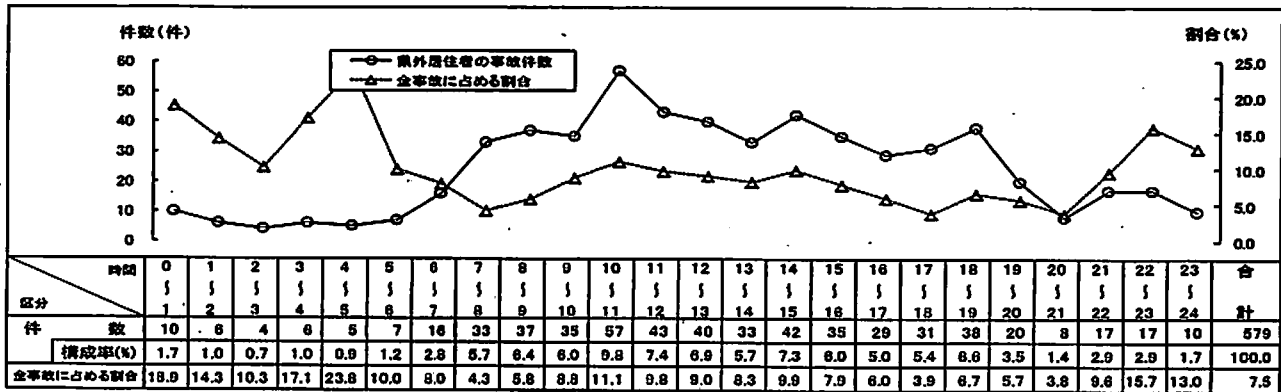
区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		全事故	680	577	654	722	571	596	699	641	562	684	561	763
県外居住者	件数	52	36	52	56	45	45	41	68	45	39	39	62	579
	全事故に占める割合	7.6	6.2	8.0	7.8	7.9	7.6	5.9	10.6	8.0	5.7	7.0	8.1	7.5
	死者	1	1	1	2			3	2		1	1		12
	傷者	73	42	60	70	53	62	65	110	63	52	61	90	800

(3) 時間別

発生件数が最も多いのは、10～11時の57件、次いで11～12時の43件、14～15時の42件の順となっている。

また、全事故に占める割合でみると、4～5時の23.8パーセントが最も高く、次いで0～1時の18.9パーセントとなっている。

(単位：件・%)



(4) 道路別

国道での発生が302件で、県外居住者事故の52.2パーセントを占めている。

特に、国道4号は106件と国道事故の35.1パーセントを占めている。

全事故に占める割合では、高速道路が67.7パーセントと最も高く、次いで幹線国道の13号の順となっている。

(単位：件・%)

区分	道路	国 道										計	県 道	市 村 町 道	高 速 道	そ の 他	合 計
		幹 線 国 道					三 折 国 道										
		4 号	6 号	13 号	49 号	計											
件数		106	63	19	35	223	79	302	92	99	63	23	579				
構成率(%)		18.3	10.9	3.3	6.0	38.5	13.6	52.2	15.9	17.1	10.9	4.0	100.0				
全事故に占める割合(%)		15.3	11.5	15.8	9.8	13.0	10.3	12.2	5.4	3.3	67.7	5.1	7.5				

(5) 当事者別

普通乗用車が283件で最も多く、県外居住者事故の48.9パーセントを占めている。

全事故に占める割合でみると、大型貨物車が51.7パーセントと高い割合となっている。

(単位：件・%)

区分	車種	乗 用 車					貨 物 車					二 輪 車			特殊車	自転車	歩行者	合 計
		計					計					計						
		大 型	中 型	普 通	軽	計	大 型	中 型	普 通	軽	計	自 動 二 輪	原 付	計				
件数		2	1	283	73	359	74	54	64	21	213	6	1	7				579
構成率(%)		0.3	0.2	48.9	12.6	62.0	12.8	9.3	11.1	3.6	36.8	1.0	0.2	1.2	0.0	0.0	0.0	100.0
全体に占める割合		28.6	16.7	7.1	3.3	5.8	51.7	30.7	14.0	3.5	15.4	28.6	2.9	12.5	0.0	0.0	0.0	7.5



(6) 年齢別

高齢者が78件で最も多く、次いで20～24歳が68件、25～29歳が63件となっている。  
 全事故に占める割合については、40～44歳の9.7パーセントが最も高くなっている。

(単位：件・%)

区分	年齢	子ども	高校生	その他 10歳代	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	高齢者	合計
件数				11	68	63	50	51	62	49	53	48	46	78	579
	構成率(%)	0.0	0.0	1.9	11.7	10.9	8.6	8.8	10.7	8.5	9.2	8.3	7.9	13.5	100.0
全体に占める割合		0.0	0.0	3.5	7.2	8.1	8.5	8.5	9.7	8.9	9.5	8.1	7.2	5.4	7.5

(7) 通行目的別

私用中が301件で県外居住者事故の52.0パーセントを占めており、特に、観光が99件で最も多い。

業務中の事故は233件発生し、40.2パーセントを占め、死者数は5人となっている。

(単位：件・人・%)

区分	件数	通行目的			
		構成率(%)	死者	傷者	
業務	233	40.2	5	333	
通勤	44	7.6	1	54	
通学	1	0.2		1	
私用	観光	99	17.1	5	129
	ドライブ	16	2.8	1	20
	散歩		0.0		
	飲食	8	1.4		9
	買物	50	8.6		63
	訪問	31	5.4		41
	帰省	36	6.2		60
	その他	61	10.5		91
計	301	52.0	6	413	
不明		0.0			
合計	579	100.0	12	801	

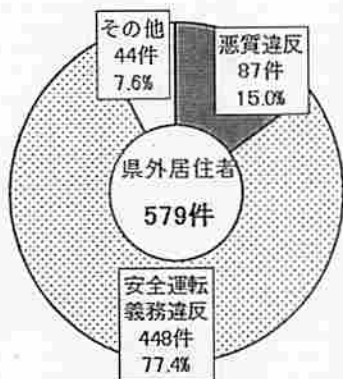
(8) 違反別

安全運転義務違反の占める割合が77.4パーセントと高く、なかでも前方不注意が176件と最も多い。

また、悪質違反のなかでは信号無視が29件と最も多く、次いで一時不停止の25件となっている。

全事故と比較すると、安全運転義務違反の割合が9.7ポイント高くなっている。

違反	区分	件数		違反	区分	件数	
		件数	構成率(%)			件数	構成率(%)
悪質違反	信号無視	29	5.0	安全運転義務違反	交差点安全進行	6	1.0
	最高速度	2	0.3		徐行	1	0.2
	通区・追越	22	3.8		ハンドル・ブレーキ	74	12.8
	歩行者妨害等	9	1.6		前方不注意	176	30.4
	一時不停止	25	4.3		動静不注視	121	20.9
	酒酔い運転		0.0		安全不確認	57	9.8
計	87	15.0	安全速度	10	1.7		
過労運転	1	0.2	その他	10	1.7		
横断禁止	7	1.2	計	448	77.4		
進路変更禁止	4	0.7	その他	4	0.7		
右・左折	2	0.3	歩行者の違反		0.0		
優先通行妨害等	19	3.3	合計	579	100.0		



(9) 市町村別

(単位：件・%)

順位	市町村	県外者数 件	全件数	割合	順位	市町村	県外者数 件	全件数	割合
1	いわき市	121	1966	6.2	31	盤梯町	2	20	10.0
2	福島市	79	1059	7.5	32	矢吹町	2	48	4.2
3	郡山市	51	1589	3.2	33	棚倉町	2	34	5.9
4	南相馬市	24	233	10.3	34	玉川村	2	19	10.5
5	会津若松市	21	508	4.1	35	柳津町	1	6	16.7
6	西郷村	21	68	30.9	36	金山町	1	7	14.3
7	白河市	17	220	7.7	37	会津築里町	1	33	3.0
8	相馬市	17	150	11.3	38	泉崎村	1	19	5.3
9	猪苗代町	17	78	21.8	39	矢祭町	1	12	8.3
10	須賀川市	16	309	5.2	40	埴町	1	13	7.7
11	二本松市	13	142	9.2	41	石川町	1	31	3.2
12	国原町	11	21	52.4	42	川内村	1	2	50.0
13	南会津町	10	31	32.3	43	双葉町	1	4	25.0
14	伊達市	8	164	4.9	44	飯館村	1	8	12.5
15	新地町	8	30	26.7	45	檜枝岐村	0	2	0.0
16	喜多方市	7	125	5.6	46	湯川村	0	14	0.0
17	桑折町	7	32	21.9	47	三島町	0	4	0.0
18	大玉村	6	40	15.0	48	昭和村	0	3	0.0
19	下郷村	6	24	25.0	49	中島村	0	10	0.0
20	田村市	6	86	6.9	50	鮫川村	0	4	0.0
21	川俣町	6	43	11.6	51	平田村	0	13	0.0
22	会津坂下町	6	72	8.9	52	澁川町	0	4	0.0
23	本宮市	4	134	3.0	53	古殿町	0	5	0.0
24	礪石町	4	48	8.3	54	小野町	0	15	0.0
25	三尋町	4	39	10.3	55	楢原町	0	6	0.0
26	広野町	4	26	15.4	56	富岡町	0	3	0.0
27	天栄村	2	16	12.5	57	大熊町	0	3	0.0
28	只見町	2	3	66.7	58	浪江町	0	5	0.0
29	北塩原村	2	5	40.0	59	葛尾村	0	1	0.0
30	西会津町	2	9	22.2					

(注) 高速道路で発生した交通事故を除く。

(10) 居住県別

(単位：件・人・%)

区分	本年			前年				
	件数	構成率(%)	死者	傷者	件数	構成率(%)	死者	傷者
北海道	8	1.4		14	8	1.3		8
青森	4	0.7		6	6	1.0		9
岩手	10	1.7	1	15	11	1.8	2	17
宮城	148	25.6	3	204	178	28.4		236
秋田	7	1.2		10	10	1.6		11
山形	38	6.2		46	30	4.8	2	40
東京	37	6.4		54	49	7.8		67
茨城	105	18.1	2	134	105	16.8		140
栃木	42	7.3	1	55	57	9.1	1	79
群馬	11	1.9	1	15	8	1.3		9
埼玉	40	6.9	1	55	38	6.1	1	52
千葉	25	4.3	1	31	43	6.9	2	69
神奈川	32	5.5		46	24	3.8		33
新潟	27	4.7	1	41	15	2.4		17
山梨		0.0			1	0.2		1
長野	4	0.7		6	5	0.8		6
静岡	8	1.4		11	4	0.6		4
富山	2	0.3		3	2	0.3		3
石川		0.0			1	0.2		1
福井	2	0.3		3		0.0		
岐阜	1	0.2		1		0.0		
愛知	8	1.0	1	12	7	1.1		9
滋賀	2	0.3		4	1	0.2		2
三重	4	0.7		6	1	0.2		2
京都	1	0.2		2		0.0		
大阪	4	0.7		7	5	0.8		5
兵庫	1	0.2		1	1	0.2		1
奈良		0.0			2	0.3		2
和歌山	1	0.2		1		0.0		
鳥取	1	0.2		2		0.0		
島根		0.0			1	0.2		1
岡山		0.0			1	0.2		1
広島	2	0.3		2	2	0.3		4
山口	1	0.2		1	1	0.2		1
香川	2	0.3		5		0.0		
愛媛		0.0			3	0.5	1	4
徳島	1	0.2		1		0.0		
高知	1	0.2		1	2	0.3		2
福岡	2	0.3		3	4	0.6		4
佐賀		0.0				0.0		
長門		0.0				0.0		
大分		0.0				0.0		
宮崎		0.0				0.0		
鹿児島	1	0.2		1		0.0		
沖縄		0.0				0.0		
合 計	579	100	12	799	626	100	9	840

18 道路環境等

(1) 道路形状別

交差点での事故(付近も含む)は、3,952件で全事故の51.3パーセントを占めている。

交差点事故を交差点形状で見ると、第1進入路「中」が1,535件で最も多く、交差点事故の38.8パーセントを占め、次いで交差点付近が1,317件となっている。

(単位：件・人・%)

(単位：件・人・%)

道路形状	件数		死者	傷者	交差点第1進入路	件数		死者	傷者		
		構成率(%)					構成率(%)				
交差点	大	414	5.4	5	大 (13m以上)	交差路 小	41	1.6	1	46	
	中	1,535	19.9	6		交差路 中	235	8.9	3	269	
	小	686	8.9	1		交差路 大	138	5.2	1	173	
	付近	1,317	17.1	8		計	414	15.7	5	488	
	計	3,952	51.3	20	4,708	中 (5.5m以上 13m未満)	交差路 小	237	9.0	1	263
単路	トンネル	38	0.5	2	62		交差路 中	1,103	41.9	4	1,294
	橋	102	1.3	1	138		交差路 大	195	7.4	1	222
	カーブ・屈折	285	3.7	23	358		計	1,535	58.3	6	1,779
	直線	2,891	37.5	38	3,675	小 (5.5m未満)	交差路 小	196	7.4	1	239
計	3,316	43.0	64	4,233	交差路 中		417	15.8	0	482	
踏切	4	0.1	1	4	交差路 大		73	2.8	0	85	
一般交通の場所	438	5.7	2	505	計	686	26.0	1	806		
合計	7,710	100	87	9,450	合計	2,635	100	12	3,073		

(2) 道路線形別

直線での事故は6,888件で全事故の89.3パーセントを占めている。

一方、カーブ・屈曲での事故は384件で全事故の5.0パーセントとなっている。

勾配で見ると、上り坂は283件(全事故の3.7%)、下り坂は289件(全事故の5.0%)、平坦は6,303件(全事故の85.6%)となっている。

(単位：件・人・%)

道路形状	区分	件数		死者	
			構成率(%)		
カーブ・屈折	右	上り	27	0.4	2
		下り	41	0.5	7
		平坦	103	1.3	5
	左	上り	39	0.5	1
		下り	56	0.7	3
		平坦	118	1.5	9
計		384	5.0	27	
直線	上り	217	2.8	3	
	下り	289	3.7	5	
	平坦	6,382	82.8	50	
	計	6,888	89.3	58	
一般交通の場所		438	5.7	2	
合計		7,710	100.0	87	

(3) 地形別

(単位：件・人・%)

市街地での事故が4,762件で、全事故の61.8パーセントを占めている。

なお、市街地の事故では、市街地  
 その他での事故が多い。

地形	区分	件数		死者	傷者
		件数	構成率(%)		
市街地	人口集中地区	2,173	28.2	8	2,575
	その他	2,589	33.6	11	3,150
	計	4,762	61.8	19	5,725
非市街地		2,948	38.2	68	3,725
合計		7,710	100	87	9,450

(注) 市街地：道路に沿っておおむね500メートル以上にわたって、住宅、事業所又は工場等の建造物が連立し、又はこれらが混在して連立している状態であって、その地域における建造物及び敷地の占める割合が80パーセント以上になる、いわゆる市街地的形態をなしている地域。

(4) 道路幅員別

幅員「5.5m以上9.0m未満」の道路での事故が2,271件で最も多く、全事故の29.5パーセントを占めている。

(単位：件・人・%)

区分	幅員	3.5m未満	3.5m以上	5.5m以上	9.0m以上	13.0m以上	19.5m以上	交差点			その他	合計
								小	中	大		
件数	3.5m未満	61	243	2,271	1,142	785	135	686	1,535	414	438	7,710
	構成率(%)	0.8	3.2	29.5	14.8	10.2	1.8	8.9	19.9	5.4	5.7	100
死者		6	4	41	15	6	1	1	6	5	2	87
傷者		69	282	2,820	1,526	993	182	806	1,779	488	505	9,450

(5) 道路状態別

乾燥した舗装路での発生が6,044件で最も多く、全事故の78.4パーセントを占めている。

(単位：件・人・%)

地形	路面状態	舗装					計	非舗装	合計
		乾燥	湿潤	凍結	積雪	霜			
件数	乾燥	6,044	1,236	321	98	7,699	11	7,710	
	構成率(%)	78.4	16.0	4.2	1.3	99.9	0.1	100.0	
死者		67	14	4	1	86	1	87	
傷者		7,430	1,502	391	116	9,439	11	9,450	

(6) 中央分離施設別

中央線がペイントされた道路での発生が4,040件で最も多く、全事故の52.4パーセントを占めている。

(単位：件・人・%)

地形	施設	中央分離帯	中央線				計	中央分離帯なし	その他	合計
			高輝度表示	チャッターバー等	ポストコーン	ペイント				
件数	中央分離帯	1,119	9	78	35	4,040	4,162	1,991	438	7,710
	構成率(%)	14.5	0.1	1.0	0.5	52.4	54.0	25.8	5.7	100.0
死者		12	0	0	1	47	48	25	2	87
傷者		1,456	11	103	57	5,010	5,181	2,308	505	9,450

19 その他

(1) 特殊事故

特殊事故は1,240件で、全事故の16.1パーセントを占め、約6件に1件の割合で発生している。

なかでも件数が多いのは次のとおりで

- ・多重事故 1,074件  
全事故の 7.2件に1件
- ・ひき逃げ 90件  
全事故の 85.7件に1件
- ・無申告 34件  
全事故の 226.8件に1件
- ・左折巻き込み 14件  
全事故の 550.7件に1件
- ・ドア開放 11件  
全事故の 700.9件に1件

の割合で発生している。

(単位：件・人・%)

特殊事故	区分	件数		死者	傷者	
		構成率(%)				
事故内容	共同危険行為		0.0			
	暴走行為		0.0			
	ひき逃げ	90	1.2	4	99	
	無申告	34	0.4		35	
	多重衝突	1,074	13.9	20	1,756	
	左折巻き込み	14	0.2		14	
	荷崩れ	3	0.0		5	
	自然発車	4	0.1		7	
	ドア開閉	11	0.1		11	
	車両火災	1	0.0		1	
当事者内容	薬物影響	1	0.0		5	
	発作・急病	てんかん		0.0		
		心臓マヒ		0.0		
		脳血管		0.0		
		その他	4	0.1		5
	身障者	4	0.1		6	
緊急用務自動車		0.0				
合計		1,240	16.1	24	1,944	

- (注) 1 表中の構成率は全事故に占める割合  
2 他の項目と重複するものがあるため、合計欄は延べ件数となっている。

(2) 天候別

晴天時（雲量が80パーセント未満）の事故が、4,295件で全事故の55.7パーセントを占め最も多く、次いで曇天時（雲量が80パーセント以上）の事故が2,247件となっており、合わせると全事故の84.9パーセントを占めている。

(単位：件・人・%)

区分	天候					合計
	晴	曇	雨	霧	雷	
件数	4,295	2,247	883	4	281	7,710
構成率(%)	55.7	29.1	11.5	0.1	3.6	100.0
死者	45	34	4		4	87
傷者	5,266	2,752	1,076	4	352	9,450

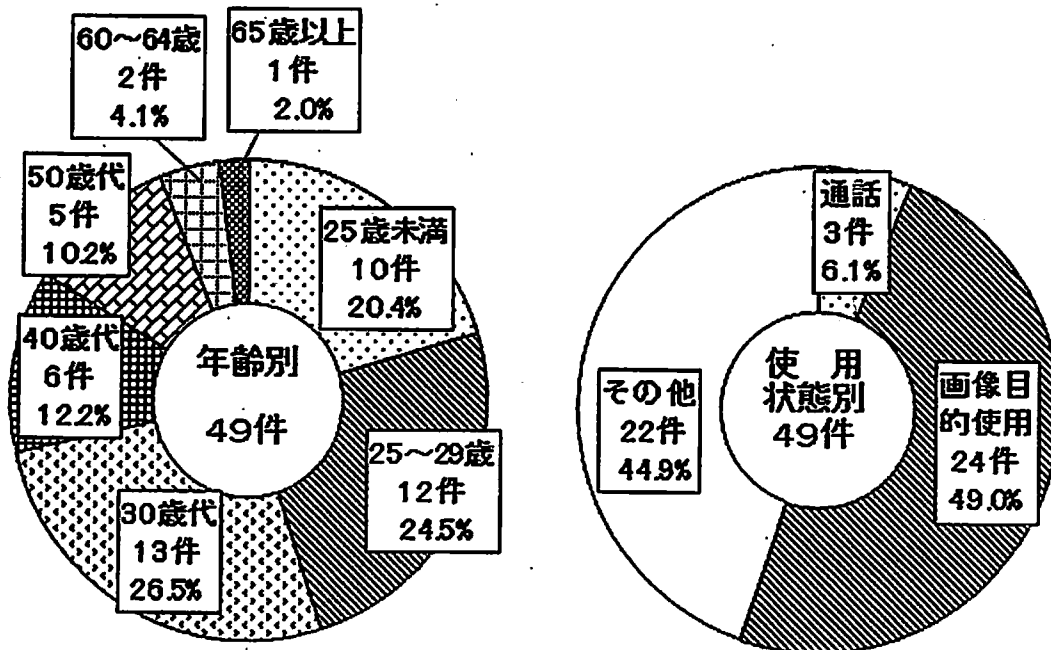
(3) 携帯電話使用中の事故

携帯電話使用中の事故は 49 件発生し、死者は 0 人、傷者は 71 人となっている。

事故類型別にみると、追突が 44 件で最も多く、89.8 パーセントを占め、全事故に占める追突事故の割合の約 3.7 倍となっている。

(単位：件・%)

区分	態様	携帯電話使用中事故		全事故	
		件数	構成率(%)	件数	構成率(%)
	人対車両	1	2.0	10	20.4
車両相互	追突	44	89.8	12	24.5
	出会い頭	2	4.1	13	26.5
	正面衝突		0.0	6	12.2
	その他	2	4.1	5	10.2
	車両単独		0.0	2	4.1
	列車		0.0	1	2.0
	合計	49	100.0	49	100.0



年齢別にみると、30歳代が 13 件で 26.5 パーセントを占め最も多く、次いで 25～29 歳が 12 件、25 歳未満が 10 件となっている。

事故直前の使用状況は、画像目的使用 24 件、通話が 3 件、その他の動作 22 件となっている。